
第2次匝瑳市総合計画
中期基本計画策定のための
市民意識調査

結果報告書

令和5年3月

匝瑳市

<目次>

第1章 調査の目的と実施概要	1
1 調査の目的	3
2 調査の概要	3
3 報告書のみかた	3
4 調査の配付・回収状況からみた調査信頼度	4
第2章 結果の概要及び考察	5
1 健康・福祉・医療・介護について	7
2 産業・経済について	7
3 生活環境・都市建設について	8
4 教育・交流・移住・定住について	9
5 市民協働・行財政について	10
6 まちづくりの評価について	10
第3章 調査結果	11
1 回答者の状況	13
問1 あなた自身について	13
2 健康・福祉・医療・介護について	15
問2 現在、健康的な生活を送れていると感じていますか	15
問3 あなたが「健康」のために行っているものは何ですか	17
問4 高齢者や障がいのある方にとって暮らしやすい地域だと思いますか	19
問5 市の高齢者や障がいのある方に対する施策として、何が重要と考えますか	21
問6 子育てをしていく上で、暮らしやすい地域だと思いますか	23
問7 市の子育て支援への取組で、何が重要と考えますか	25
問8 お互いに支え合う雰囲気があると思いますか	27
問9 現在の医療体制をどう感じていますか	29
問10 地域の医療環境への取組で、何が重要と考えますか	31
3 産業・経済について	33
問11 匝瑳市について他の市町村の人に自慢したいことはありますか	33
問11-1 それはどのようなことですか	34
問12 市の農林水産業振興への取組で、何が重要と考えますか	36
問13 主にどこで日常生活の買い物をしますか	38
問14 市の商工業振興への取組で、何が重要と考えますか	40
問15 現在の就労状況について、どのように感じていますか	42
問16 市の雇用対策として、何が重要と考えますか	44
4 生活環境・都市建設について	46
問17 快適に生活できる住環境であると思いますか	46
問18 あなたにとって住みやすい住環境とはどのような環境ですか	48
問19 あなたが住んでいる地区は、災害などに対して安全だと思いますか	50
問20 市の安全なまちづくりへの取組で、何が重要と考えますか	52
問21 市内及び周辺地域への移動が便利な地域だと思いますか	54
問21-1 何が最も不便だと感じますか	56

問 22	普段、外出する際に主にどのような移動手段をお使いですか	58
問 23	普段の生活で、環境に配慮した行動を行っていますか	60
問 24	市の自然環境保全への取組で、何が重要と考えますか	61
5	教育・交流・移住・定住について	63
問 25	学校と家庭、地域との連携がとれていると思いますか	63
問 26	学校が安心して学ぶことができる場となっていると思いますか	65
問 27	小・中学校運営において、何が重要な取組と考えますか	66
問 28	次の余暇活動に参加していますか。また今後参加したい活動は何ですか	68
問 29	市の生涯学習・スポーツ、文化活動への取組で、何が重要と考えますか	72
問 30	地域の伝統や文化に愛着を感じていますか	74
問 31	虐待や暴力、差別など人権を侵害する行為があると思いますか	75
問 32	市の人権問題への取組で、何が重要と考えますか	76
問 33	男女共同参画に関する意識について、どのように思いますか	78
問 34	これからも匝瑳市に住み続けたいと思いますか	80
問 34-1	住み続けたい理由は何ですか	82
問 34-2	住み続けたくない理由は何ですか	85
問 35	特に力を入れて取り組むべき人口減少対策は何だと思いますか	87
6	市民協働・行財政について	89
問 36	市の広報紙（広報そうさ）を見たことがありますか	89
問 37	市のホームページを見たことがありますか	90
問 38	まちづくりや地域づくりに参加していますか、また、今後参加したいと思いますか	91
問 39	協働によるまちづくりが推進されていると思いますか	95
問 40	市の手続きや問合せ等で不都合を感じたことは何ですか	97
問 41	市の行財政改革の取組で、何が重要と考えますか	99
問 42	持続可能な開発目標（SDGs）の取組への関心はありますか	101
7	まちづくりの評価について	102
問 43	それぞれの施策について、満足度及び重要度をお聞かせください	102
第 4 章	その他・自由意見	109
第 5 章	調査票	139

第 1 章 調査の目的と実施概要

第1章 調査の目的と実施概要

1 調査の目的

「第2次匠瑳市総合計画前期基本計画」が令和5年度（2023年度）で計画期間の最終年度を迎えることから、次期計画となる「第2次匠瑳市総合計画中期基本計画」の策定に当たり、市民から幅広く意見をうかがい、計画策定の参考とすることを目的として実施しました。

2 調査の概要

調査対象	市内在住 16歳以上の市民 2,000名（無作為抽出）
調査期間	令和4年11月22日～令和4年12月12日
調査方法	郵送配付、郵送回収・ウェブ回収
回収状況	配付数：2,000票 回収数：737票（うち郵送604票、ウェブ133票） 回収率：36.9%（うち郵送30.2%、ウェブ6.7%）

3 報告書のみかた

この調査の分析結果を読む際の留意点は、以下のとおりです。

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、すべて小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記します。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。
- 本文の中で、数字の和や差を求めている部分がありますが、表記されていない小数点第2位の数字の影響によって、合計の数字がずれたように見えることがあります。
- 設問の中には、前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「回答者数」が全体より少なくなる場合があります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることをあらわします。
- 母数が100未満の場合の百分率は、統計的誤差が大きい可能性が高いので数値の取扱いには特に注意が必要となります。
- 選択肢の語句が長い場合、本文中及び図表中では省略した表現を用いる場合があります。
- 前回調査との比較については、平成30年（2018年）に実施した「第2次匠瑳市総合計画策定のための市民意識調査」を対象に行っています。凡例等に「前回調査」とあるものはこの調査を示します。

◆参考：平成30年（2018年）実施の市民意識調査の概要

- 調査対象：市内在住 16歳以上の市民 2,000名（無作為抽出）
- 調査期間：平成30年7月25日～平成30年8月10日
- 調査方法：郵送配付・回収
- 回収状況：

区分	配付数	回収数	回収率
合計	2,000票	598票	29.9%

4 調査の配付・回収状況からみた調査信頼度

市民意識調査の有効回答数(737票)は、対象となる集団(16歳以上の市民、30,883人)に対し、統計学上で一般的に使用される条件(信頼度95%、標準誤差5%)を想定した標本数(380票)を上回ることから、調査結果は十分に信頼できるとみなすことができます。

■社会調査信頼度95%の計算式

$$n = \frac{N}{\left(\frac{E}{k}\right)^2 \times \frac{N-1}{P(1-P)} + 1}$$

※n：サンプル数

N：全体の人数（母集団）

E：許容できる誤差の範囲

P：母比率 = 0.5……………（50%のときに最大のサンプル数となるため）

k：信頼度係数 = 1.96……………（通常、信頼度95%を基準とするため）

なお、上記の計算式からは、クロス集計における各属性を基にした調査結果については十分なサンプル数ではないものが含まれるため、クロス集計結果については参考としての掲載とします。

第2章 結果の概要及び考察

第2章 結果の概要及び考察

1 健康・福祉・医療・介護について

○8割近くが健康的な生活を「送れている」と感じています

「健康的な生活」については、送れていると「感じている」人の割合が前回調査よりもやや低下したものの、8割近くとなっています（問2）。

「健康のためにやっていること」については、上位3項目のいずれも女性が男性を上回っています。また、60歳代以上に比べ50歳代以下では取組が活発でない状況が見られます（問3）。

○高齢者や障がいのある方にとって、また、子育てをしていく上での「暮らしやすさ」は、前回調査よりも低下しています

高齢者や障がいのある方にとって「暮らしやすいと思う」と回答した割合は3割台（問4）、また、子育てをしていく上で「暮らしやすいと思う」と回答した割合は5割台となっており（問6）、前回調査よりも低くなっています。

高齢者や障がいのある方に対する施策としては、60歳代と70歳以上では「在宅福祉サービスを充実させる」が低くなっています（問5）。

子育て支援の取組としては、40歳代以下では「出産・子育てに係る経済的支援を充実させる」が高くなっています（問7）。

当事者や支援者の意向を踏まえ、適切にサービスを組み合わせて案内するなどの対応が求められています。

○医療体制の充実が市の大きな課題です

医療体制については、「不安を感じる」人は全体の8割に上り、施策の満足度と重要度においても「医療体制の充実」は最も満足度が低く、また、重要度は最も高い項目となっているなど、市の大きな課題であることがわかります（問9、問43）。

医療環境への取組としては、「市民病院の外来機能強化を図る」と「救急・休日・夜間医療の充実を図る」が高いことから、医療体制の充実が求められていることがわかります（問10）。

2 産業・経済について

○「市で自慢したいこと」は年齢等により視点が異なる特徴が見られます

市で自慢したいことについては、40歳代で「自然の豊かさや風景の美しさについて」が5割を下回り、全体より低くなっているのに対し、50歳代と60歳代で6割を超え、全体より高くなっています（問11-1）。また、「祭りや風習、伝統文化について」は50歳代が6割を超えています（問11-1）。

居住歴別の市外での居住経験ありでは、「祭りや風習、伝統文化について」が全体より高くなっています。

年齢や居住経験の違いにより、自慢したいことの内容は異なっています。

○農林水産業振興の取組では担い手の育成、商工業振興の取組では利便性の高い商業拠点への意向が高いです

農林水産業振興への取組については、「担い手を育成していく」が全体では5割を超えて最も高くなっています（問12）。

日常の買い物の状況としては、吉田地区、飯高地区、平和地区、樺海地区、栄地区では、「県内の他市町」が全体より高くなっています（問13）。

商工業振興への取組については、年齢別の30歳代で「利便性の高い商業拠点をつくる」が7割弱となっており、全体より高くなっています（問14）。

○安心して働くことができる人の割合を高める支援が必要です

現在の就労状況については、「将来が不安である」と回答した人は、前回調査に引き続き6割を超えていますが、やや低くなっています（問15）。今後、定住する人口を増加させるには、安心して働ける環境づくりが重視されていることがわかります。

重要な雇用対策としては、「優良企業等の進出により地元での雇用拡大を図る」が、前回調査に続き5割を超えて最も高くなっています（問16）。

3 生活環境・都市建設について

○「快適に生活できる」住環境であるとの評価は低下しており、都市機能の充実と安全な環境の整備が求められています

快適に生活できる住環境であるかについては、5割が「そう思う」と答えていますが、これは前回調査の7割近くを下回っています（問17）。住みやすい住環境の条件については、「商業施設や公共交通機関など都市機能が充実している環境」が5割を超えて、「交通安全施設や防犯・防災体制がしっかりしている安全な環境」が4割を超えて高くなっています（問18）。

都市機能の面では、商業施設については、商工業振興に関する設問で「利便性の高い商業拠点をつくる」への意向が高いことが挙げられます（問14）。また、交通機関については、移動の便利さに関する設問で「不便な地域だと思う」との回答が5割を超えて最も高くなっており（問21）、その多くが「電車やバスなどの公共交通網が少ない」ことを挙げています（問21-1）。

安全な環境の面では、災害などに対する安全性について、共興地区では6割以上、豊和地区、飯高地区、野田地区では5割以上が「安全だと思わない」と回答しています（問19）。また、安全なまちづくりについての重要な取組としては、「災害を未然に防ぐための防災基盤の整備」が5割を、「的確な情報提供や緊急時の体制を強化する」が6割を超えており、この2つは前回調査でも高かったことから、引き続き重要な取組となります（問20）。

○全体では「不法投棄をなくす」が高いが、地区で傾向が異なります

環境に配慮した行動については、いずれの世代でも6割以上が「行っている」と回答しています（問23）。環境保全に向けた取組では、「不法投棄をなくす」との回答が最も高く、特に平和地区と野田地区では「不法投棄をなくす」が6割を超えて、全体より高くなっています（問24）。また、中央地区、須賀地区、豊和地区、吉田地区では、「豊かな自然環境を壊さない土地利用を行う」が4～5割台で全体より高くなっているなど、地区による傾向の違いが見られます（問24）。

4 教育・交流・移住・定住について

○6割を超える人が学校と家庭、地域が連携しているとし、学校が安心して学べる場としての評価も高くなっています

学校・家庭・地域の連携については、「連携していると思う」との回答が6割を超え（問25）、学校が安心して学べる場となっているかについても、「そう思う」との回答が8割を超えて最も高くなっています（問26）。

教育面の重要な取組としては、「地域と協力しながら子どもたちの健全育成を図る」と「子どもたちの安全を守る体制を強化する」がともに5割近くとなっており、地域全体で小・中学校の運営を支えていく姿勢が求められています（問27）。

○余暇活動への参加が停滞する中、組織の支援や拠点の充実への声が高いです

余暇活動への参加の状況については、新型コロナウイルス感染症の拡大を背景に、総じて前回調査を下回る中、「市や地域のスポーツ・文化活動」への参加が最も高い結果となっています（問28(1)）。参加意向については、「生涯学習としての習い事や趣味の活動」が4割を超えて高くなっています（問28(2)）。

生涯学習やスポーツ、文化活動への重要な取組としては、「文化・スポーツの組織や活動を支援する」が最も高く、10・20歳代と40歳代でも5割を超えています（問29）。また、30歳代では「活動拠点を整備・拡充させる」が5割を超えるなど、余暇活動に参加するための土壌づくりが求められています。

地域の伝統や文化への愛着については、全体の5割が「感じている」と回答しています（問30）。

○人権問題への取組では「早期発見・早期対応」と「気軽な相談体制」が求められています

人権を侵害する行為については、2割の人が「あると思う」と答えています（問31）。人権問題への重要な取組としては、「早期発見・早期対応のできる体制を強化する」が6割、「気軽に相談できる体制を充実させる」が5割を超えて高くなっており、体制の強化と充実が重視されていることがわかります（問32）。

5 市民協働・行財政について

○7割が定住意向を持っているものの、年齢が低くなると定住意向も低くなる傾向が見られます

前回調査に引き続き全体の7割が定住意向を持ち続けていますが、やや低下しました（問34）。また、年齢が下がるほど定住意向が低くなる傾向が見られます。

○年齢により、市の広報媒体への関心が異なります

市の広報紙については、60歳代、70歳以上の「見ている」が9割を超えて非常に高くなっているものの、10・20歳代、30歳代では6～7割程度となっています（問36）。また、市のホームページについては、10・20歳代、60歳代、70歳以上で「見ている」が3割台となっている一方で、40歳代では6割を超えて高くなっています（問37）。

これらのことから、年齢により、市の広報媒体への関心に違いがあることがわかります。

○まちづくりや地域づくりについては、自然環境保全活動への参加状況・意向が根強いものの、全体的には参加意向が低下しています

まちづくりや地域づくりに関する参加の状況については、前回調査では「地域づくり活動への参加」と「自然環境保全活動への参加」が3割を超えていたものの、今回調査では両方とも2割を下回りました（問38(1)）。

一方で、今後の参加意向については、前回調査に引き続いて「自然環境保全活動への参加」が最も高くなっていることから、依然として市民の自然を大切にす意識の高さがうかがえます（問38(2)）。ただし、8項目中6項目において前回を下回るなど、まちづくりや地域づくりへの参加意向は、全体的に低くなっています。

6 まちづくりの評価について

○満足度については、健康づくりの推進が最も高くなっています

まちづくりの評価のうち満足度については、「①健康づくりの推進」とする人が5割を超えて、最も高くなっています。次いで、「⑭安心・安全な地域づくりの推進」、「⑮学校教育の充実」などが3割を超えています（問43）。

○重要度については、医療体制の充実が最も高くなっています

まちづくりの評価のうち重要度については、「⑤医療体制の充実」とする人が8割を超えて最も高くなっています。次いで、「②高齢者支援の充実」、「⑭安心・安全な地域づくりの推進」などが7割を超えています（問43）。

満足度では「健康づくりの推進」が最も高くなった一方で、医療体制の更なる整備が求められています。

第3章 調査結果

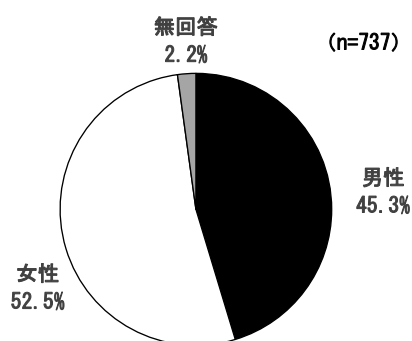
第3章 調査結果

1 回答者の状況

問1 あなた自身について、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。
(それぞれ1つに○)

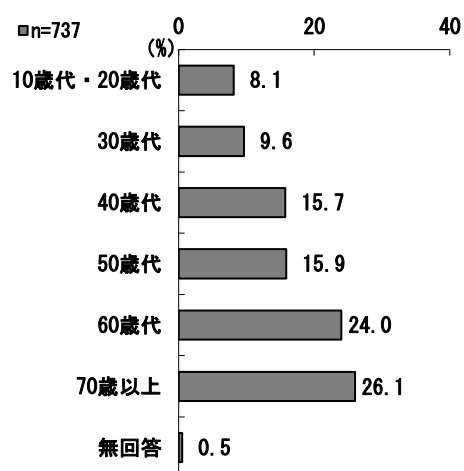
①性別

性別は、「男性」が45.3%、「女性」が52.5%となっています。



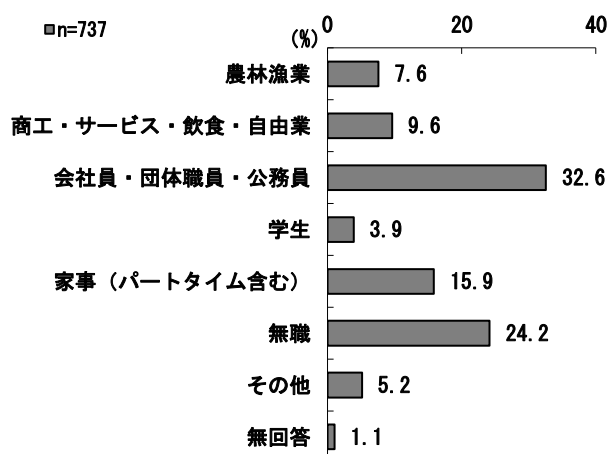
②年齢

年齢は、「70歳代」が26.1%で最も高く、次いで「60歳以上」が24.0%、「50歳代」が15.9%などとなっています。



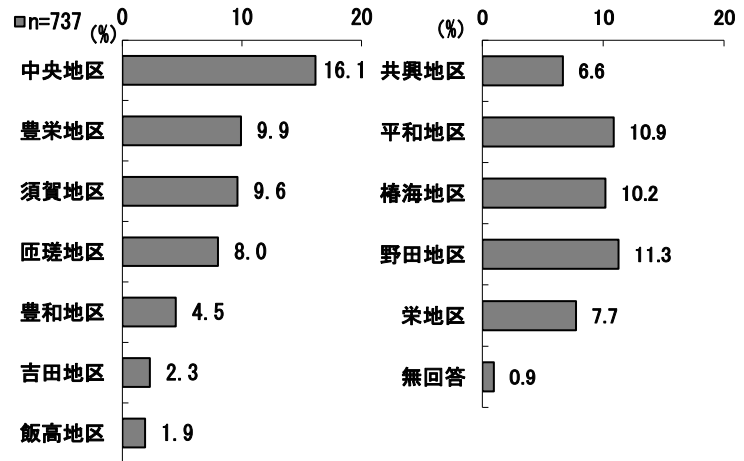
③職業

職業は、「会社員・団体職員・公務員」が32.6%で最も高く、次いで「無職」が24.2%、「家事(パートタイム含む)」が15.9%などとなっています。



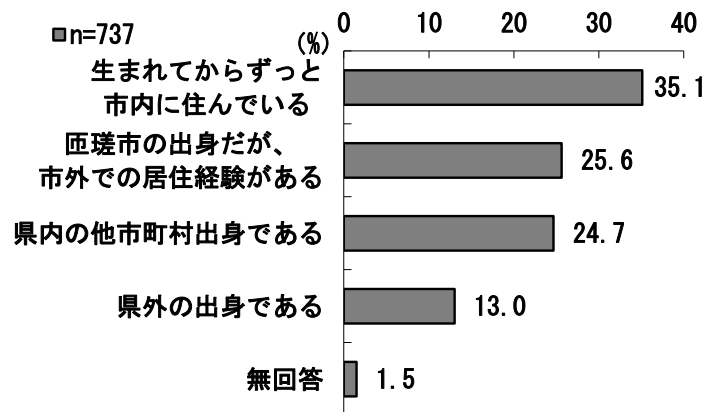
④居住地区

居住地区は、「中央地区」が16.1%で最も高く、次いで「野田地区」が11.3%、「平和地区」が10.9%などとなっています。



⑤居住歴の状況

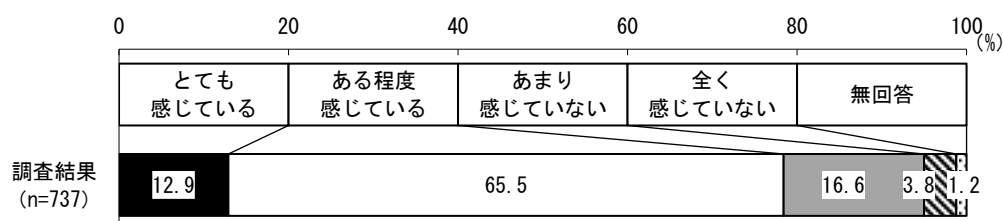
居住歴は、「生まれてからずっと市内に住んでいる」が35.1%で最も高く、次いで「匠瑛市の出身だが、市外での居住経験がある」が25.6%、「市内の他市町村出身である」が24.7%などとなっています。



「生まれてからずっと市内に住んでいる」と、「匠瑛市の出身だが、市外での居住経験がある」人を合わせた「市内出身者」は60.7%となっています。

2 健康・福祉・医療・介護について

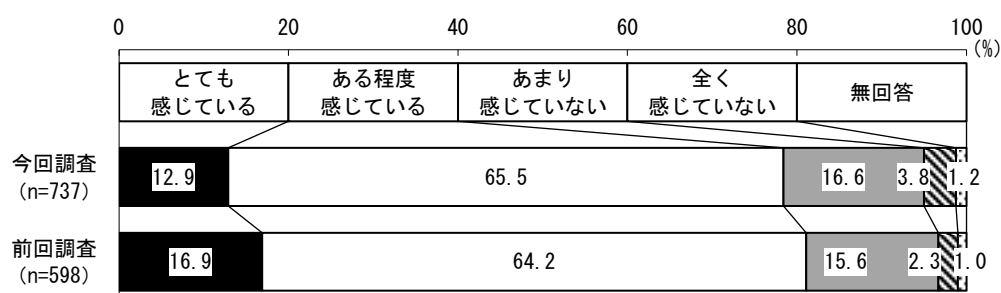
問2 あなたは、現在、健康的な生活を送れていると感じていますか。(1つに〇)



健康的な生活が送れているかについては、「ある程度感じている」が65.5%で最も高くなっています。

「とても感じている」(12.9%)と、「ある程度感じている」を合わせた「感じている」は、全体の78.4%となっており、「あまり感じていない」(16.6%)、「全く感じていない」(3.8%)を合わせた「感じていない」は、全体の20.4%となっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、前回調査の「感じている」は全体の81.1%であり、今回調査とほぼ差のない結果となっています。

○●○ 年齢別・職業別・居住地区別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数(n)	感じている	感じていない	無回答
全体		737	78.4	20.4	1.2
年齢	10・20歳代	60	93.3	6.7	0.0
	30歳代	71	77.5	21.1	1.4
	40歳代	116	75.9	21.6	2.6
	50歳代	117	80.3	19.7	0.0
	60歳代	177	76.3	22.0	1.7
	70歳以上	192	77.6	21.9	0.5
職業	農林漁業	56	91.1	8.9	0.0
	商工・サービス・飲食・自由業	71	83.1	14.1	2.8
	会社員・団体職員・公務員	240	80.4	18.8	0.8
	学生	29	96.6	3.4	0.0
	家事(パートタイム含む)	117	79.5	19.7	0.9
	無職	178	70.2	28.7	1.1
	その他	38	65.8	31.6	2.6
居住地区	中央地区	119	76.5	23.5	0.0
	豊栄地区	73	83.6	16.4	0.0
	須賀地区	71	77.5	21.1	1.4
	匝瑳地区	59	76.3	22.0	1.7
	豊和地区	33	69.7	27.3	3.0
	吉田地区	17	88.2	11.8	0.0
	飯高地区	14	100.0	0.0	0.0
	共興地区	49	81.6	16.3	2.0
	平和地区	80	73.8	23.8	2.5
	椿海地区	75	74.7	24.0	1.3
	野田地区	83	84.3	15.7	0.0
	栄地区	57	82.5	15.8	1.8

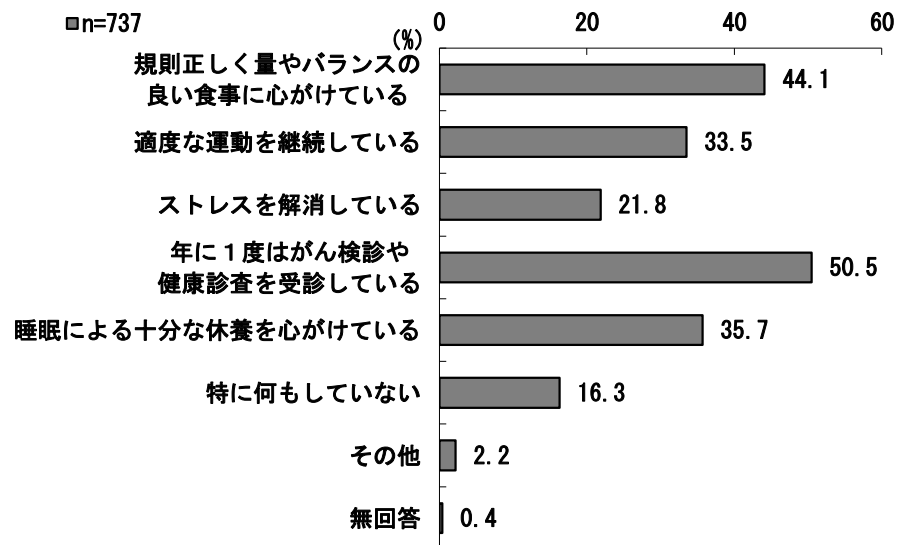
年齢別の10・20歳代では、「感じている」との回答が9割を超え、全体より非常に高くなっていますが、40歳代では7割台半ばと年代の中で最も低くなっています。

職業別の農林漁業と学生では、「感じている」との回答が全体より高くなっています。

居住地区別では、「感じている」の回答は、飯高地区で10割となっていますが、平和地区では7割をやや上回るほどとなっています。

問3 あなたが「健康」のために行っているものは何ですか。

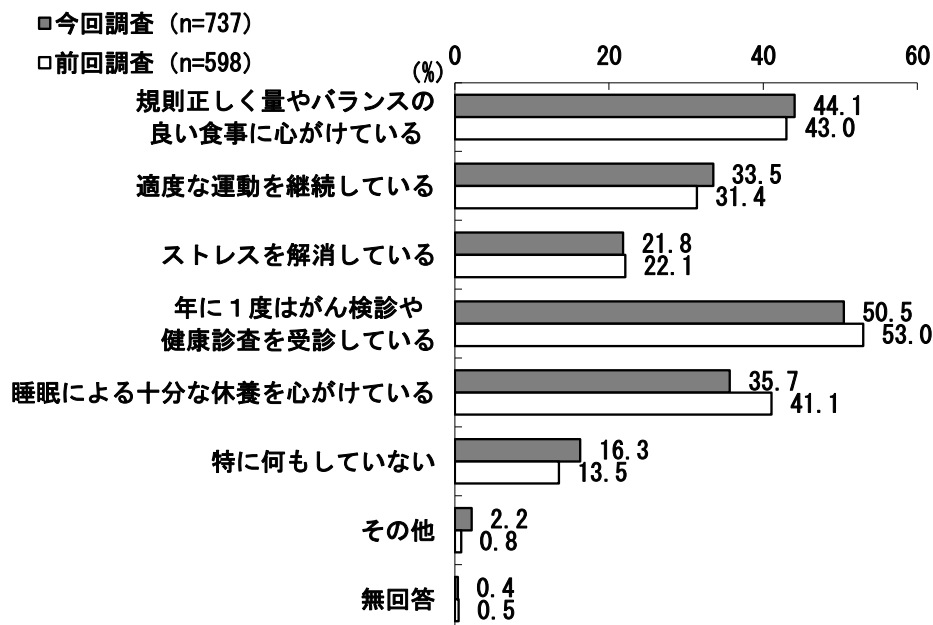
(あてはまるものすべてに○)



「健康」のために行っているものとしては、「年に1度はがん検診や健康診査を受診している」との回答が50.5%で最も高く、次いで「規則正しく量やバランスの良い食事に心がけている」が44.1%、「睡眠による十分な休養を心がけている」が35.7%などとなっています。

「特に何もしていない」は全体の16.3%です。

◆◇◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、前回調査と順位が同じになっており、全体的に類似しています。一方で「年に1度はがん検診や健康診査を受診している」がやや低くなるなど、項目ごとに変化も見られます。

〇〇〇 性別・年齢別・職業別に見た傾向

(単位：%)

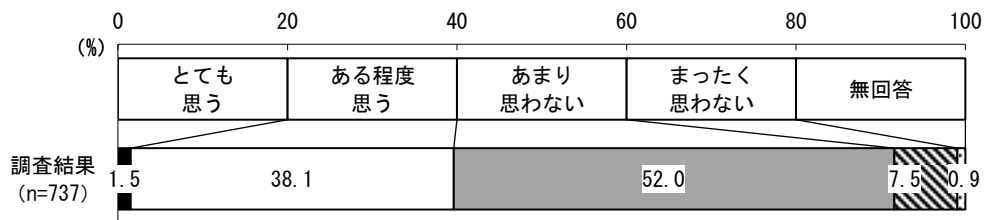
		回答者数 (n)	規則正しく量やバランスの良い食事心がけている	適度な運動を継続している	ストレスを解消している	年に1度はがん検診や健康診査を受診している	睡眠による十分な休養を心がけている	特に何もしていない	その他	無回答
全体		737	44.1	33.5	21.8	50.5	35.7	16.3	2.2	0.4
性別	男性	334	40.7	38.6	22.8	43.4	32.0	18.3	2.4	0.3
	女性	387	47.0	29.7	21.7	57.4	39.8	14.0	2.1	0.3
年齢	10・20歳代	60	33.3	31.7	25.0	11.7	36.7	28.3	1.7	0.0
	30歳代	71	31.0	22.5	21.1	29.6	35.2	28.2	2.8	0.0
	40歳代	116	35.3	23.3	23.3	50.0	37.1	18.1	0.0	0.9
	50歳代	117	37.6	26.5	24.8	61.5	35.9	15.4	1.7	0.0
	60歳代	177	53.7	37.3	22.0	57.1	35.0	12.4	2.3	0.0
	70歳以上	192	53.6	45.8	18.8	57.8	35.4	10.9	3.6	0.5
職業	農林漁業	56	46.4	30.4	19.6	58.9	35.7	17.9	1.8	0.0
	商工・サービス・飲食・自由業	71	25.4	32.4	14.1	53.5	33.8	16.9	0.0	0.0
	会社員・団体職員・公務員	240	41.7	28.8	24.6	49.6	33.8	17.5	2.1	0.4
	学生	29	31.0	48.3	24.1	0.0	41.4	27.6	0.0	0.0
	家事(パートタイム含む)	117	47.0	26.5	27.4	68.4	39.3	7.7	1.7	0.0
	無職	178	51.7	42.1	19.1	44.9	36.0	16.9	3.4	0.0
	その他	38	55.3	44.7	18.4	50.0	36.8	21.1	5.3	2.6

性別では、上位の3項目である、「年に1度はがん検診や健康診査を受診している」、「規則正しく量やバランスの良い食事心がけている」、「睡眠による十分な休養を心がけている」のいずれでも女性が男性を上回っています。

年齢別の50歳代以上では、「年に1度はがん検診や健康診査を受診している」が6割を超えており、全体より高くなっています。また、60歳代と70歳代以上では、「規則正しく量やバランスの良い食事心がけている」が半数を超えており、全体より高くなっています。

職業別の商工・サービス・飲食・自由業、学生では、「規則正しく量やバランスの良い食事心がけている」が全体より低くなっています。

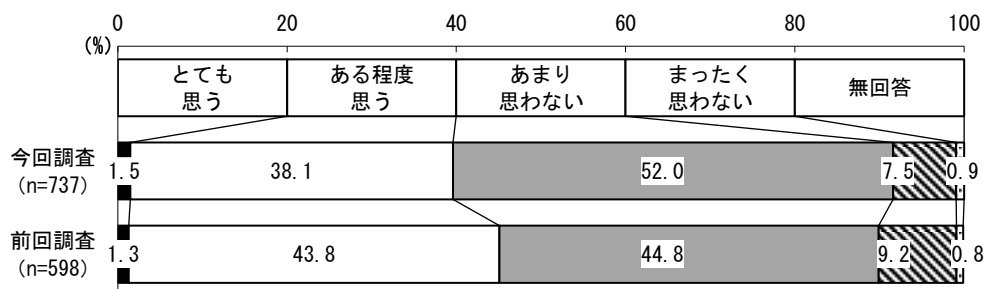
問4 匠瑛市は、高齢者や障がいのある方にとって暮らしやすい地域だと思いますか。
(1つに〇)



高齢者や障がいのある方にとっての暮らしやすさについては、「あまり思わない」との回答が52.0%で最も高くなっています。

「とても思う」(1.5%)と「ある程度思う」(38.1%)を合わせた「暮らしやすいと思う」は全体の39.6%、「あまり思わない」と「まったく思わない」(7.5%)を合わせた「暮らしやすいと思わない」は全体の59.4%で、「暮らしやすいと思わない」が上回っています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、前回調査の「暮らしやすいと思う」(45.1%)と比べ、やや下回る結果となっています。

〇●〇 性別・年齢別・居住地区別に見た傾向

(単位：%)

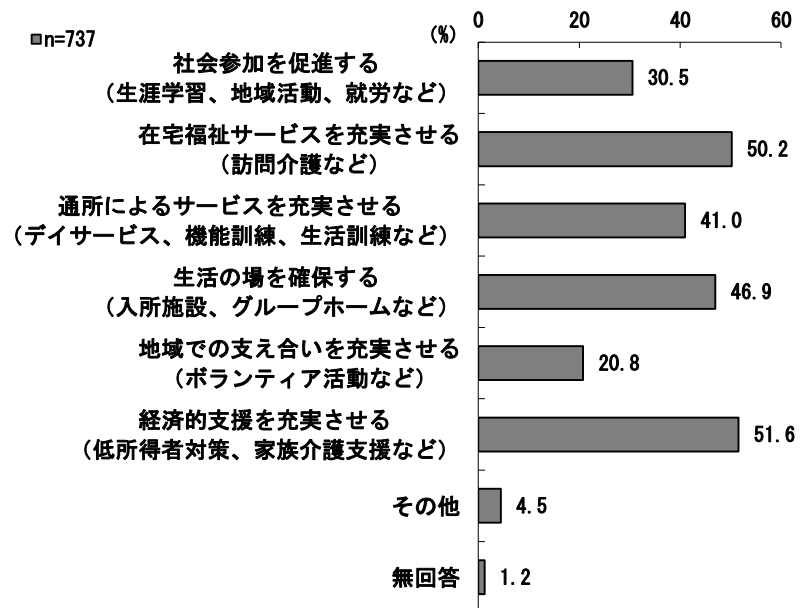
		回答者数 (n)	暮らしやすいと思う	暮らしやすいと思わない	無回答
全体		737	39.6	59.4	0.9
性別	男性	334	35.9	63.8	0.3
	女性	387	42.4	56.3	1.3
年齢	10・20歳代	60	46.7	53.3	0.0
	30歳代	71	32.4	66.2	1.4
	40歳代	116	29.3	68.1	2.6
	50歳代	117	33.3	66.7	0.0
	60歳代	177	36.2	63.8	0.0
	70歳以上	192	53.1	45.8	1.0
居住地区	中央地区	119	37.8	60.5	1.7
	豊栄地区	73	47.9	52.1	0.0
	須賀地区	71	47.9	52.1	0.0
	匝瑳地区	59	42.4	54.2	3.4
	豊和地区	33	27.3	72.7	0.0
	吉田地区	17	35.3	64.7	0.0
	飯高地区	14	35.7	64.3	0.0
	共興地区	49	36.7	61.2	2.0
	平和地区	80	40.0	58.8	1.3
	椿海地区	75	33.3	66.7	0.0
	野田地区	83	41.0	59.0	0.0
	栄地区	57	38.6	61.4	0.0

年齢別の70歳以上では、「暮らしやすいと思う」との回答が全体より高く、40歳代は全体より低くなっています。

居住地区別の、豊栄地区と須賀地区では、「暮らしやすいと思う」との回答が5割近くとなり、全体より高くなっていますが、豊和地区は3割未満と、全体より低くなっています。

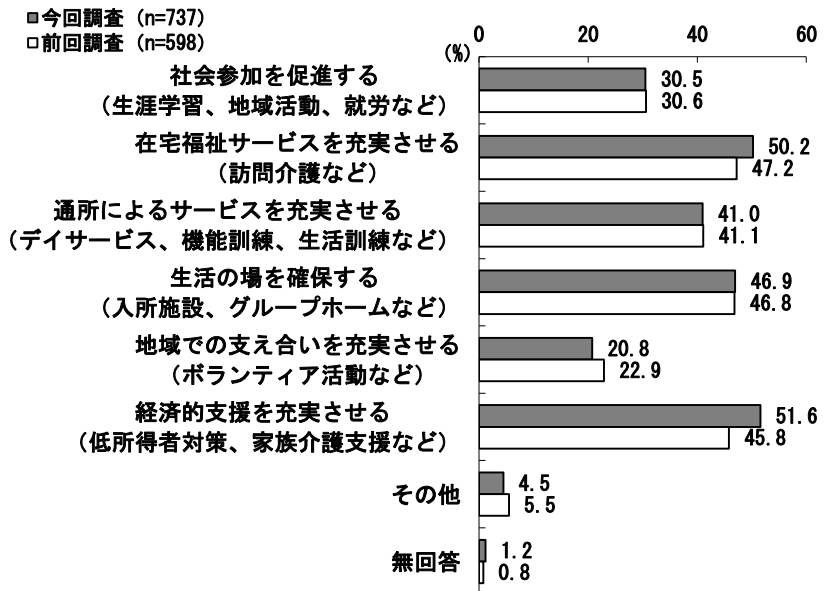
問5 市の高齢者や障がいのある方に対する施策として、何が重要と考えますか。
(3つまで○)

高齢者や障がいのある方への重要な取組については、「経済的支援を充実させる」が51.6%で最も高く、「在宅福祉サービスを充実させる」が50.2%、「生活の場を確保する」が46.9%で、僅差が続いています。



◆◆◆ 前回調査との比較

前回調査との比較では、「経済的支援を充実させる」が前回より4.8ポイント高くなっており、順位が3番目から1番目に上がりました。



〇●〇 性別・年齢別に見た傾向

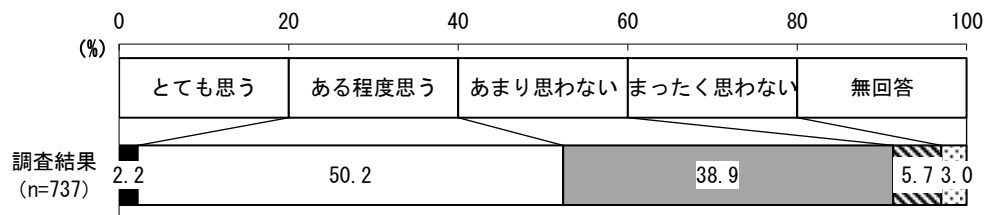
(単位：%)

		回答者数 (n)	社会参加を促進する (生涯学習、地域活動、就労など)	在宅福祉サービスを充実させる (訪問介護など)	通所によるサービスを充実させる (デイサービス、機能訓練、生活訓練など)	生活の場を確保する (入所施設、グループホームなど)	地域での支え合いを充実させる (ボランティア活動など)	経済的支援を充実させる (低所得者対策、家族介護支援など)	その他	無回答
全体		737	30.5	50.2	41.0	46.9	20.8	51.6	4.5	1.2
性別	男性	334	29.6	48.8	38.6	42.5	21.9	54.8	5.7	1.2
	女性	387	32.0	51.7	43.2	50.4	19.6	49.1	3.1	1.3
年齢	10・20 歳代	60	36.7	55.0	36.7	43.3	21.7	50.0	3.3	1.7
	30 歳代	71	26.8	52.1	47.9	49.3	9.9	56.3	7.0	0.0
	40 歳代	116	31.9	50.0	37.1	51.7	16.4	47.4	6.9	0.9
	50 歳代	117	32.5	58.1	46.2	49.6	19.7	53.8	4.3	0.0
	60 歳代	177	31.6	45.8	46.3	49.2	21.5	58.8	4.0	0.6
	70 歳以上	192	26.6	48.4	34.4	40.6	27.6	44.3	2.6	3.1

年齢別の 60 歳代と 70 歳以上では、「在宅福祉サービスを充実させる」が半数を下回りっています。また、30 歳代では、「地域での支え合いを充実させる」が 1 割を下回り、全体より低くなっています。

問6 匠瑛市は、子育てをしていく上で、暮らしやすい地域だと思いますか。

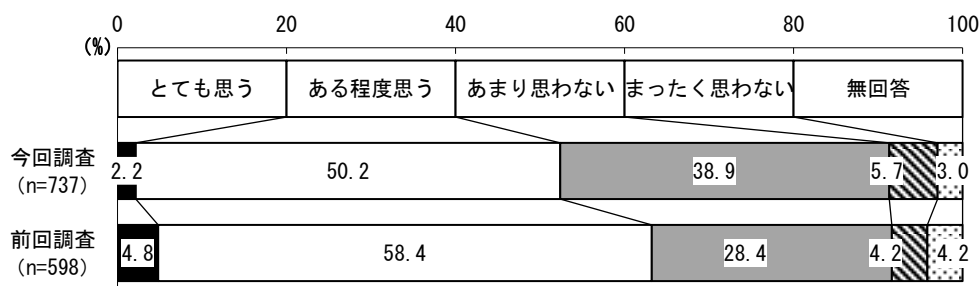
(1つに〇)



子育て上の暮らしやすさについては、「ある程度思う」との回答が50.2%で最も高くなっています。

「とても思う」(2.2%)と「ある程度思う」を合わせた「暮らしやすいと思う」は全体の52.4%、「あまり思わない」(38.9%)と「まったく思わない」(5.7%)を合わせた「暮らしやすいと思わない」は全体の44.6%で、「暮らしやすいと思う」が上回っています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、前回調査の「暮らしやすいと思う」(63.2%)と比べ、下回っています。

〇●〇 性別・年齢別・居住地区別に見た傾向

(単位：%)

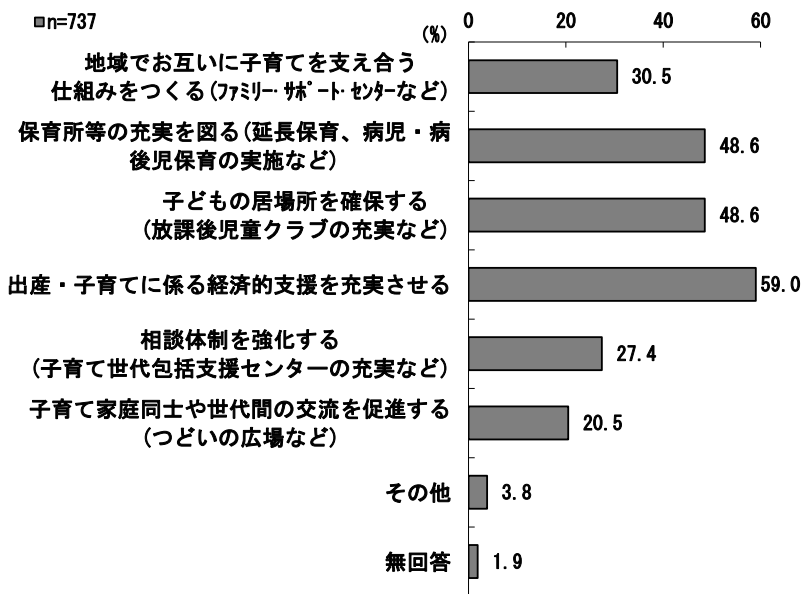
		回答者数 (n)	暮らしやすいと思う	暮らしやすいと思わない	無回答
全体		737	52.4	44.6	3.0
性別	男性	334	48.2	48.5	3.3
	女性	387	56.8	40.3	2.8
年齢	10・20歳代	60	61.7	36.7	1.7
	30歳代	71	38.0	60.6	1.4
	40歳代	116	46.6	52.6	0.9
	50歳代	117	51.3	47.0	1.7
	60歳代	177	49.2	48.6	2.3
	70歳以上	192	62.5	30.7	6.8
居住地区	中央地区	119	49.6	47.9	2.5
	豊栄地区	73	54.8	41.1	4.1
	須賀地区	71	56.3	40.8	2.8
	匝瑳地区	59	50.8	44.1	5.1
	豊和地区	33	48.5	48.5	3.0
	吉田地区	17	52.9	41.2	5.9
	飯高地区	14	50.0	50.0	0.0
	共興地区	49	59.2	38.8	2.0
	平和地区	80	53.8	40.0	6.3
	椿海地区	75	54.7	45.3	0.0
	野田地区	83	45.8	51.8	2.4
	栄地区	57	54.4	43.9	1.8

年齢別の30歳代では、「暮らしやすいと思わない」との回答が6割を超え最も高く、ここを頂点として年代が離れるほど割合が低くなっています。

居住地区別の共興地区では、「暮らしやすいと思う」との回答が6割近くで、全体より高くなっていますが、中央地区、豊和地区、野田地区では5割を下回り、全体より低くなっています。

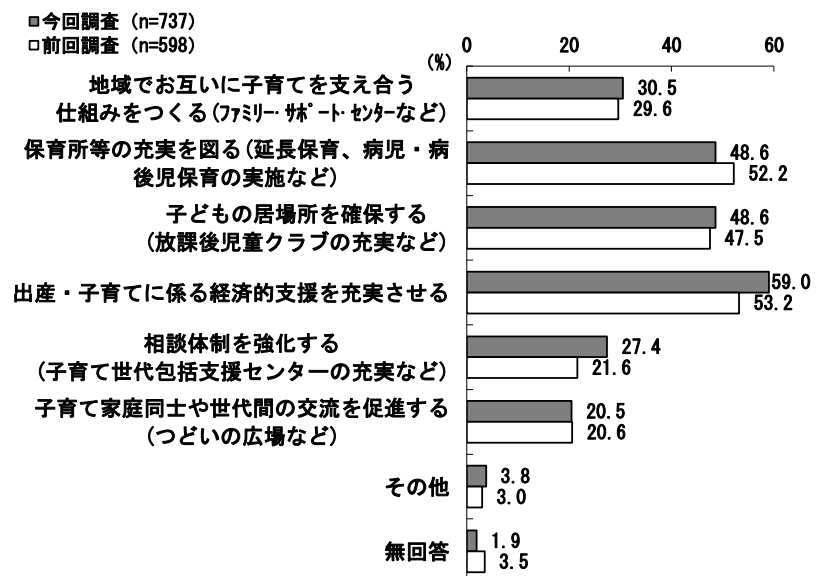
問7 市の子育て支援への取組で、何が重要と考えますか。(3つまで○)

子育て支援への重要な取組については、「出産・子育てに係る経済的支援を充実させる」が59.0%で最も高く、次いで「保育所等の充実を図る」と「子どもの居場所を確保する」の2つが同率で48.6%となっています。



◆◆◆ 前回調査との比較

前回調査との比較では、「出産・子育てに係る経済的支援を充実させる」が5.8ポイント高くなっています。



※「保育所等の充実を図る」の、前回調査時の選択肢は「保育所(園)・子ども園の充実を図る」でした。

性別・年齢別・居住地区別に見た傾向

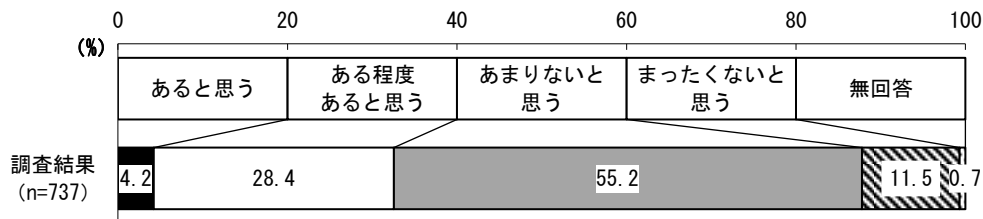
(単位：%)

		回答者数 (n)	地域でお互いに子育てを支え合う仕組みをつくる(ファミリー・サポート・センターなど)	保育所等の充実を図る(延長保育、病児・病後児保育の実施など)	子どもの居場所を確保する(放課後児童クラブの充実など)	出産・子育てに係る経済支援を充実させる	相談体制を強化する(子育て世代包括支援センターの充実など)	子育て家庭同士や世代間の交流を促進する(つどいの広場など)	その他	無回答
全体		737	30.5	48.6	48.6	59.0	27.4	20.5	3.8	1.9
性別	男性	334	32.6	47.0	45.5	66.2	26.3	18.3	3.6	1.5
	女性	387	29.2	49.6	51.9	52.2	28.9	22.0	4.1	2.3
年齢	10・20歳代	60	31.7	55.0	48.3	83.3	18.3	15.0	0.0	1.7
	30歳代	71	15.5	45.1	46.5	84.5	21.1	16.9	9.9	0.0
	40歳代	116	25.9	56.0	49.1	63.8	24.1	13.8	6.0	0.9
	50歳代	117	40.2	51.3	47.9	57.3	28.2	23.1	0.9	0.9
	60歳代	177	34.5	48.0	54.8	51.4	30.5	23.2	3.4	1.1
	70歳以上	192	29.2	42.2	44.8	46.4	31.8	24.0	3.6	4.7
居住地区	中央地区	119	28.6	56.3	51.3	54.6	31.9	23.5	3.4	0.8
	豊栄地区	73	35.6	54.8	56.2	64.4	28.8	20.5	5.5	1.4
	須賀地区	71	31.0	49.3	50.7	60.6	26.8	19.7	1.4	0.0
	匝瑳地区	59	27.1	40.7	49.2	62.7	27.1	33.9	5.1	1.7
	豊和地区	33	30.3	48.5	60.6	51.5	30.3	18.2	3.0	0.0
	吉田地区	17	17.6	35.3	58.8	52.9	35.3	17.6	0.0	5.9
	飯高地区	14	42.9	35.7	35.7	71.4	42.9	21.4	0.0	0.0
	共興地区	49	30.6	42.9	36.7	51.0	26.5	18.4	8.2	2.0
	平和地区	80	27.5	52.5	50.0	57.5	32.5	18.8	2.5	5.0
	椿海地区	75	29.3	44.0	41.3	58.7	18.7	17.3	6.7	2.7
	野田地区	83	27.7	49.4	49.4	65.1	15.7	18.1	2.4	2.4
	栄地区	57	43.9	38.6	38.6	59.6	35.1	15.8	3.5	1.8

年齢別では、子育ての機会に恵まれやすい10・20歳代から40歳代の傾向を見ると、「出産・子育てに係る経済支援を充実させる」について、10・20歳代と30歳代では8割を超え、40歳代でも6割を超えて高くなっています。

居住地区別の中央地区、豊栄地区、平和地区では、「保育所等の充実を図る」が5割を超えて高くなっており、須賀地区、匝瑳地区、豊和地区、共興地区、椿海地区、野田地区でも4割を超えています。匝瑳地区では、「子育て家庭同士や世代間の交流を促進する」が3割を超えて、全体より高くなっています。

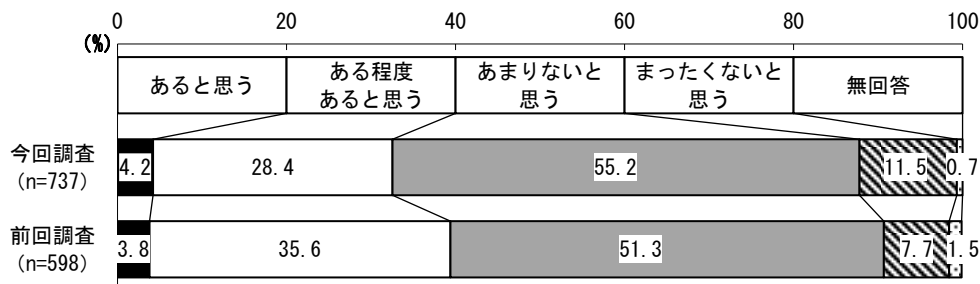
問8 あなたの暮らす地区は、高齢者や障がいのある方、子育て家庭などを、お互いに支え合う雰囲気があると思いますか。(1つに○)



地区に支え合う雰囲気があると思うかについては、「あまりないと思う」が55.2%で最も高くなっています。

「あると思う」(4.2%)と「ある程度あると思う」(28.4%)を合わせた「雰囲気があると思う」は全体の32.6%、「あまりないと思う」(55.2%)と「まったくないと思う」(11.5%)を合わせた「雰囲気があると思わない」は全体の66.8%で、「雰囲気があると思わない」が上回っています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、前回調査の「雰囲気があると思う」(39.5%)と比べ、下回っています。

※それぞれの選択肢について、前回調査時から変更がありました(「とても思う」は「あると思う」に、「ある程度思う」は「ある程度あると思う」に、「あまり思わない」は「あまりないと思う」に、「まったく思わない」は「まったくないと思う」にそれぞれ変更)。

〇●〇 性別・年齢別・居住地区別・居住歴別に見た傾向

(単位：%)

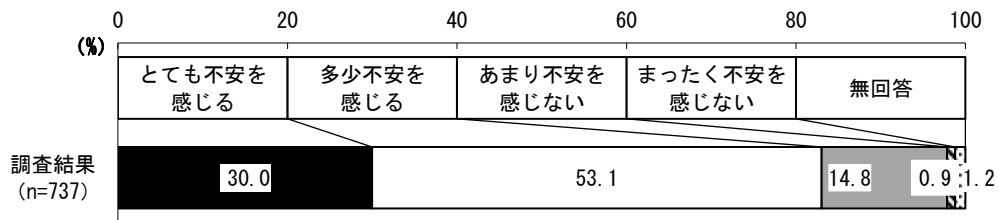
		回答者数 (n)	雰囲気があると思う	雰囲気があると思わない	無回答
全体		737	32.6	66.8	0.7
性別	男性	334	33.2	65.9	0.9
	女性	387	32.6	66.9	0.5
年齢	10・20 歳代	60	58.3	40.0	1.7
	30 歳代	71	25.4	74.6	0.0
	40 歳代	116	26.7	72.4	0.9
	50 歳代	117	29.1	70.9	0.0
	60 歳代	177	28.8	70.6	0.6
	70 歳以上	192	36.5	62.5	1.0
居住地区	中央地区	119	37.0	63.0	0.0
	豊栄地区	73	24.7	75.3	0.0
	須賀地区	71	29.6	70.4	0.0
	匝瑳地区	59	28.8	69.5	1.7
	豊和地区	33	24.2	75.8	0.0
	吉田地区	17	58.8	41.2	0.0
	飯高地区	14	50.0	50.0	0.0
	共興地区	49	40.8	59.2	0.0
	平和地区	80	28.8	68.8	2.5
	椿海地区	75	30.7	69.3	0.0
	野田地区	83	31.3	67.5	1.2
	栄地区	57	36.8	61.4	1.8
居住歴	ずっと市内に住んでいる	259	35.9	63.3	0.8
	市外での居住経験がある	189	32.8	66.7	0.5
	県内の他の市町村出身である	182	28.6	70.9	0.5
	県外の出身である	96	30.2	68.8	1.0

年齢別の10・20歳代では、「雰囲気があると思う」との回答が6割近くとなり全体より高くなっています。

居住地区別の吉田地区では、「雰囲気があると思う」との回答が6割近くとなっています。一方、「雰囲気があると思わない」との回答については、豊栄地区、須賀地区、豊和地区で7割を超えて高くなっています。

居住歴別のずっと市内に住んでいるでは、「雰囲気があると思う」との回答が全体より高くなっているのに対し、県内の他の市町村出身では「雰囲気があると思わない」との回答が全体より高くなっています。

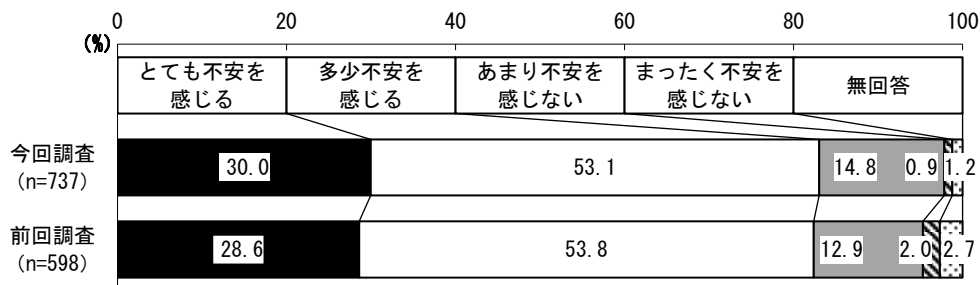
問9 あなたは、現在の医療体制をどう感じていますか。(1つに○)



現在の医療体制については、「多少不安を感じる」が53.1%で最も高くなっています。

「とても不安を感じる」(30.0%)と「多少不安を感じる」を合わせた「不安を感じる」は全体の83.0%、「あまり不安を感じない」(14.8%)と「まったく不安を感じない」(0.9%)を合わせた「不安を感じない」は全体の15.7%で、「不安を感じる」が8割を超えて非常に高くなっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、前回調査の「不安を感じる」は全体の82.4%であり、ほぼ差のない結果となっています。

〇〇〇 性別・年齢別に見た傾向

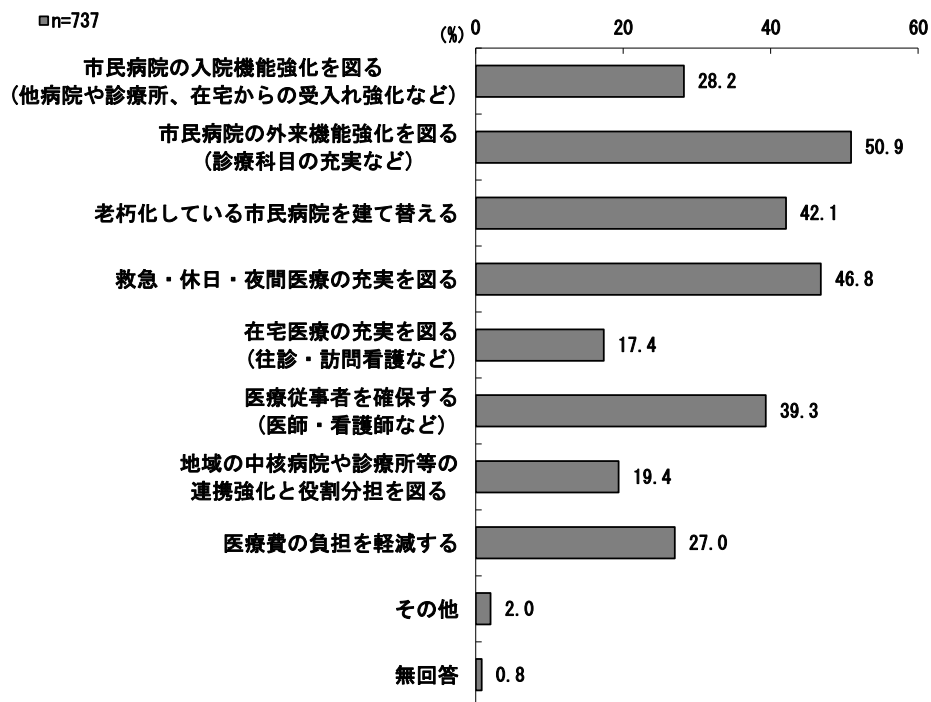
(単位：%)

		回答者数 (n)	「不安を 感じる」	「不安を 感じない」	無回答
全体		737	83.0	15.7	1.2
性別	男性	334	78.1	20.7	1.2
	女性	387	87.3	11.4	1.3
年齢	10・20 歳代	60	73.3	25.0	1.7
	30 歳代	71	78.9	21.1	0.0
	40 歳代	116	89.7	8.6	1.7
	50 歳代	117	84.6	14.5	0.9
	60 歳代	177	88.7	10.7	0.6
	70 歳以上	192	77.6	20.3	2.1
居住地区	中央地区	119	84.0	13.4	2.5
	豊栄地区	73	90.4	9.6	0.0
	須賀地区	71	81.7	18.3	0.0
	匝瑳地区	59	78.0	22.0	0.0
	豊和地区	33	84.8	15.2	0.0
	吉田地区	17	94.1	5.9	0.0
	飯高地区	14	78.6	14.3	7.1
	共興地区	49	71.4	28.6	0.0
	平和地区	80	85.0	13.8	1.3
	椿海地区	75	86.7	12.0	1.3
	野田地区	83	78.3	19.3	2.4
	栄地区	57	84.2	14.0	1.8

年齢別の 40 歳代、50 歳代、60 歳代では、「不安を感じる」が 8 割を超えています。

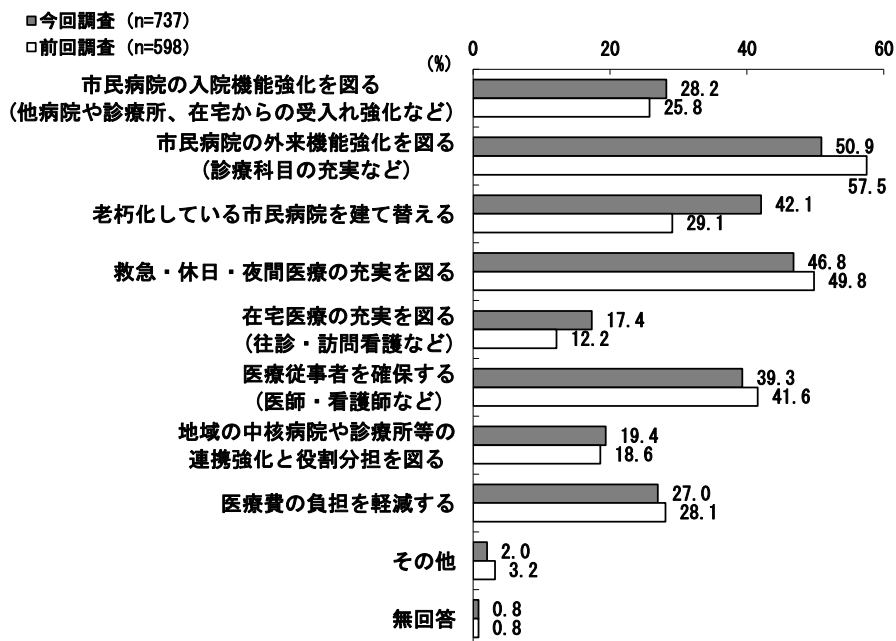
居住地区別の豊栄地区、吉田地区では、「不安を感じる」が 9 割を超えて、非常に高くなっています。

問 10 地域の医療環境への取組で、何が重要と考えますか。(3つまで○)



地域の医療環境への重要な取組については、「市民病院の外来機能強化を図る」との回答が 50.9%で最も高く、次いで「救急・休日・夜間医療の充実を図る」が 46.8%、「老朽化している市民病院を建て替える」が 42.1%などとなっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、「老朽化している市民病院を建て替える」が 13.0 ポイント高くなっています。

性別・年齢別・居住地区別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数 (n)	市民病院の入院機能強化を図る(他病院や診療所、在宅からの受入れ強化など)	市民病院の外来機能強化を図る(診療科目の充実など)	老朽化している市民病院を建て替える	救急・休日・夜間医療の充実を図る	在宅医療の充実を図る(往診・訪問看護など)	医療従事者を確保する(医師・看護師など)	地域の中核病院や診療所等の連携強化と役割分担を図る	医療費の負担を軽減する	その他	無回答
全体		737	28.2	50.9	42.1	46.8	17.4	39.3	19.4	27.0	2.0	0.8
性別	男性	334	35.6	47.0	37.1	45.8	13.5	41.3	19.5	28.1	3.0	0.6
	女性	387	21.4	54.8	46.8	47.8	20.2	38.5	19.1	25.3	1.3	1.0
年齢	10・20歳代	60	23.3	45.0	48.3	46.7	16.7	28.3	25.0	36.7	0.0	1.7
	30歳代	71	19.7	49.3	46.5	56.3	16.9	38.0	15.5	25.4	5.6	0.0
	40歳代	116	27.6	47.4	33.6	58.6	13.8	37.9	19.8	25.0	6.0	0.9
	50歳代	117	28.2	57.3	38.5	46.2	12.8	43.6	24.8	25.6	0.0	1.7
	60歳代	177	31.6	55.9	39.5	46.3	19.2	39.5	18.6	30.5	1.1	0.0
	70歳以上	192	29.7	46.4	47.9	37.0	21.4	41.7	16.7	24.0	1.0	1.0
居住地区	中央地区	119	25.2	53.8	44.5	46.2	21.0	37.8	25.2	20.2	0.8	0.0
	豊栄地区	73	27.4	52.1	39.7	54.8	12.3	43.8	21.9	24.7	5.5	0.0
	須賀地区	71	32.4	43.7	35.2	49.3	12.7	33.8	18.3	33.8	2.8	1.4
	匠瑳地区	59	30.5	50.8	33.9	40.7	15.3	39.0	23.7	30.5	3.4	0.0
	豊和地区	33	36.4	60.6	36.4	57.6	15.2	45.5	3.0	24.2	3.0	0.0
	吉田地区	17	29.4	58.8	52.9	58.8	17.6	41.2	5.9	29.4	0.0	0.0
	飯高地区	14	21.4	57.1	50.0	50.0	21.4	50.0	21.4	14.3	0.0	0.0
	共興地区	49	28.6	36.7	44.9	32.7	26.5	40.8	16.3	34.7	0.0	0.0
	平和地区	80	32.5	58.8	42.5	40.0	16.3	40.0	16.3	28.8	0.0	1.3
	椿海地区	75	16.0	42.7	53.3	46.7	20.0	38.7	17.3	28.0	1.3	1.3
	野田地区	83	33.7	51.8	42.2	48.2	15.7	47.0	19.3	21.7	3.6	1.2
	栄地区	57	24.6	50.9	36.8	50.9	19.3	28.1	22.8	33.3	1.8	3.5

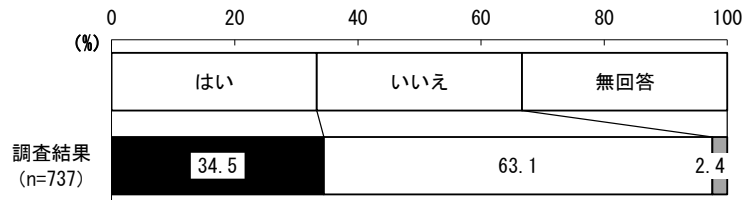
年齢別の50歳代、60歳代では、「市民病院の外来機能強化を図る」が5割を超えています。また、「救急・休日・夜間医療の充実を図る」が30歳代と40歳代で5割を超え、全体より高くなっています。

居住地区別では、「救急・休日・夜間医療の充実を図る」が豊栄地区、豊和地区、吉田地区、飯高地区、栄地区で5割を超え、全体より高くなっています。「医療従事者を確保する」では、豊栄地区、豊和地区、吉田地区、飯高地区、共興地区、平和地区、野田地区が全体より高くなっています。

3 産業・経済について

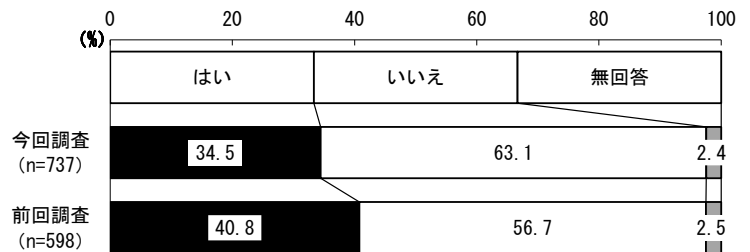
問 11 あなたは、匝瑳市について他の市町村の人に自慢したいことはありますか。
(1つに○)

市で自慢したいことがあるかについては、「はい」と回答した人は34.5%となっています。



◆◆◆ 前回調査との比較

前回調査と比較すると、「いいえ」と回答した人が6.4ポイント高くなっています。



○●○ 性別・年齢別に見た傾向

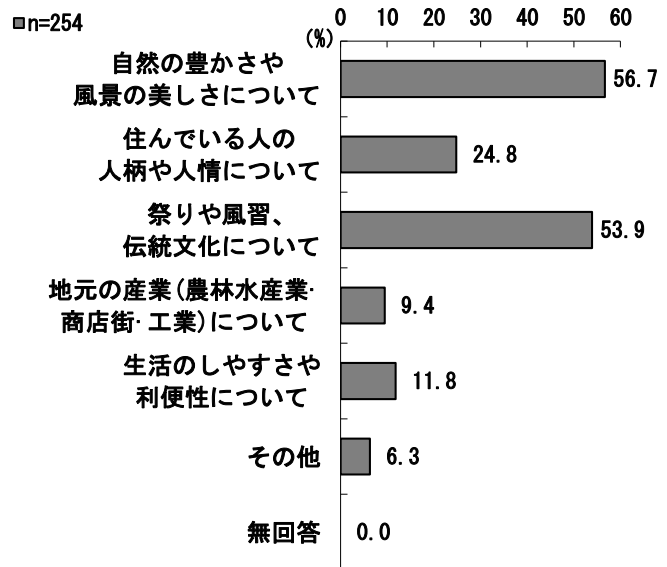
(単位：%)

		回答者数 (n)	はい	いいえ	無回答
全体		737	34.5	63.1	2.4
性別	男性	334	34.1	64.1	1.8
	女性	387	35.4	61.5	3.1
年齢	10・20 歳代	60	35.0	65.0	0.0
	30 歳代	71	29.6	70.4	0.0
	40 歳代	116	29.3	67.2	3.4
	50 歳代	117	35.0	61.5	3.4
	60 歳代	177	31.1	67.8	1.1
	70 歳以上	192	42.2	53.6	4.2

年齢別の70歳代では、「はい」との回答が4割を超えており、全体より高くなっていますが、30歳代、40歳代では2割台と全体より低くなっています。

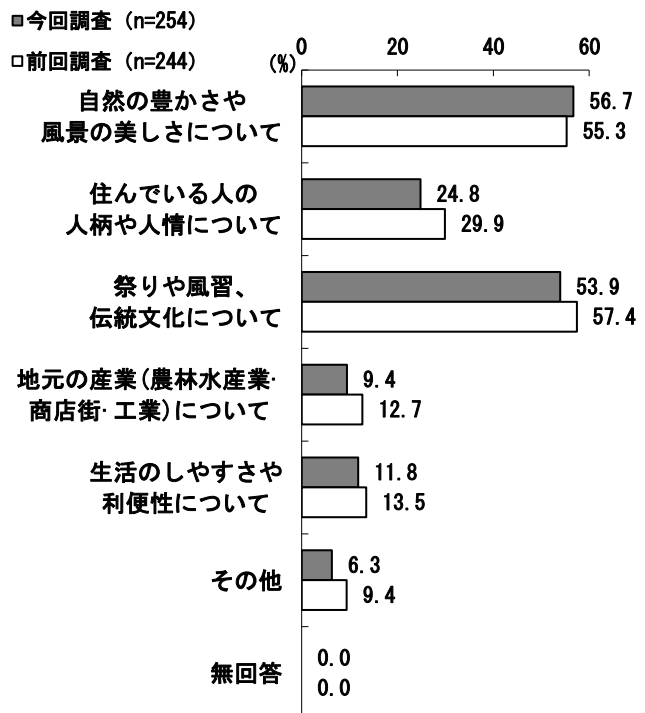
問 11-1 それはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

市で自慢したいことがあるかについて「はい」と回答した人の、自慢したい内容については、「自然の豊かさや風景の美しさについて」が 56.7% で最も高く、次いで「祭りや風習、伝統文化について」が 53.9%、「住んでいる人の人柄や人情について」が 24.8% などとなっています。



◆◆◆ 前回調査との比較

前回調査との比較では、前回最も高い項目だった「祭りや風習、伝統文化について」の回答が 3.5 ポイント低くなり、2 番目になりました。代わって、1.4 ポイント高くなった「自然の豊かさや風景の美しさについて」が 1 番目になりました。



〇●〇 性別・年齢別・居住歴別に見た傾向

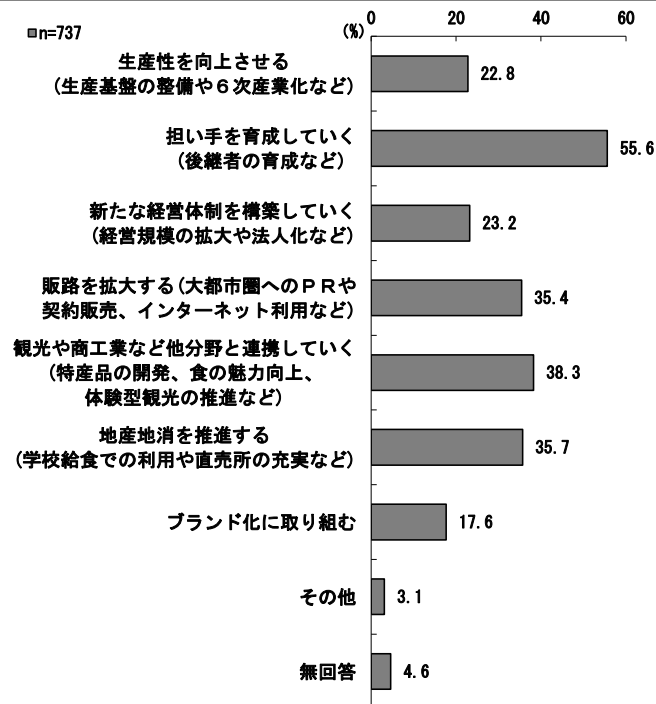
(単位：%)

		回答者数 (n)	自然の豊かさや風景の美しさについて	住んでいる人の人柄や人情について	祭りや風習、伝統文化について	地元の産業（農林水産業・商店街・工業）について	生活のしやすさや利便性について	その他	無回答
全体		254	56.7	24.8	53.9	9.4	11.8	6.3	0.0
性別	男性	114	51.8	21.1	57.0	10.5	14.0	6.1	0.0
	女性	137	61.3	27.7	51.1	8.0	10.2	6.6	0.0
年齢	10・20 歳代	21	57.1	14.3	47.6	28.6	4.8	14.3	0.0
	30 歳代	21	52.4	14.3	57.1	9.5	9.5	9.5	0.0
	40 歳代	34	44.1	17.6	55.9	11.8	17.6	14.7	0.0
	50 歳代	41	63.4	14.6	65.9	7.3	7.3	2.4	0.0
	60 歳代	55	60.0	25.5	52.7	10.9	5.5	1.8	0.0
	70 歳以上	81	56.8	38.3	48.1	3.7	18.5	4.9	0.0
居住歴	ずっと市内に住んでいる	84	66.7	25.0	50.0	15.5	10.7	4.8	0.0
	市外での居住経験あり	69	56.5	27.5	59.4	8.7	7.2	10.1	0.0
	県内の他の市町村出身	66	48.5	24.2	54.5	3.0	15.2	3.0	0.0
	県外出身	33	48.5	21.2	48.5	6.1	18.2	9.1	0.0

年齢別の40歳代では、「自然の豊かさや風景の美しさについて」が5割を下回り、全体より低くなっているのに対し、50歳代と60歳代で6割を超え、全体より高くなっています。また、「祭りや風習、伝統文化について」は50歳代が6割を超えています。

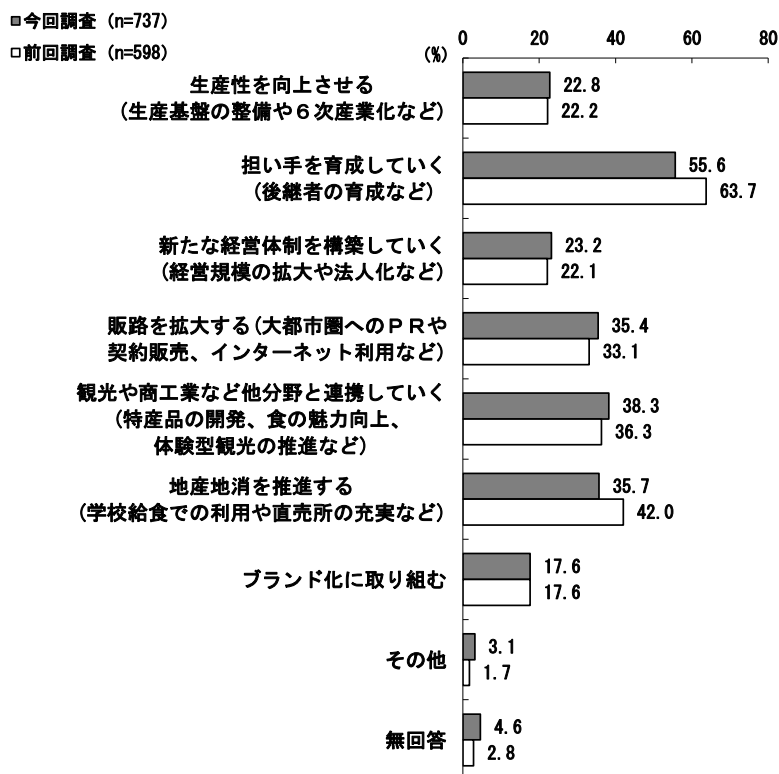
居住歴別の市外での居住経験ありでは、「祭りや風習、伝統文化について」が全体より高くなっています。

問 12 市の農林水産業振興への取組で、何が重要と考えますか。(3つまで○)



農林水産業振興への重要な取組については、「担い手を育成していく」が55.6%で最も高く、次いで「観光や商工業など他分野と連携していく」が38.3%、「地産地消を推進する」が35.7%などとなっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、「担い手を育成していく」が8.1ポイント低くなっています。

〇●〇 性別・年齢別・職業別に見た傾向

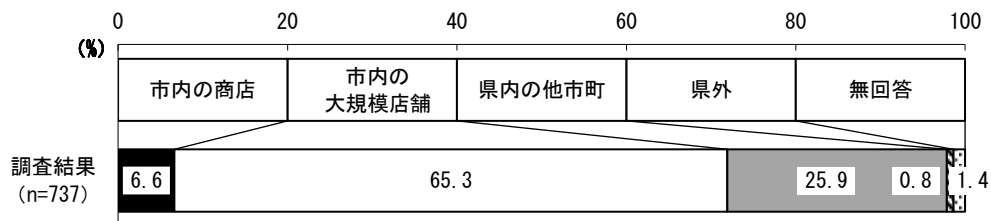
(単位：%)

		回答者数 (n)	生産性を向上させる(生産基盤の整備や6次産業化など)	担い手を育成していく(後継者の育成など)	新たな経営体制構築していく(経営規模の拡大や法人化など)	販路を拡大する(大都市圏へのPRや契約販売、インターネット利用など)	観光や商業など他分野と連携していく(特産品の開発、食の魅力向上、体験型観光の推進)	地産地消を推進する(学校給食での利用や直売所の充実など)	ブランド化に取り組む	その他	無回答
全体		737	22.8	55.6	23.2	35.4	38.3	35.7	17.6	3.1	4.6
性別	男性	334	24.6	56.0	26.3	36.2	35.6	34.1	21.6	3.6	3.3
	女性	387	20.7	54.8	21.2	35.4	40.6	36.7	15.0	2.8	5.7
年齢	10・20歳代	60	23.3	46.7	21.7	50.0	41.7	31.7	26.7	0.0	3.3
	30歳代	71	16.9	53.5	22.5	38.0	33.8	42.3	21.1	7.0	4.2
	40歳代	116	22.4	48.3	20.7	40.5	42.2	31.9	26.7	5.2	1.7
	50歳代	117	23.9	60.7	22.2	40.2	41.0	27.4	18.8	0.9	7.7
	60歳代	177	28.2	64.4	26.0	31.1	37.3	36.7	11.9	2.3	4.0
	70歳以上	192	18.8	52.6	23.4	28.6	35.9	41.1	13.0	3.6	5.7
職業	農林漁業	56	32.1	57.1	25.0	33.9	32.1	51.8	17.9	3.6	1.8
	商工・サービス・飲食・自由業	71	15.5	57.7	14.1	31.0	46.5	29.6	23.9	5.6	1.4
	会社員・団体職員・公務員	240	21.7	54.6	24.2	40.4	34.6	34.2	22.9	3.3	4.6
	学生	29	17.2	34.5	27.6	48.3	41.4	37.9	31.0	0.0	3.4
	家事(パートタイム含む)	117	26.5	53.0	22.2	37.6	45.3	35.9	10.3	2.6	4.3
	無職	178	23.0	60.1	23.6	27.0	36.5	35.4	10.1	2.2	7.9
	その他	38	21.1	57.9	26.3	44.7	39.5	31.6	18.4	5.3	2.6

年齢別の50歳代と60歳代では、「担い手を育成していく」が6割を超え、全体より高くなっています。

職業別の農林漁業では、「担い手を育成していく」が最も高く、また、「地産地消を推進する」が5割を超えており、全体より高くなっています。

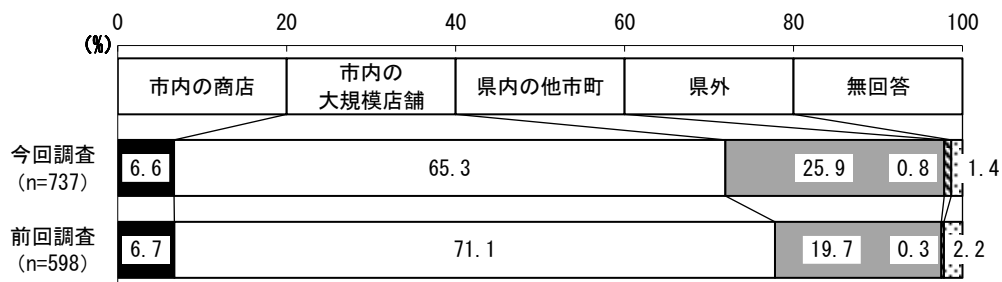
問 13 あなたは、主にどこで日常生活の買い物をしますか。(1つに○)



日常の買い物については、「市内の大規模店舗」との回答が 65.3%で最も高くなっており、次いで「県内の他市町」が 25.9%、「市内の商店」が 6.6%となっています。

「市内の商店」と「市内の大規模店舗」を合わせた「市内で買い物をする」人の割合は全体の 71.9%です。

◆◇◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、前回調査の「市内で買い物をする」人の割合（77.8%）と比べ、下回っています。

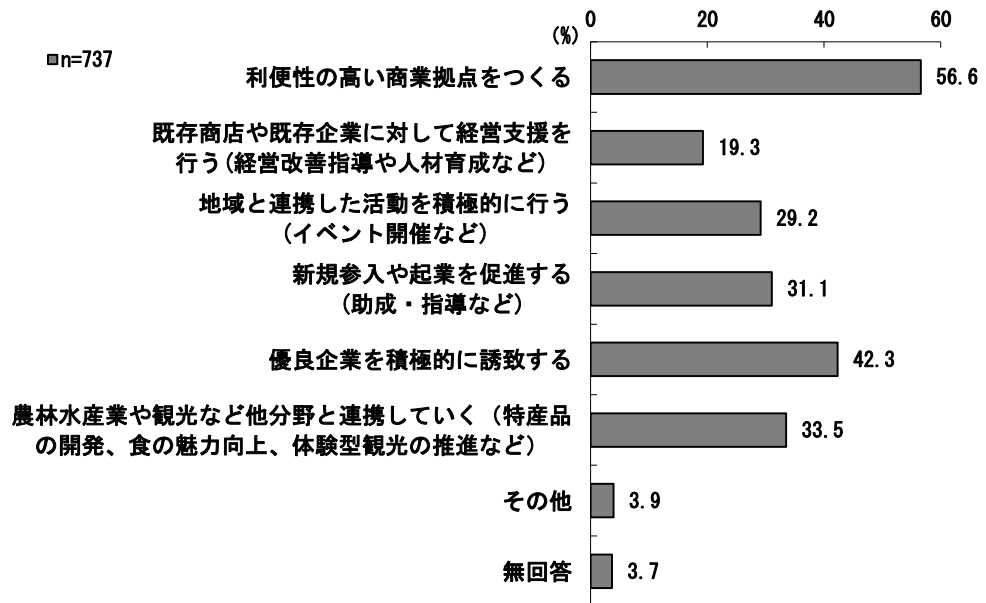
○●○ 性別・年齢別・居住地区別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数 (n)	市内の商店	市内の 大規模店舗	県内の 他市町	県外	無回答
全体		737	6.6	65.3	25.9	0.8	1.4
性別	男性	334	6.9	65.3	25.7	0.6	1.5
	女性	387	6.7	64.9	26.4	1.0	1.0
年齢	10・20歳代	60	5.0	48.3	43.3	0.0	3.3
	30歳代	71	7.0	60.6	31.0	1.4	0.0
	40歳代	116	4.3	63.8	29.3	2.6	0.0
	50歳代	117	5.1	68.4	22.2	0.9	3.4
	60歳代	177	5.6	68.4	25.4	0.0	0.6
	70歳以上	192	10.4	68.2	19.3	0.5	1.6
居住地区	中央地区	119	5.0	77.3	16.8	0.0	0.8
	豊栄地区	73	4.1	74.0	20.5	0.0	1.4
	須賀地区	71	9.9	70.4	18.3	0.0	1.4
	匠瑳地区	59	11.9	67.8	16.9	1.7	1.7
	豊和地区	33	15.2	66.7	18.2	0.0	0.0
	吉田地区	17	5.9	47.1	47.1	0.0	0.0
	飯高地区	14	0.0	42.9	57.1	0.0	0.0
	共興地区	49	8.2	69.4	22.4	0.0	0.0
	平和地区	80	1.3	61.3	32.5	0.0	5.0
	椿海地区	75	2.7	49.3	42.7	4.0	1.3
	野田地区	83	10.8	63.9	24.1	0.0	1.2
	栄地区	57	7.0	52.6	36.8	3.5	0.0

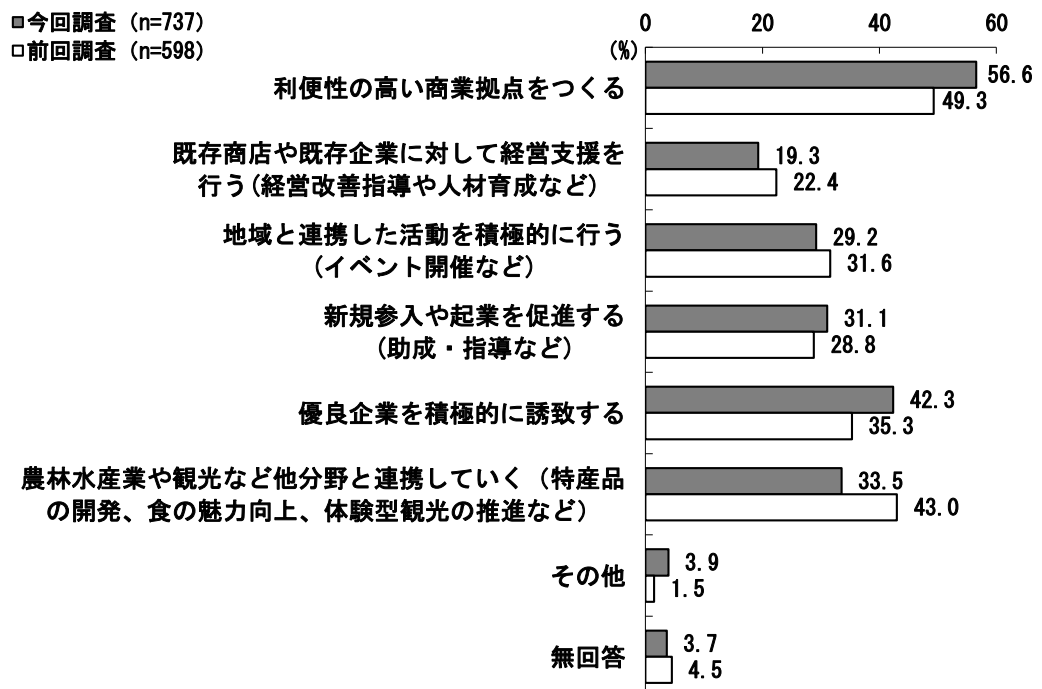
年齢別の10・20歳代以外は、「市内の大規模店舗」が6割台となっています。
 居住地区別の須賀地区、匠瑳地区、豊和地区、共興地区、野田地区、栄地区では、「市内の商店」が全体より高くなっています。中央地区、豊栄地区、須賀地区では、「市内の大規模店舗」が7割を超えています。吉田地区、飯高地区、平和地区、椿海地区、栄地区では、「県内の他市町」が全体より高くなっています。

問 14 市の商工業振興への取組で、何が重要と考えますか。(3つまで○)



商工業振興への重要な取組については、「利便性の高い商業拠点をつくる」との回答が56.6%で最も高く、次いで「優良企業を積極的に誘致する」が42.3%、「農林水産業や観光など他分野と連携していく」が33.5%などとなっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、「利便性の高い商業拠点をつくる」が7.3ポイント高くなっており、一方で、「農林水産業や観光など他分野と連携していく」は9.5ポイント低くなっています。

性別・年齢別・職業別に見た傾向

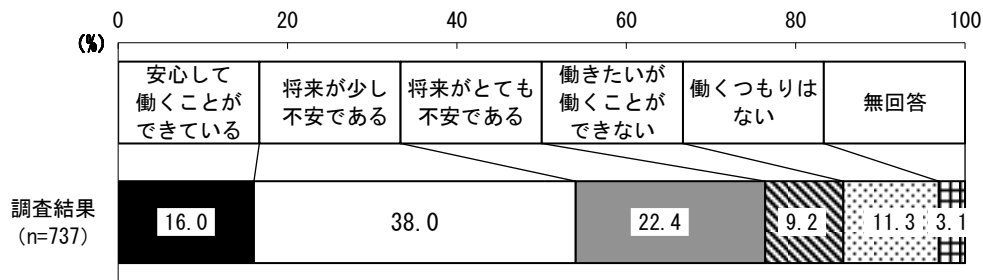
(単位：%)

		回答者数 (n)	利便性の高い商業拠点をつくる	既存商店や既存企業に対して経営支援を行う(経営改善指導や人材育成など)	地域と連携した活動を積極的に行う(イベント開催など)	新規参入や起業を促進する(助成・指導など)	優良企業を積極的に誘致する	農林水産業や観光など他分野と連携していく(特産品の開発、食の魅力向上、体験型観光の推進など)	その他	無回答
全体		737	56.6	19.3	29.2	31.1	42.3	33.5	3.9	3.7
性別	男性	334	57.8	18.3	26.3	36.5	46.1	31.1	5.4	3.3
	女性	387	56.1	20.2	31.8	26.4	39.8	35.9	2.8	3.6
年齢	10・20歳代	60	58.3	20.0	28.3	33.3	48.3	30.0	0.0	3.3
	30歳代	71	69.0	18.3	29.6	26.8	40.8	25.4	11.3	0.0
	40歳代	116	59.5	21.6	27.6	30.2	45.7	30.2	5.2	0.9
	50歳代	117	57.3	19.7	35.9	31.6	41.0	38.5	2.6	6.0
	60歳代	177	58.2	16.4	31.6	35.6	40.1	34.5	4.0	2.8
	70歳以上	192	47.9	20.8	24.5	27.1	42.2	36.5	2.6	6.3
職業	農林漁業	56	42.9	17.9	30.4	26.8	41.1	44.6	3.6	1.8
	商工・サービス・飲食・自由業	71	59.2	25.4	23.9	25.4	33.8	35.2	7.0	2.8
	会社員・団体職員・公務員	240	62.1	21.7	29.6	33.8	45.8	30.8	5.0	2.5
	学生	29	51.7	17.2	31.0	34.5	51.7	27.6	0.0	3.4
	家事(パートタイム含む)	117	55.6	14.5	29.9	35.0	47.0	34.2	3.4	1.7
	無職	178	52.8	18.5	29.2	25.8	36.0	35.4	2.8	8.4
	その他	38	60.5	18.4	31.6	34.2	50.0	31.6	2.6	0.0

年齢別の30歳代では、「利便性の高い商業拠点をつくる」が、7割近くで全体より高くなっています。

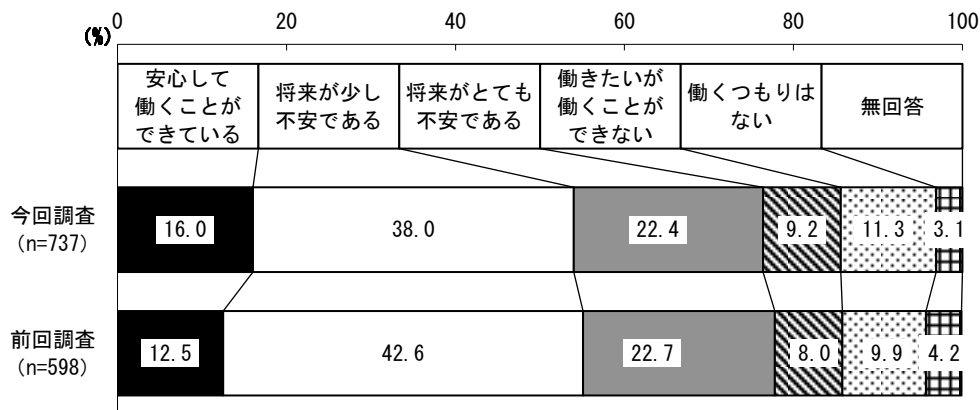
職業別の会社員・団体職員・公務員では、「利便性の高い商業拠点をつくる」が、6割を超え、全体より高くなっています。

問 15 あなたは、現在の就労状況について、どのように感じていますか。(1つに○)



現在の就労状況については、「将来が少し不安である」との回答が 38.0%で最も高くなっています。「将来が少し不安である」と「将来がとても不安である」(22.4%)を合わせた「将来が不安である」は全体の 60.4%となっています。「安心して働くことができる」と回答した人は全体の 16.0%です。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、「安心して働くことができる」が 3.5 ポイント高くなっています。

性別・年齢別・職業別に見た傾向

(単位：%)

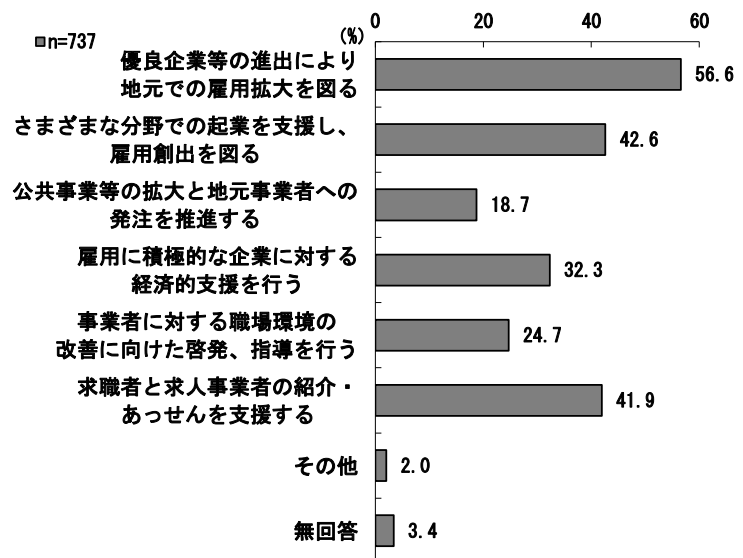
		回答者数 (n)	安心して 働くことができている	将来が少し不安である	将来がとても不安である	働きたいが、 働くことができない	働くつもりはない	無回答	(将来が不安である) (将来が少し不安である) (将来がとても不安である) +
全体		737	16.0	38.0	22.4	9.2	11.3	3.1	60.4
性別	男性	334	17.7	37.1	23.1	8.7	10.5	3.0	60.2
	女性	387	15.0	39.3	21.4	9.3	11.9	3.1	60.7
年齢	10・20 歳代	60	20.0	48.3	21.7	5.0	1.7	3.3	70.0
	30 歳代	71	18.3	50.7	22.5	8.5	0.0	0.0	73.2
	40 歳代	116	24.1	41.4	25.9	6.9	0.9	0.9	67.2
	50 歳代	117	23.1	47.9	18.8	6.0	0.9	3.4	66.7
	60 歳代	177	13.0	36.7	23.7	11.9	12.4	2.3	60.5
	70 歳以上	192	7.3	24.0	20.8	11.5	30.2	6.3	44.8
職業	農林漁業	56	19.6	35.7	33.9	1.8	5.4	3.6	69.6
	商工・サービス・飲食・自由業	71	14.1	45.1	33.8	5.6	0.0	1.4	78.9
	会社員・団体職員・公務員	240	28.3	47.1	21.3	1.3	0.0	2.1	68.3
	学生	29	3.4	62.1	24.1	3.4	3.4	3.4	86.2
	家事(パートタイム含む)	117	17.9	41.9	19.7	12.8	6.8	0.9	61.5
	無職	178	0.0	15.7	15.2	23.6	38.2	7.3	30.9
	その他	38	13.2	47.4	28.9	2.6	7.9	0.0	76.3

年齢別の10・20歳代、30歳代では「将来が不安である」が7割を超え、全体より高くなっています。

職業別の学生では「将来が不安である」が8割強と非常に高く、商工・サービス・飲食・自由業がこれに次ぐ結果となっています。

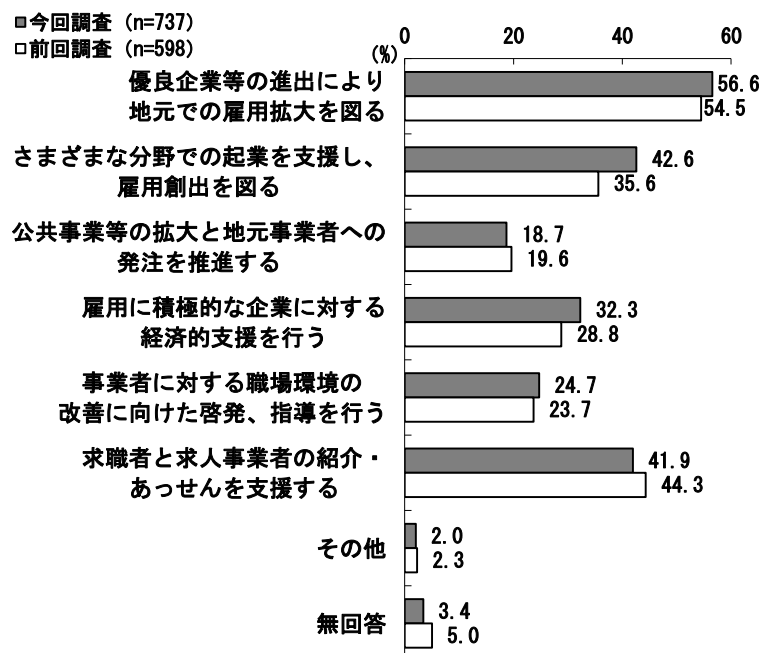
問 16 市の雇用対策として、何が重要と考えますか。(3つまで○)

市の雇用対策としては、「優良企業等の進出により地元での雇用拡大を図る」が56.6%で最も高く、次いで「さまざまな分野での起業を支援し、雇用創出を図る」が42.6%、「求職者と求人事業者の紹介・あっせんを支援する」が41.9%などとなっています



◆◇◆ 前回調査との比較

前回調査との比較では、前回調査に引き続き「優良企業等の進出により地元での雇用拡大を図る」が最も高くなっています。



〇〇〇 性別・年齢別・職業別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数 (n)	優良企業等の進出により地元での雇用拡大を図る	さまざまな分野での起業を支援し、雇用創出を図る	公共事業等の拡大と地元事業者への発注を推進する	雇用には積極的な企業に対する経済的支援を行う	事業者に対する職場環境の改善に向けた啓発、指導を行う	求職者と求人事業者の紹介・あっせんを支援する	その他	無回答
全体		737	56.6	42.6	18.7	32.3	24.7	41.9	2.0	3.4
性別	男性	334	55.7	43.7	18.9	38.3	21.6	44.0	2.7	3.0
	女性	387	58.1	41.9	18.6	27.4	26.6	40.8	1.6	3.6
年齢	10・20 歳代	60	53.3	36.7	21.7	41.7	36.7	33.3	1.7	3.3
	30 歳代	71	54.9	40.8	19.7	33.8	28.2	36.6	5.6	1.4
	40 歳代	116	52.6	41.4	21.6	35.3	22.4	39.7	4.3	2.6
	50 歳代	117	61.5	48.7	17.1	36.8	26.5	39.3	0.9	4.3
	60 歳代	177	62.1	41.8	14.7	32.2	22.6	51.4	0.6	2.3
	70 歳以上	192	52.6	42.7	20.8	24.5	21.9	40.6	1.6	5.2
職業	農林漁業	56	50.0	46.4	25.0	23.2	21.4	48.2	1.8	3.6
	商工・サービス・飲食・自由業	71	50.7	45.1	23.9	36.6	22.5	45.1	2.8	1.4
	会社員・団体職員・公務員	240	58.8	44.2	17.5	39.2	26.7	39.6	2.9	2.9
	学生	29	48.3	41.4	17.2	44.8	34.5	31.0	0.0	3.4
	家事 (パートタイム含む)	117	59.8	39.3	17.9	31.6	29.9	45.3	0.9	0.9
	無職	178	55.1	39.9	18.0	26.4	19.1	40.4	1.7	7.3
	その他	38	68.4	42.1	18.4	21.1	26.3	39.5	2.6	0.0

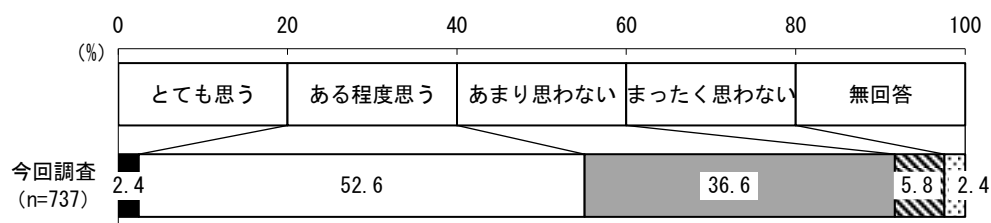
男性の「雇用には積極的な企業に対する経済的支援を行う」との回答が、女性の回答を上回っています。

年齢別の 50 歳代、60 歳代では、「優良企業等の進出により地元での雇用拡大を図る」が 6 割を超え、全体より高くなっています。

職業別の会社員・団体職員・公務員、家事 (パートタイム含む) では、「優良企業等の進出により地元での雇用拡大を図る」が 6 割近くとなっており、その他を除く全体よりも高くなっています。

4 生活環境・都市建設について

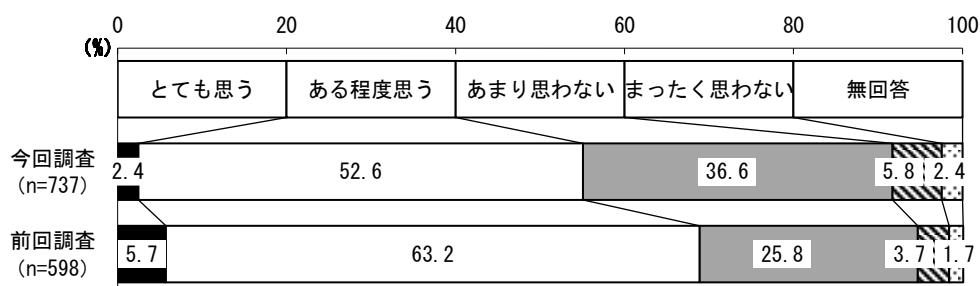
問 17 匝瑳市は、快適に生活できる住環境であると思いますか。(1つに○)



匝瑳市が快適に生活できる住環境と思うかについては、「ある程度思う」が 52.6% で最も高くなっています。

「とても思う」と「ある程度思う」を合わせた「そう思う」は 55.1% となっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、前回調査の「そう思う」(68.9%) と比べ、下回っています。

〇〇〇 性別・年齢別・居住地区別に見た傾向

(単位：%)

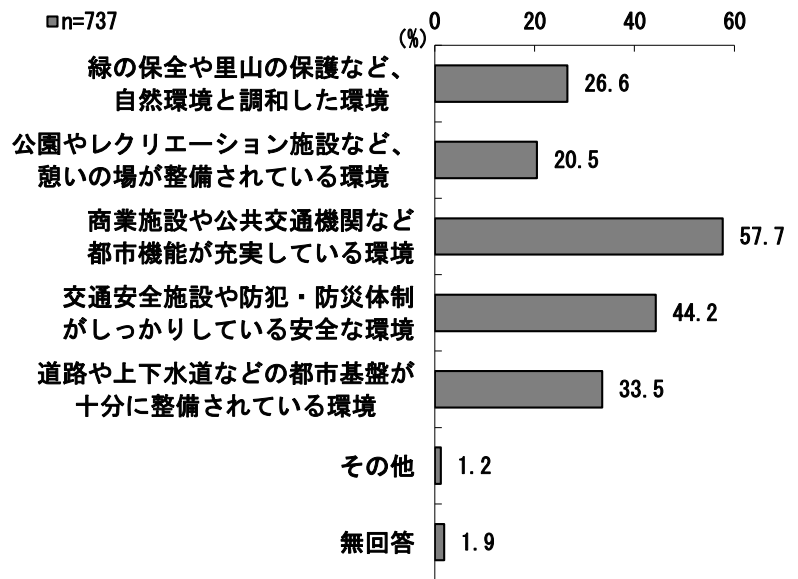
		回答者数 (n)	「そう思う」	「そう思わない」	無回答
全体		737	55.1	42.5	2.4
性別	男性	334	54.5	42.8	2.7
	女性	387	55.8	41.9	2.3
年齢	10・20 歳代	60	63.3	35.0	1.7
	30 歳代	71	54.9	45.1	0.0
	40 歳代	116	56.9	40.5	2.6
	50 歳代	117	46.2	51.3	2.6
	60 歳代	177	53.7	44.1	2.3
	70 歳以上	192	57.8	38.5	3.6
居住地区	中央地区	119	57.1	39.5	3.4
	豊栄地区	73	68.5	31.5	0.0
	須賀地区	71	76.1	23.9	0.0
	匝瑳地区	59	49.2	49.2	1.7
	豊和地区	33	42.4	57.6	0.0
	吉田地区	17	41.2	58.8	0.0
	飯高地区	14	21.4	71.4	7.1
	共興地区	49	55.1	42.9	2.0
	平和地区	80	55.0	40.0	5.0
	椿海地区	75	53.3	44.0	2.7
	野田地区	83	42.2	54.2	3.6
	栄地区	57	54.4	42.1	3.5

年齢別の10・20歳代では、「そう思う」との回答が6割を超えています。

居住地区別の豊和地区、吉田地区、飯高地区、野田地区では、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた「そう思わない」が5割を超え、全体より高くなっています。

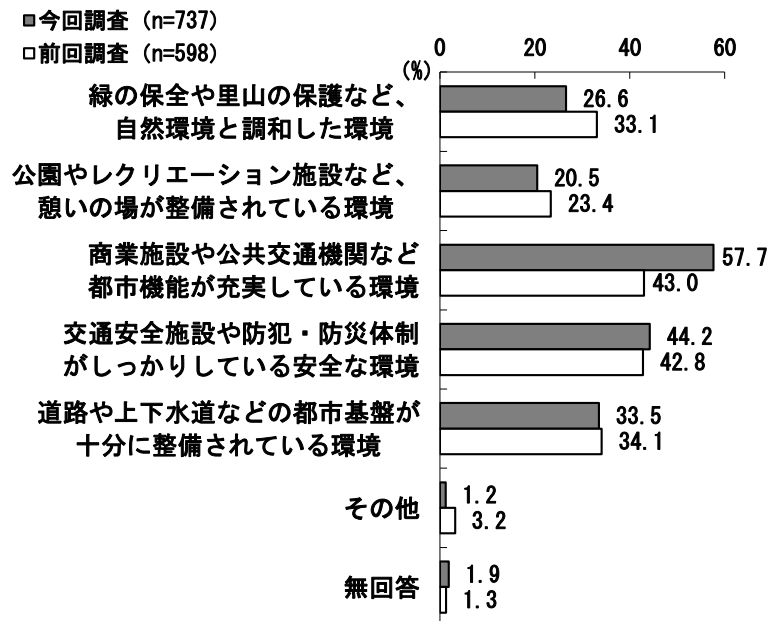
問 18 あなたにとって住みやすい住環境とはどのような環境ですか。(2つまで○)

住みやすい住環境については、「商業施設や公共交通機関など都市機能が充実している環境」との回答が57.7%で最も高く、次いで「交通安全施設や防犯・防災体制がしっかりしている安全な環境」が44.2%、「道路や上下水道などの都市基盤が十分に整備されている環境」が33.5%などとなっています。



◆◆◆ 前回調査との比較

前回調査との比較では、全体の順位に変化はないものの、1番目の「商業施設や公共交通機関など都市機能が充実している環境」への回答が多くなり、14.7ポイント高くなりました。



性別・年齢別・居住地区別に見た傾向

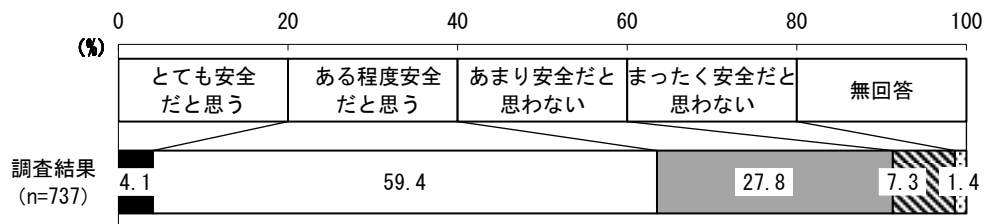
(単位：%)

		回答者数 (n)	緑の保全や里山の保護など、自然環境と調和した環境	公園やレクリエーション施設など、憩いの場が整備されている環境	商業施設や公共交通機関など都市機能が充実している環境	交通安全施設や防犯・防災体制がしっかりしている安全な環境	道路や上下水道などの都市基盤が十分に整備されている環境	その他	無回答
全体		737	26.6	20.5	57.7	44.2	33.5	1.2	1.9
性別	男性	334	27.8	20.7	55.4	42.2	36.2	1.2	1.5
	女性	387	25.8	20.2	59.9	46.0	30.7	1.0	2.3
年齢	10・20歳代	60	21.7	33.3	63.3	46.7	21.7	0.0	1.7
	30歳代	71	25.4	29.6	59.2	39.4	35.2	1.4	1.4
	40歳代	116	15.5	28.4	65.5	38.8	40.5	0.9	1.7
	50歳代	117	23.1	13.7	66.7	39.3	36.8	3.4	3.4
	60歳代	177	31.6	19.8	55.4	48.6	32.8	1.1	0.0
	70歳以上	192	32.8	13.5	47.9	46.9	30.7	0.5	3.1
居住地区	中央地区	119	24.4	28.6	60.5	37.0	34.5	0.8	1.7
	豊栄地区	73	42.5	17.8	53.4	46.6	27.4	2.7	0.0
	須賀地区	71	25.4	28.2	60.6	45.1	29.6	1.4	0.0
	匝瑳地区	59	28.8	22.0	39.0	49.2	42.4	1.7	0.0
	豊和地区	33	33.3	15.2	51.5	51.5	24.2	3.0	0.0
	吉田地区	17	41.2	17.6	70.6	23.5	29.4	0.0	0.0
	飯高地区	14	35.7	21.4	78.6	7.1	28.6	7.1	7.1
	共興地区	49	38.8	22.4	51.0	49.0	18.4	0.0	2.0
	平和地区	80	20.0	21.3	55.0	42.5	40.0	0.0	6.3
	椿海地区	75	25.3	16.0	58.7	38.7	44.0	0.0	2.7
	野田地区	83	10.8	15.7	69.9	54.2	32.5	2.4	1.2
	栄地区	57	21.1	12.3	59.6	50.9	33.3	0.0	3.5

年齢別の10・20歳代、40歳代、50歳代では、「商業施設や公共交通機関など都市機能が充実している環境」が6割台となっており、全体より高くなっています。

居住地区別の吉田地区、飯高地区では「商業施設や公共交通機関など都市機能が充実している環境」が7割台となっており、全体より高くなっています。

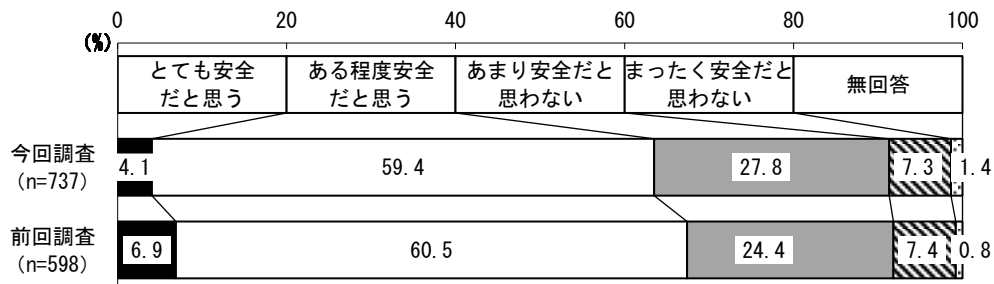
問19 あなたが住んでいる地区は、災害などに対して安全だと思いますか。(1つに○)



災害などに対し、安全と思うかについては、「ある程度安全だと思う」との回答が59.4%で最も高くなっています。

「とても安全だと思う」(4.1%)と「ある程度安全だと思う」を合わせた「安全だと思う」は全体の63.5%です。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、前回調査の「安全だと思う」(67.4%)と比べ、やや下回っています。

〇●〇 性別・年齢別・居住地区別に見た傾向

(単位：%)

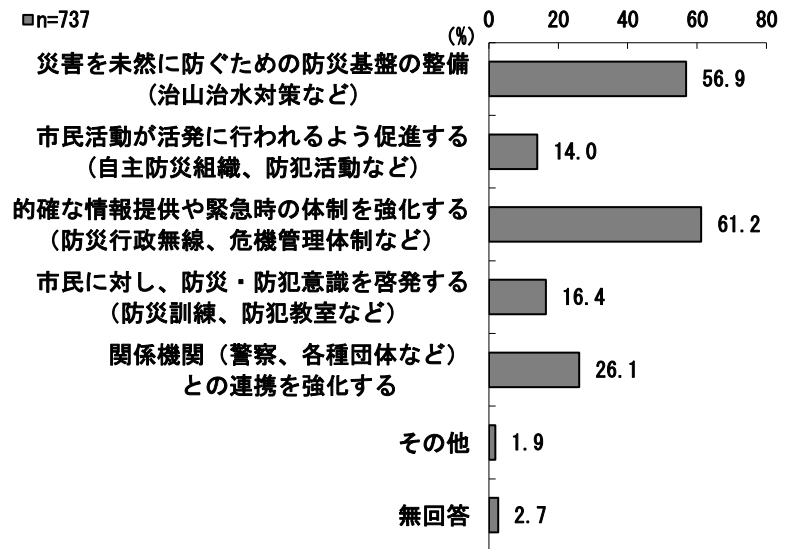
		回答者数 (n)	安全だと思う	安全だと思わない	無回答
全体		737	63.5	35.1	1.4
性別	男性	334	62.6	36.2	1.2
	女性	387	65.1	33.3	1.6
年齢	10・20 歳代	60	58.3	40.0	1.7
	30 歳代	71	64.8	33.8	1.4
	40 歳代	116	58.6	40.5	0.9
	50 歳代	117	65.8	32.5	1.7
	60 歳代	177	66.1	33.9	0.0
	70 歳以上	192	63.5	33.9	2.6
居住地区	中央地区	119	72.3	26.1	1.7
	豊栄地区	73	78.1	21.9	0.0
	須賀地区	71	73.2	26.8	0.0
	匝瑳地区	59	57.6	42.4	0.0
	豊和地区	33	48.5	51.5	0.0
	吉田地区	17	52.9	47.1	0.0
	飯高地区	14	42.9	50.0	7.1
	共興地区	49	38.8	61.2	0.0
	平和地区	80	76.3	20.0	3.8
	椿海地区	75	70.7	26.7	2.7
	野田地区	83	48.2	51.8	0.0
	栄地区	57	54.4	42.1	3.5

年齢別の10・20歳代と40歳代では、「安全だと思わない」が4割台と、全体よりも高くなっています。

居住地区別の共興地区では、「安全だと思わない」が6割を超えており、また、豊和地区、飯高地区、野田地区では5割を超え、全体より高くなっています。

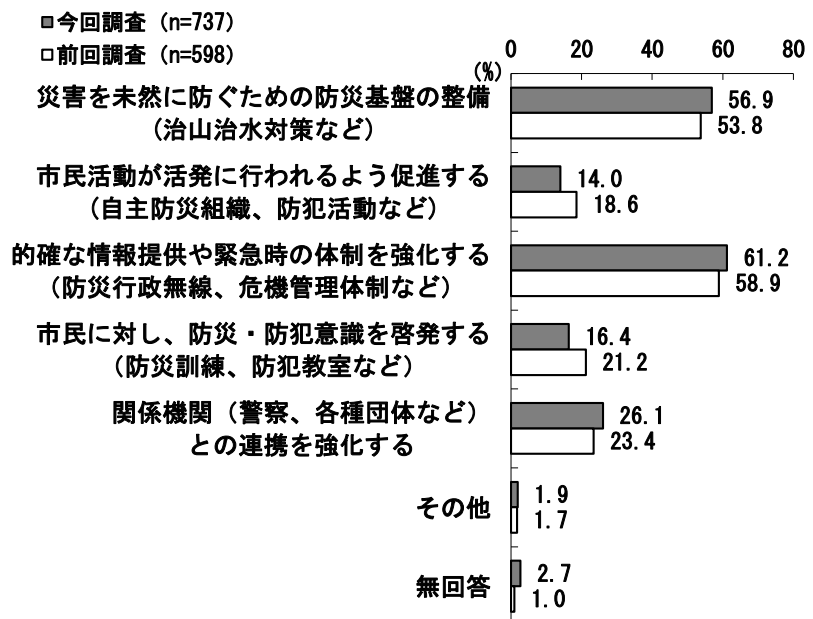
問 20 市の安全なまちづくりへの取組で、何が重要と考えますか。(2つまで○)

安全なまちづくりへの重要な取組については、「的確な情報提供や緊急時の体制を強化する」との回答が 61.2%で最も高く、次いで「災害を未然に防ぐための防災基盤の整備」が 56.9%、「関係機関との連携を強化する」が 26.1%などとなっています。



◆◆◆ 前回調査との比較

前回調査との比較では、「的確な情報提供や緊急時の体制を強化する」と「災害を未然に防ぐための防災基盤の整備」が、いずれも5割以上の回答があり、前回同様に重視されていることがわかります。



性別・年齢別・居住地区別に見た傾向

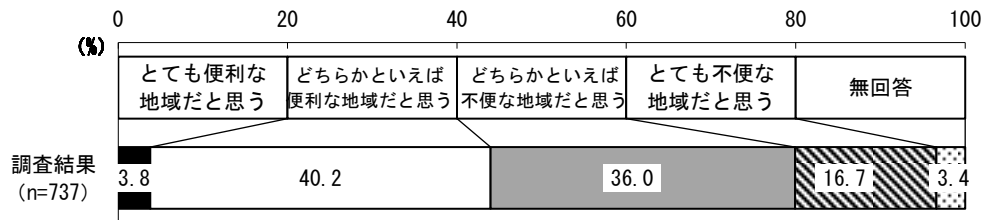
(単位：%)

		回答者数 (n)	災害を未然に防ぐための防災基盤の整備 (治山治水対策など)	市民活動が活発に行われるよう促進する (自主防災組織、防犯活動など)	的確な情報提供や緊急時の体制を強化する (防災行政無線、危機管理体制など)	市民に対し、防災・防犯意識を啓発する (防災訓練、防犯教室など)	関係機関 (警察、各種団体など) との連携を強化する	その他	無回答
全体		737	56.9	14.0	61.2	16.4	26.1	1.9	2.7
性別	男性	334	58.4	17.1	56.3	17.1	24.6	2.7	2.1
	女性	387	56.3	11.1	65.4	15.0	27.9	1.0	3.1
年齢	10・20 歳代	60	60.0	21.7	56.7	23.3	23.3	0.0	1.7
	30 歳代	71	66.2	14.1	45.1	12.7	31.0	5.6	1.4
	40 歳代	116	64.7	7.8	64.7	18.1	23.3	2.6	2.6
	50 歳代	117	62.4	8.5	69.2	15.4	27.4	0.0	2.6
	60 歳代	177	54.2	13.6	66.1	15.3	27.7	1.7	1.1
	70 歳以上	192	46.9	19.3	57.3	16.7	25.0	1.6	4.7
居住地区	中央地区	119	62.2	13.4	68.1	12.6	20.2	0.8	2.5
	豊栄地区	73	54.8	20.5	74.0	8.2	24.7	4.1	0.0
	須賀地区	71	49.3	16.9	63.4	15.5	38.0	0.0	1.4
	匠瑳地区	59	64.4	15.3	57.6	23.7	23.7	1.7	0.0
	豊和地区	33	69.7	12.1	42.4	33.3	9.1	0.0	3.0
	吉田地区	17	76.5	11.8	52.9	17.6	29.4	0.0	0.0
	飯高地区	14	57.1	21.4	57.1	28.6	0.0	0.0	7.1
	共興地区	49	40.8	18.4	53.1	22.4	30.6	0.0	4.1
	平和地区	80	55.0	17.5	50.0	16.3	28.8	1.3	7.5
	椿海地区	75	56.0	9.3	64.0	9.3	25.3	4.0	4.0
	野田地区	83	60.2	7.2	66.3	12.0	33.7	2.4	1.2
	栄地区	57	50.9	10.5	59.6	24.6	26.3	3.5	1.8

年齢別の10・20歳代では、「市民活動が活発に行われるよう促進する」が2割を超え全体より高いのに対し、40歳代と50歳代では、1割未満にとどまっています。

居住地区別の椿海地区と野田地区では、「市民活動が活発に行われるよう促進する」が1割を下回っています。また、豊和地区と吉田地区では、「災害を未然に防ぐための防災基盤の整備」が7割前後と、全体より高くなっています。

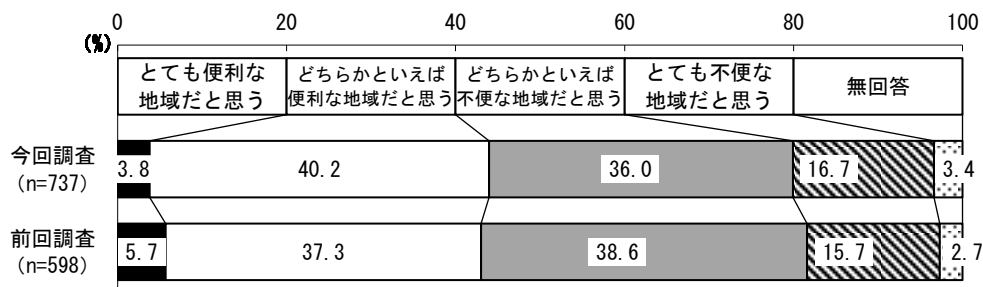
問 21 あなたが住んでいる地区は、市内及び周辺地域への移動が便利な地域だと思いますか。(1つに○)



住んでいる地区が市内及び周辺地域への移動が便利な地域だと思うかについては、「どちらかと言えば便利な地域だと思う」が40.2%で最も高くなっています。

「とても便利な地域だと思う」(3.8%)と「どちらかといえば便利な地域だと思う」を合わせた「便利な地域だと思う」は全体の44.0%、「どちらかと言えば不便な地域だと思う」(36.0%)と「とても不便な地域だと思う」(16.7%)を合わせた「不便な地域だと思う」は全体の52.6%で、「不便な地域だと思う」が上回っています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、前回と異なり、今回は「どちらかと言えば便利な地域だと思う」が「どちらかといえば不便な地域だと思う」をやや上回っています。

〇●〇 性別・年齢別・居住地区別に見た傾向

(単位：%)

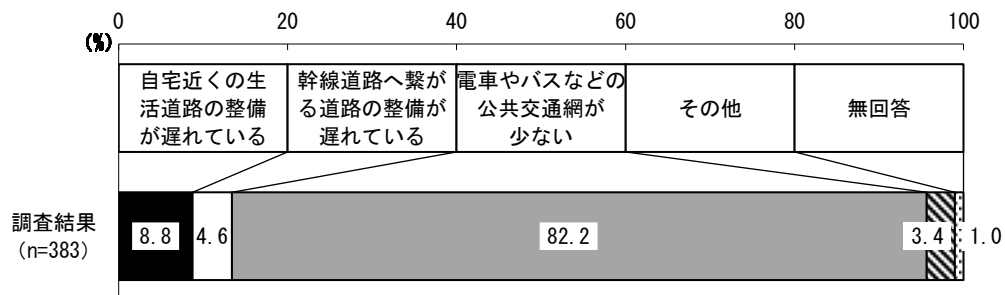
		回答者数 (n)	便利な地域だと思 う	不便な地域だと思 う	無回答
全体		737	44.0	52.6	3.4
性別	男性	334	45.8	51.2	3.0
	女性	387	42.6	53.5	3.9
年齢	10・20 歳代	60	25.0	73.3	1.7
	30 歳代	71	39.4	59.2	1.4
	40 歳代	116	48.3	50.9	0.9
	50 歳代	117	43.6	53.8	2.6
	60 歳代	177	45.2	49.7	5.1
	70 歳以上	192	48.4	46.4	5.2
居住地区	中央地区	119	74.8	23.5	1.7
	豊栄地区	73	63.0	35.6	1.4
	須賀地区	71	59.2	40.8	0.0
	匝瑳地区	59	33.9	62.7	3.4
	豊和地区	33	18.2	72.7	9.1
	吉田地区	17	11.8	76.5	11.8
	飯高地区	14	0.0	92.9	7.1
	共興地区	49	22.4	73.5	4.1
	平和地区	80	50.0	43.8	6.3
	椿海地区	75	45.3	50.7	4.0
	野田地区	83	19.3	79.5	1.2
	栄地区	57	26.3	68.4	5.3

年齢別の10・20歳代では、「不便な地域だと思う」との回答が7割を超え、全体より高くなっています。

居住地区別の中央地区、豊栄地区、須賀地区、平和地区では、「便利な地域だと思う」が「不便な地域だと思う」を上回っています。その他の地区はすべて「不便な地域だと思う」が「便利な地域だと思う」を上回っています。

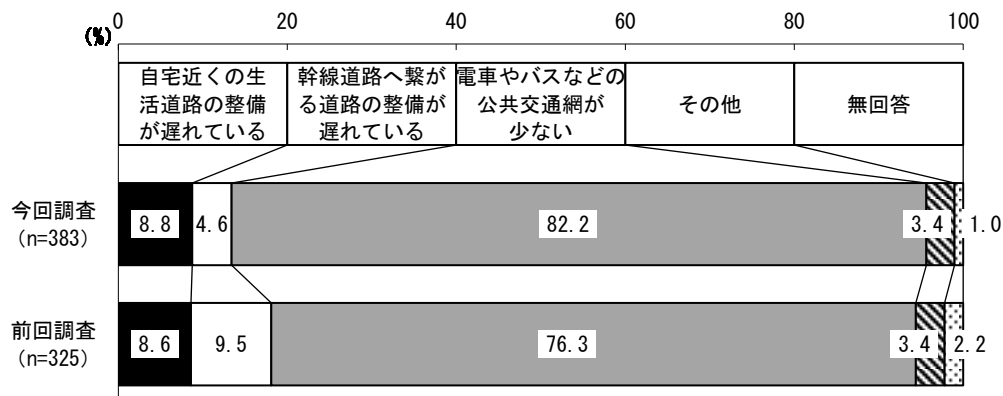
問 21-1 何が最も不便だと感じますか。(1つに〇)

※問 21 で「3. どちらかといえば不便な地域だと思う」又は「4. とても不便な地域だと思う」に回答した方のみ回答。



移動で不便なこととしては、「電車やバスなどの公共交通網が少ない」との回答が82.2%で最も高くなっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、「電車やバスなどの公共交通網が少ない」が引き続き最も高く、さらに前回調査に比べ5.9ポイント高くなっています。

性別・年齢別・居住地区別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数 (n)	自宅近くの生活道路の 整備が遅れている	幹線道路へ繋がる道路 の整備が遅れている	電車やバスなどの公共 交通網が少ない	その他	無回答
全体		388	8.8	4.6	82.2	3.4	1.0
性別	男性	171	13.5	5.3	74.9	5.3	1.2
	女性	207	4.3	3.9	88.9	1.9	1.0
年齢	10・20歳代	44	2.3	9.1	84.1	4.5	0.0
	30歳代	42	14.3	2.4	78.6	4.8	0.0
	40歳代	59	10.2	5.1	83.1	1.7	0.0
	50歳代	63	6.3	3.2	85.7	3.2	1.6
	60歳代	88	6.8	4.5	81.8	4.5	2.3
	70歳以上	89	12.4	3.4	80.9	2.2	1.1
居住地区	中央地区	28	0.0	7.1	92.9	0.0	0.0
	豊栄地区	26	11.5	0.0	76.9	7.7	3.8
	須賀地区	29	13.8	3.4	79.3	3.4	0.0
	匝瑳地区	37	10.8	2.7	78.4	8.1	0.0
	豊和地区	24	4.2	8.3	79.2	0.0	8.3
	吉田地区	13	7.7	0.0	76.9	7.7	7.7
	飯高地区	13	7.7	0.0	92.3	0.0	0.0
	共興地区	36	11.1	11.1	75.0	2.8	0.0
	平和地区	35	8.6	5.7	82.9	2.9	0.0
	椿海地区	38	15.8	10.5	68.4	5.3	0.0
	野田地区	66	4.5	1.5	90.9	3.0	0.0
	栄地区	39	10.3	0.0	89.7	0.0	0.0

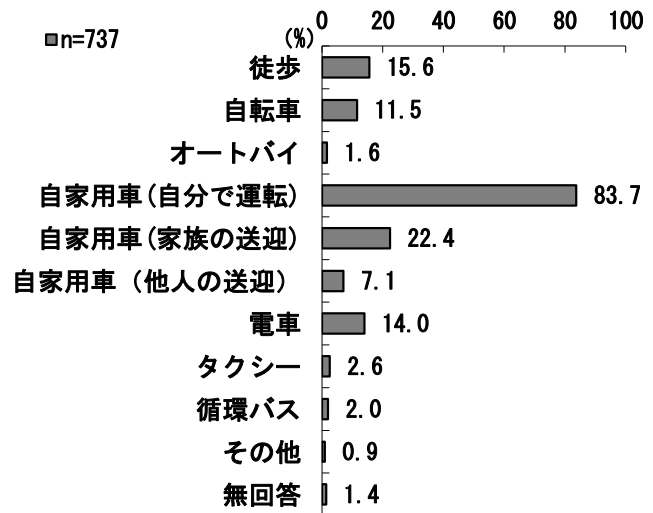
女性は、「電車やバスなどの公共交通網が少ない」が9割近くと非常に高く、全体より高くなっています。

年齢別の30歳代以外のすべての年代で、「電車やバスなどの公共交通網が少ない」が8割以上と非常に高くなっています。

居住地区別の中央地区、飯高地区、野田地区では、「電車やバスなどの公共交通網が少ない」が9割台と非常に高くなっており、栄地区も9割近くになっています。

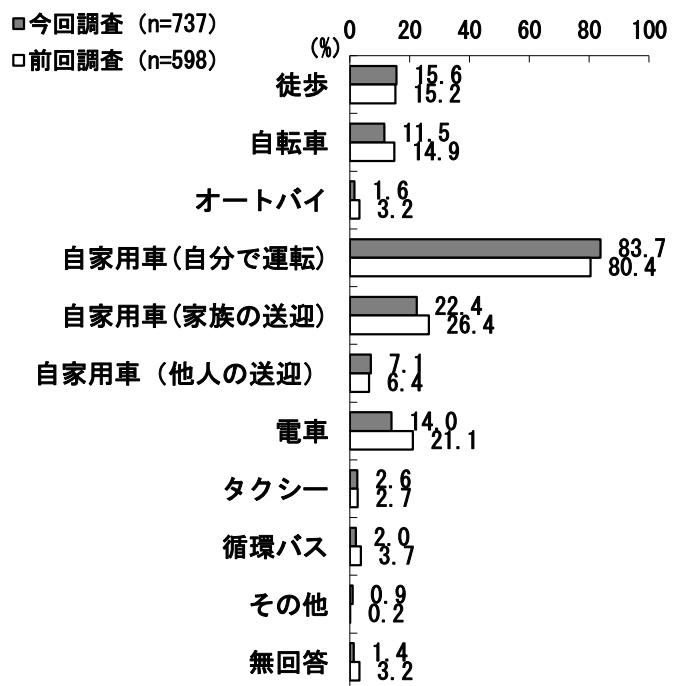
問 22 あなたは、普段、外出する際に主にどのような移動手段をお使いですか。
(3つまで○)

外出時の移動手段としては、「自家用車(自分で運転)」との回答が83.7%で最も高く、次いで「自家用車(家族の送迎)」が22.4%、「徒歩」が15.6%などとなっています。



◆◆◆ 前回調査との比較

前回調査との比較では、「自家用車(自分で運転)」が引き続き最も高く、さらに3.3ポイント高くなっています。



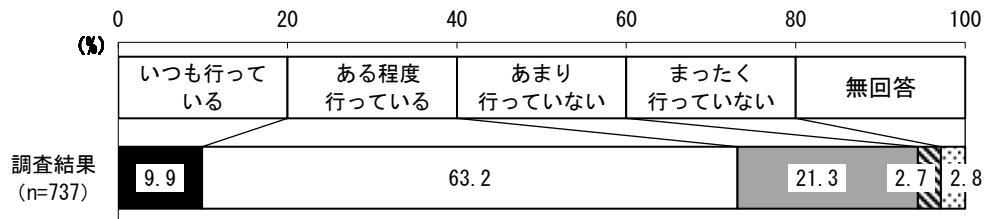
●●● 性別・年齢別に見た傾向

(単位：%)

		(n) 回答者数	徒歩	自転車	オートバイ	自家用車 (自分で運転)	自家用車 (家族の送迎)	自家用車 (他人の送迎)	電車	タクシー	循環バス	その他	無回答
全体		737	15.6	11.5	1.6	83.7	22.4	7.1	14.0	2.6	2.0	0.9	1.4
性別	男性	334	16.8	15.3	3.0	85.3	19.5	6.6	14.7	2.1	1.8	1.2	1.5
	女性	387	14.0	8.3	0.5	82.7	25.1	7.2	13.4	2.8	1.6	0.8	1.3
年齢	10・20歳代	60	10.0	36.7	1.7	51.7	50.0	6.7	38.3	0.0	3.3	0.0	1.7
	30歳代	71	15.5	8.5	7.0	95.8	19.7	7.0	7.0	2.8	0.0	2.8	0.0
	40歳代	116	10.3	10.3	0.9	89.7	17.2	6.9	7.8	0.0	0.0	0.0	1.7
	50歳代	117	12.8	5.1	1.7	89.7	17.9	8.5	16.2	2.6	1.7	0.0	2.6
	60歳代	177	15.8	7.3	1.1	89.3	16.4	5.6	12.4	3.4	1.7	1.1	1.7
	70歳以上	192	21.4	13.5	0.5	77.1	26.6	7.8	12.5	4.2	3.6	1.6	0.5

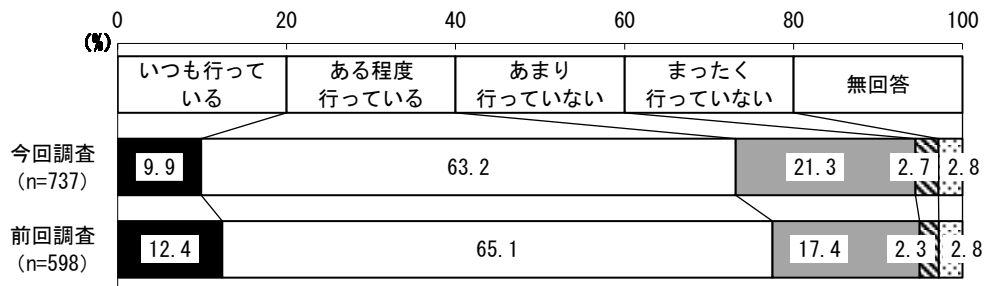
年齢別の30歳代から60歳代では、「自家用車（自分で運転）」が9割前後と非常に高くなっています。70歳以上では、「徒歩」の回答が2割台となっています。

問 23 あなたは、普段の生活で、環境に配慮した行動を行っていますか。(1つに○)



環境に配慮した行動については「ある程度行っている」との回答が、63.2%で最も高くなっています。「いつも行っている」(9.9%)と「ある程度行っている」を合わせた「行っている」は全体の73.1%と高くなっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、前回調査の「行っている」(77.4%)と比べ、やや下回っています。

○○○ 性別・年齢別に見た傾向

(単位：%)

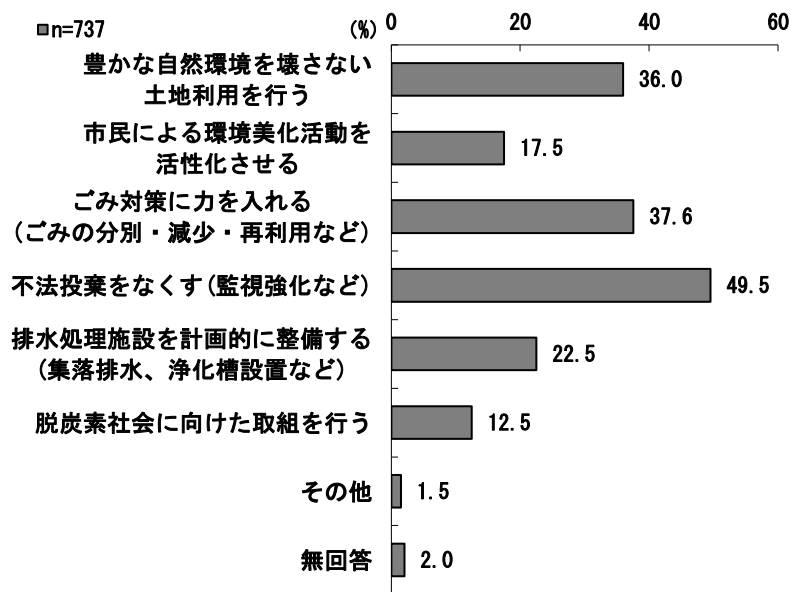
		回答者数 (n)	「行っている」	「行っていない」	無回答
全体		737	73.1	24.0	2.8
性別	男性	334	70.4	26.6	3.0
	女性	387	76.0	21.2	2.8
年齢	10・20歳代	60	65.0	33.3	1.7
	30歳代	71	71.8	26.8	1.4
	40歳代	116	61.2	34.5	4.3
	50歳代	117	72.6	24.8	2.6
	60歳代	177	79.1	18.1	2.8
	70歳以上	192	78.6	18.2	3.1

年齢別の60歳代、70歳以上では、「行っている」が8割に近く、全体より高くなっています。一方、10・20歳代と40歳代では、「あまり行っていない」と「まったく行っていない」を合わせた「行っていない」は3割台で、全体より高くなっています。

問 24 市の自然環境保全への取組で、何が重要と考えますか。(2つまで○)

自然環境保全への重要な取組については、「不法投棄をなくす」との回答が49.5%で最も高く、次いで「ごみ対策に力を入れる」が37.6%、「豊かな自然環境を壊さない土地利用を行う」が36.0%などとなっています。

前回調査との比較については、選択肢の数が異なるため、参考として掲載します。



◆◆◆ 前回調査との比較 (参考)

今回調査 (n=737)		前回調査 (n=598)	
豊かな自然環境を壊さない土地利用を行う	36.0	豊かな自然環境を壊さない土地利用を行う	41.0
市民による環境美化活動を活性化させる	17.5	市民による環境美化活動を活性化させる	19.6
ごみ対策に力を入れる (ごみの分別・減少・再利用など)	37.6	ごみ対策に力を入れる (ごみの分別・減少・再利用など)	38.8
不法投棄をなくす (監視強化など)	49.5	不法投棄をなくす (監視強化など)	46.3
排水処理施設を計画的に整備する (集落排水、浄化槽設置など)	22.5	排水処理施設を計画的に整備する (集落排水、浄化槽設置など)	26.9
脱炭素社会に向けた取組を行う	12.5		
その他	1.5	その他	2.2
無回答	2.0	無回答	1.3

〇●〇 年齢別・居住地区別に見た傾向

(単位：%)

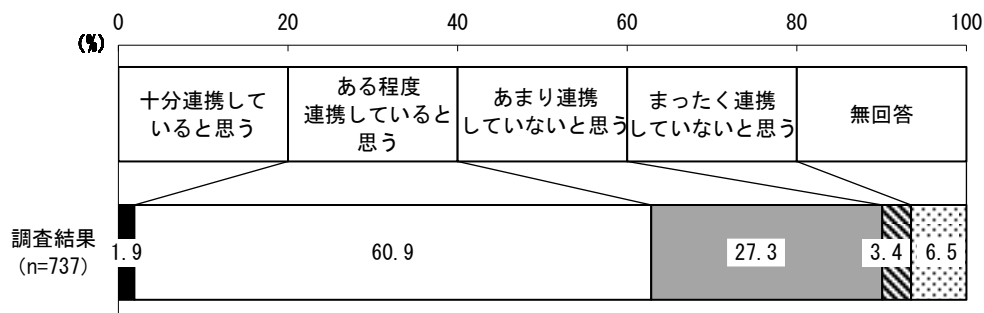
		回答者数 (n)	豊かな自然環境を壊さない土地利用を行う	市民による環境美化活動を活性化させる	ごみ対策に力を入れる(ごみの分別・減少・再利用など)	不法投棄をなくす(監視強化など)	排水処理施設を計画的に整備する(集落排水、浄化槽設置など)	脱炭素社会に向けた取組を行う	その他	無回答
全体		737	36.0	17.5	37.6	49.5	22.5	12.5	1.5	2.0
性別	男性	334	32.9	21.0	31.1	52.1	25.4	12.6	1.8	1.8
	女性	387	39.5	14.5	42.4	47.3	19.6	12.1	1.3	2.3
年齢	10・20 歳代	60	41.7	16.7	43.3	50.0	15.0	11.7	1.7	1.7
	30 歳代	71	38.0	19.7	38.0	50.7	22.5	9.9	5.6	0.0
	40 歳代	116	30.2	15.5	39.7	52.6	28.4	8.6	0.9	1.7
	50 歳代	117	35.0	18.8	37.6	46.2	17.1	18.8	0.9	3.4
	60 歳代	177	39.0	16.9	36.2	52.5	23.7	10.7	1.1	2.3
	70 歳以上	192	34.9	18.2	36.5	46.4	23.4	13.0	1.0	2.1
居住地区	中央地区	119	41.2	20.2	46.2	39.5	18.5	13.4	2.5	0.0
	豊栄地区	73	38.4	17.8	39.7	46.6	24.7	16.4	1.4	1.4
	須賀地区	71	42.3	18.3	32.4	49.3	18.3	15.5	0.0	2.8
	匠磋地区	59	33.9	20.3	32.2	47.5	30.5	15.3	1.7	0.0
	豊和地区	33	45.5	15.2	39.4	48.5	12.1	15.2	0.0	3.0
	吉田地区	17	52.9	23.5	23.5	41.2	29.4	5.9	0.0	0.0
	飯高地区	14	35.7	21.4	28.6	28.6	42.9	14.3	0.0	7.1
	共興地区	49	30.6	30.6	28.6	53.1	14.3	12.2	6.1	4.1
	平和地区	80	27.5	12.5	36.3	61.3	28.8	10.0	1.3	3.8
	椿海地区	75	36.0	10.7	37.3	44.0	24.0	13.3	1.3	4.0
	野田地区	83	26.5	12.0	42.2	62.7	20.5	8.4	0.0	1.2
	栄地区	57	35.1	19.3	36.8	56.1	22.8	7.0	1.8	1.8

年齢別の 50 歳代と 70 歳代以外では、「不法投棄をなくす」が 5 割台となっており、全体より高くなっています。

居住地区別の中央地区、須賀地区、豊和地区、吉田地区では、「豊かな自然環境を壊さない土地利用を行う」が 4～5 割台となっており、全体より高くなっています。また、平和地区と野田地区では「不法投棄をなくす」が 6 割を超えて、全体より高くなっています。

5 教育・交流・移住・定住について

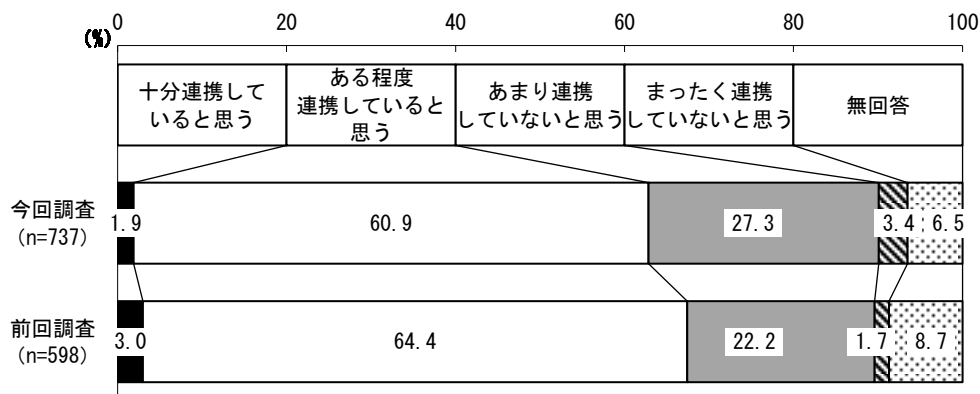
問 25 あなたは、子どもの教育について、学校と家庭、地域との連携がとれていると思いますか。(1つに○)



子どもの教育における学校と家庭、地域との連携については、「ある程度連携している」との回答が60.9%で最も高くなっています。

「十分連携していると思う」(1.9%)と「ある程度連携していると思う」を合わせた「連携していると思う」は62.8%となっており、「あまり連携していないと思う」(27.3%)と「まったく連携していないと思う」(3.4%)を合わせた「連携していないと思う」は30.7%となっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、前回調査の「連携していると思う」が67.4%だったのに比べ、やや低くなっています。

〇〇〇 性別・年齢別・居住地区別に見た傾向

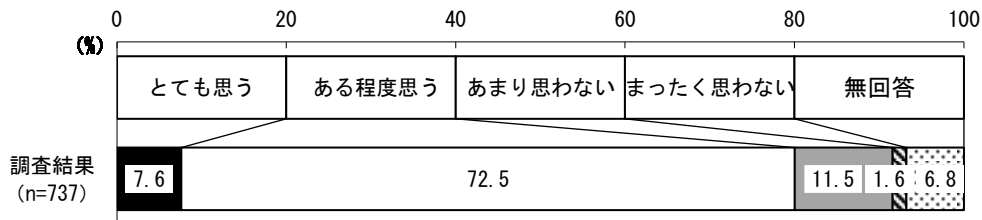
(単位：%)

		回答者数 (n)	「連携していると思う」	「連携していないと思う」	無回答
全体		737	62.8	30.7	6.5
性別	男性	334	63.5	30.5	6.0
	女性	387	62.3	30.5	7.2
年齢	10・20 歳代	60	66.7	31.7	1.7
	30 歳代	71	53.5	40.8	5.6
	40 歳代	116	61.2	36.2	2.6
	50 歳代	117	58.1	35.9	6.0
	60 歳代	177	63.3	30.5	6.2
	70 歳以上	192	68.8	19.8	11.5
居住地区	中央地区	119	69.7	25.2	5.0
	豊栄地区	73	65.8	28.8	5.5
	須賀地区	71	60.6	33.8	5.6
	匝瑳地区	59	57.6	32.2	10.2
	豊和地区	33	66.7	27.3	6.1
	吉田地区	17	70.6	23.5	5.9
	飯高地区	14	64.3	21.4	14.3
	共興地区	49	65.3	26.5	8.2
	平和地区	80	56.3	30.0	13.8
	椿海地区	75	56.0	41.3	2.7
	野田地区	83	60.2	36.1	3.6
	栄地区	57	70.2	24.6	5.3

年齢別の30歳代では、「連携していないと思う」が4割台となっており、全体より高くなっています。

居住地区別の中央地区、吉田地区、栄地区では、「連携していると思う」が7割前後となっています。

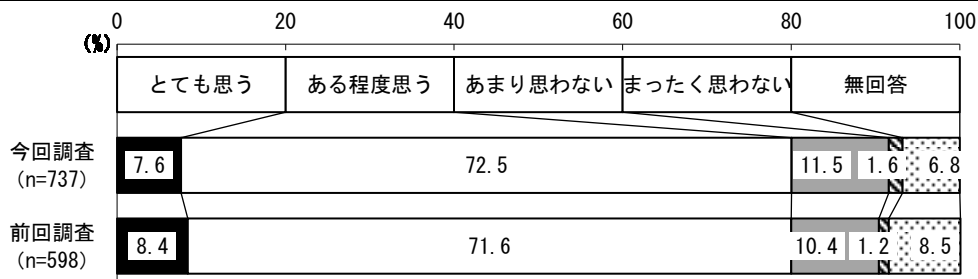
問 26 学校が子どもたちにとって、安心して学ぶことができる場となっていると思いますか。(1つに○)



学校が子どもたちにとって、安心して学ぶことができる場となっているかについては、「ある程度思う」との回答が72.5%で最も高くなっています。

「とても思う」(7.6%)と「ある程度思う」を合わせた「そう思う」は80.1%と非常に高くなっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、前回調査の「そう思う」(80.0%)と比べ、やや上回っています。

○●○ 性別・年齢別に見た傾向

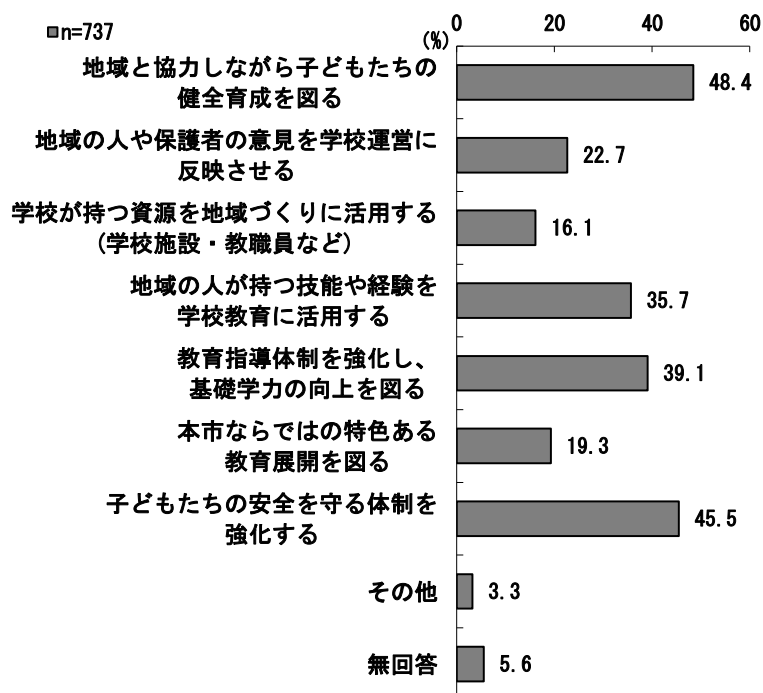
(単位：%)

		回答者数 (n)	そう思う	そう思わない	無回答
全体		737	80.1	13.2	6.8
性別	男性	334	78.4	15.6	6.0
	女性	387	82.4	9.8	7.8
年齢	10・20 歳代	60	80.0	16.7	3.3
	30 歳代	71	77.5	18.3	4.2
	40 歳代	116	79.3	18.1	2.6
	50 歳代	117	77.8	18.8	3.4
	60 歳代	177	81.9	11.3	6.8
	70 歳以上	192	81.3	5.2	13.5

女性は、「そう思う」が8割を超えて、男性より高くなっています。
年齢別の70歳以上では、「そう思わない」が1割を下回っています。

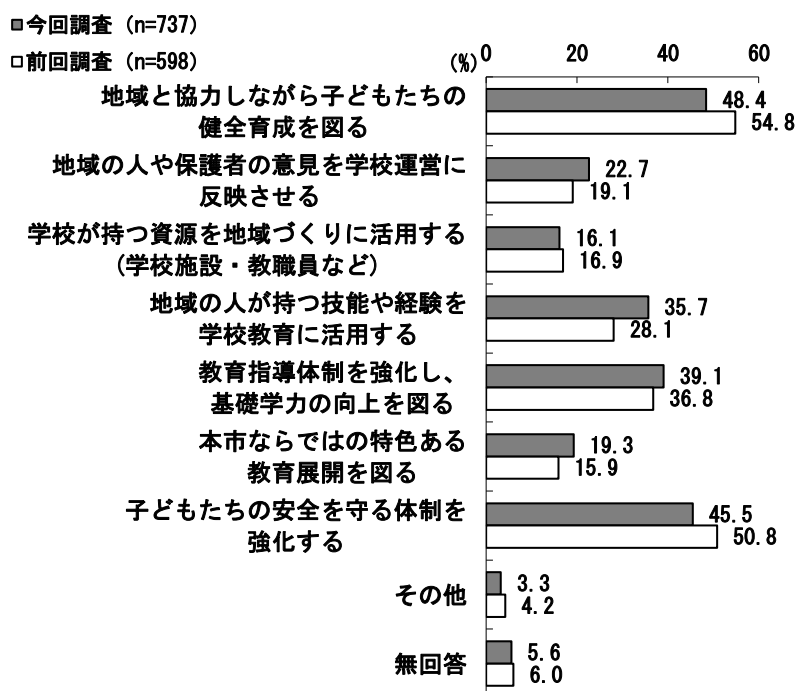
問 27 小・中学校運営において、何が重要な取組と考えますか。(3つまで○)

小・中学校運営における重要な取組については、「地域と協力しながら子どもたちの健全育成を図る」との回答が48.4%で最も高く、次いで「子どもたちの安全を守る体制を強化する」が45.5%、「教育指導体制を強化し、基礎学力の向上を図る」が39.1%などとなっています。



◆◆◆ 前回調査との比較

前回調査との比較では、「地域の人々が持つ技能や経験を学校教育に活用する」が7.6ポイント高くなりました。



性別・年齢別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数 (n)	地域と協力しながら子どもたちの健全育成を図る	地域の人や保護者の意見を学校運営に反映させる	学校が持つ資源を地域づくりに活用する(学校施設・教職員など)	地域の人が持つ技能や経験を学校教育に活用する	教育指導体制を強化し、基礎学力の向上を図る	本市ならではの特色ある教育展開を図る	子どもたちの安全を守る体制を強化する	その他	無回答
全体		737	48.4	22.7	16.1	35.7	39.1	19.3	45.5	3.3	5.6
性別	男性	334	48.5	24.6	18.0	33.2	37.1	21.3	44.3	3.6	4.8
	女性	387	49.1	20.9	15.0	37.0	40.6	17.1	46.3	2.8	6.5
年齢	10・20歳代	60	28.3	33.3	26.7	36.7	53.3	18.3	43.3	5.0	1.7
	30歳代	71	40.8	22.5	11.3	26.8	46.5	16.9	69.0	7.0	4.2
	40歳代	116	35.3	17.2	23.3	43.1	39.7	19.0	48.3	3.4	1.7
	50歳代	117	49.6	21.4	15.4	36.8	43.6	21.4	46.2	2.6	4.3
	60歳代	177	56.5	23.2	16.9	31.1	42.9	19.8	43.5	1.7	5.6
	70歳以上	192	57.8	22.9	10.4	38.0	25.0	18.8	37.0	2.6	10.4

年齢別の30歳代では、「子どもたちの安全を守る体制を強化する」が7割弱となっており、全体より高くなっています。また、60歳代以上では、「地域と協力しながら子どもたちの健全育成を図る」が5割を超え、全体より高くなっています。

問 28 あなたは、次の余暇活動に参加していますか。また、今後参加したい活動は何ですか。(1～4の(1)、(2)について、それぞれ1つずつに○)

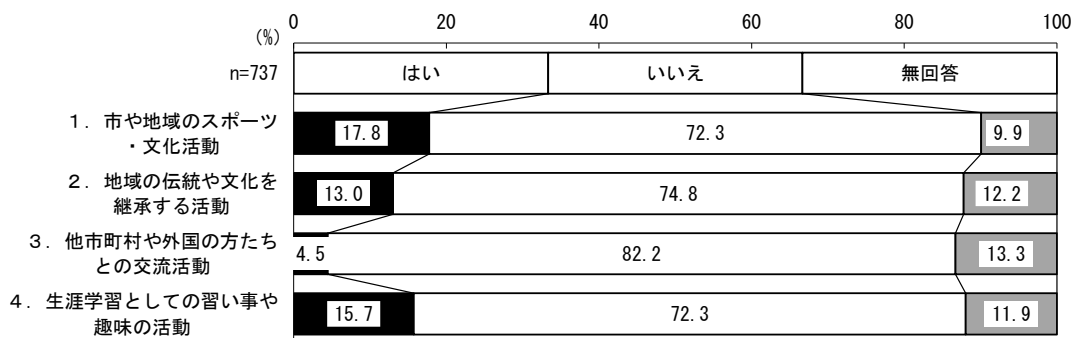
<活動内容>

1. 市や地域のスポーツ・文化活動 2. 地域の伝統や文化を継承する活動
3. 他市町村や外国の方たちとの交流活動 3. 生涯学習としての習い事や趣味の活動

<参加の状況と意向>

- (1) ここ数年の間に参加していますか (2) 今後参加したいですか

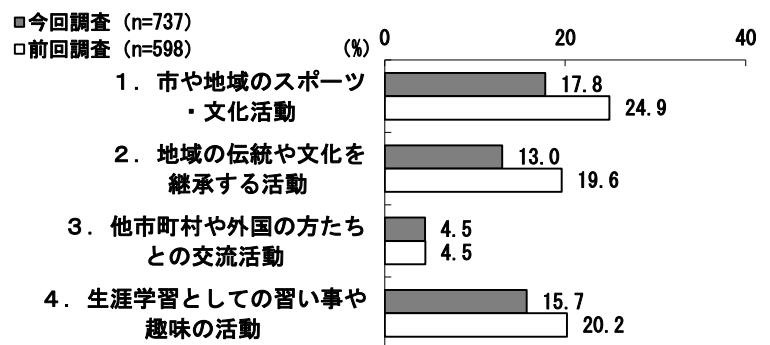
(1) 参加の状況



参加しているかについては、「はい」との回答が、市や地域のスポーツ・文化活動が 17.8%、地域の伝統や文化を継承する活動が 13.0%、他市町村や外国の方たちとの交流活動が 4.5%、生涯学習としての習い事や趣味の活動が 15.7%となっています。

◆◆◆ 前回調査との比較

「はい」と回答した人の前回調査との比較では、市や地域のスポーツ・文化活動で 7.1 ポイント、地域の伝統や文化を継承する活動で 6.6 ポイント、生涯学習としての習い事や趣味の活動で 4.5 ポイント、それぞれ低くなっています。



〇●〇 性別・年齢別に見た傾向

(単位：%)

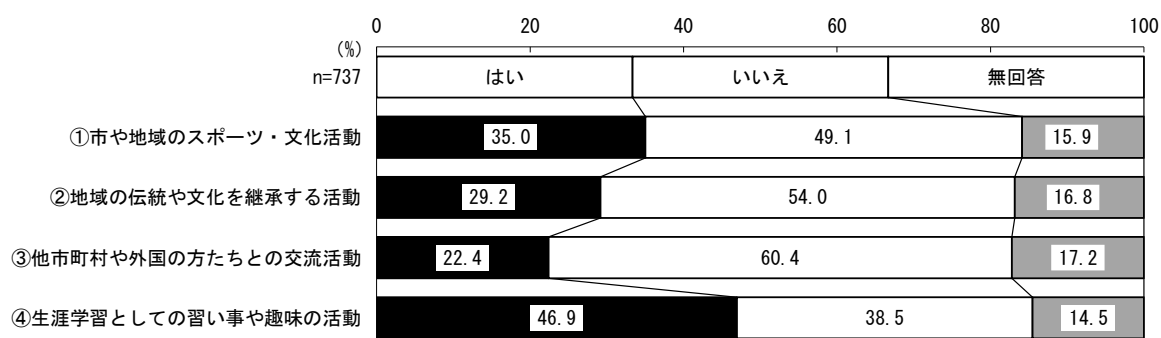
		回答者数 (n)	1 市や地域のスポーツ・文化活動	2 地域の伝統や文化を継承する活動	3 他市町村や外国の方たちとの交流活動	4 生涯学習としての習い事や趣味の活動
全体		737	17.8	13.0	4.5	15.7
性別	男性	334	17.1	17.7	5.7	13.2
	女性	387	19.1	9.0	2.6	18.3
年齢	10・20 歳代	60	15.0	15.0	8.3	16.7
	30 歳代	71	16.9	7.0	2.8	18.3
	40 歳代	116	18.1	13.8	6.0	13.8
	50 歳代	117	15.4	14.5	4.3	9.4
	60 歳代	177	19.8	13.6	4.5	14.1
	70 歳以上	192	18.8	13.0	3.1	20.8

上記の表は、1 から 4 の項目でそれぞれ「はい」と回答した人について性別・年齢別に見たものです。

男性は、「地域の伝統や文化を継承する活動」が女性を上回っています。

年齢別の 70 歳以上では、「生涯学習としての習い事や趣味の活動」が 2 割台と全体より高くなっています。

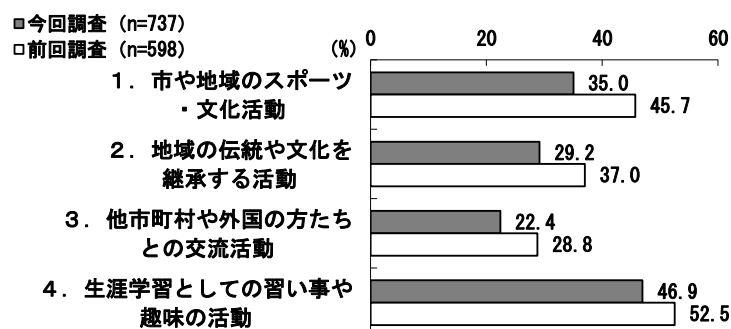
(2) 参加意向



今後参加したいかについては、「はい」との回答が、市や地域のスポーツ・文化活動が 35.0%、地域の伝統や文化を継承する活動が 29.2%、他市町村や外国の方たちとの交流活動が 22.4%、生涯学習としての習い事や趣味の活動が 46.9%となっています。

◆◆◆ 前回調査との比較

「はい」と回答した人の前回調査との比較では、市や地域のスポーツ・文化活動で 10.7 ポイント、地域の伝統や文化を継承する活動で 7.8 ポイント、他市町村や外国の方たちとの交流活動で 6.4 ポイント、生涯学習としての習い事や趣味の活動で 5.6 ポイント、それぞれ低くなっています。



〇●〇 性別・年齢別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数 (n)	1 市や地域のスポーツ・文化活動	2 地域の伝統や文化を継承する活動	3 他市町村や外国の方たちとの交流活動	4 生涯学習としての習い事や趣味の活動
全体		737	35.0	29.2	22.4	46.9
性別	男性	334	33.8	32.0	23.1	41.9
	女性	387	36.4	26.9	21.4	51.7
年齢	10・20 歳代	60	33.3	30.0	23.3	38.3
	30 歳代	71	38.0	31.0	28.2	46.5
	40 歳代	116	35.3	31.0	24.1	45.7
	50 歳代	117	37.6	32.5	31.6	52.1
	60 歳代	177	38.4	31.6	23.2	52.0
	70 歳以上	192	29.2	22.9	12.5	42.2

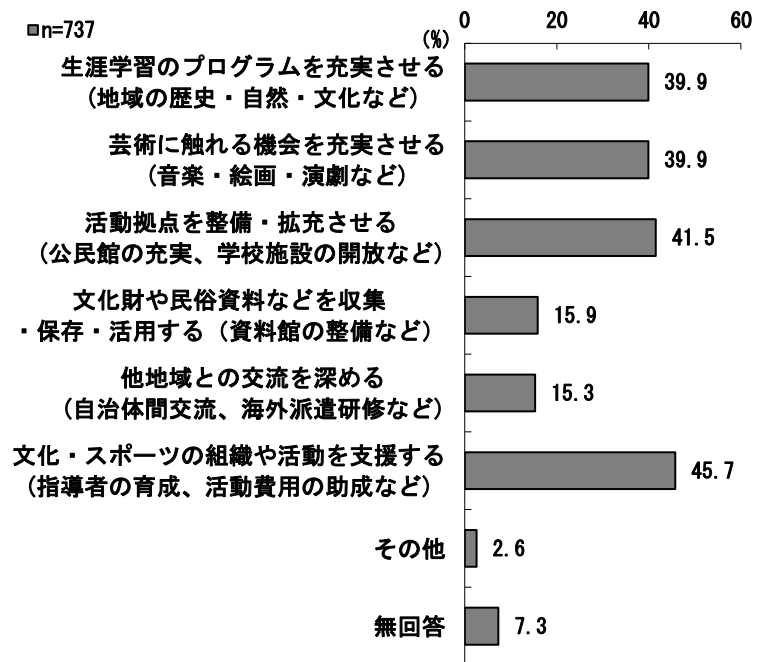
上記の表は、1 から 4 の項目でそれぞれ「はい」と回答した人について性別・年齢別に見たものです。

女性は、「生涯学習としての習い事や趣味の活動」が 5 割を超え、男性より高くなっています。

年齢別の 50 歳代と 60 歳代では、「生涯学習としての習い事や趣味の活動」が 5 割台と全体より高くなっています。

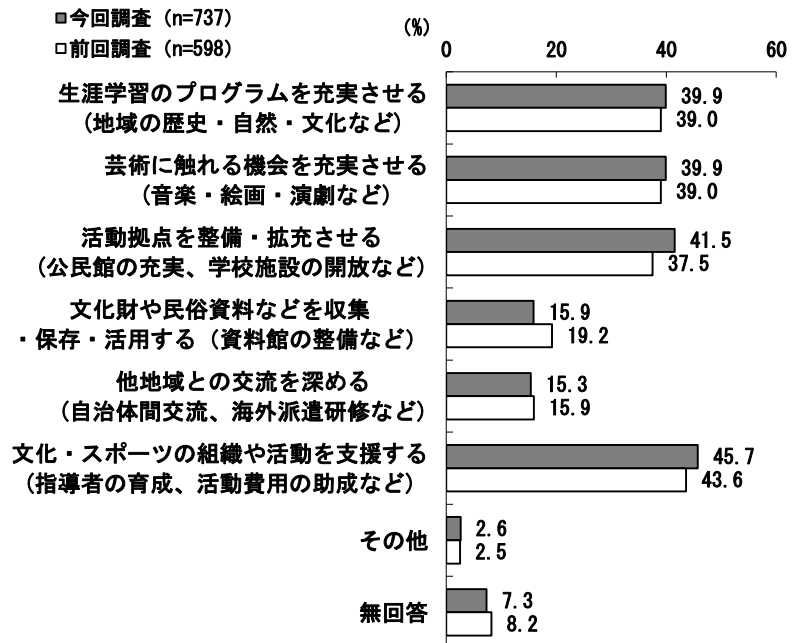
問 29 市の生涯学習・スポーツ、文化活動への取組で、何が重要と考えますか。
(3つまで○)

生涯学習・スポーツ、文化活動への重要な取組については、「文化・スポーツの組織や活動を支援する」との回答が45.7%で最も高くなっています。次いで「活動拠点を整備・拡充させるが」41.5%、「生涯学習のプログラムを充実させる」と「芸術に触れる機会を充実させる」が同率で39.9%となっています。



◆◆◆ 前回調査との比較

前回調査との比較では、全体としてわずかに増減はあるものの、「生涯学習のプログラムを充実させる」、「芸術に触れる機会を充実させる」、「活動拠点を整備・拡充させる」、「文化・スポーツ組織の活動を支援する」の4項目がそれぞれ4割を占めた点は、前回と類似しています。



性別・年齢別に見た傾向

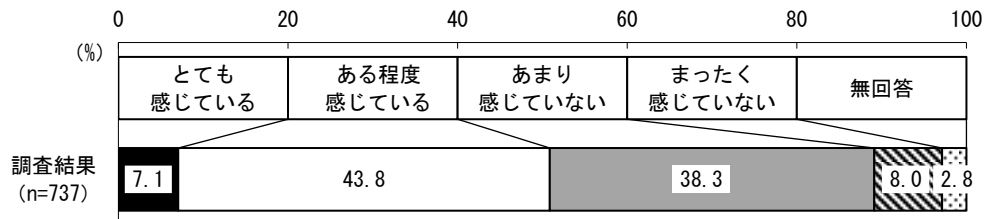
(単位：%)

		回答者数 (n)	生涯学習のプログラムを充実させる (地域の歴史・自然・文化など)	芸術に触れる機会を充実させる (音楽・絵画・演劇など)	活動拠点を整備・拡充させる (公民館の充実、学校施設の開放など)	活用する(資料館の整備など)	文化財や民俗資料などを収集・保存・ 活用する(資料館の整備など)	他地域との交流を深める (自治体間交流、海外派遣研修など)	文化・スポーツの組織や活動を支援する (指導者の育成、活動費用の助成など)	その他	無回答
全体		737	39.9	39.9	41.5	15.9	15.3	45.7	2.6	7.3	
性別	男性	334	41.9	31.1	41.6	17.4	18.0	52.1	2.7	6.0	
	女性	387	38.5	47.8	41.3	14.5	12.7	41.1	2.3	8.8	
年齢	10・20 歳代	60	31.7	45.0	41.7	21.7	13.3	58.3	0.0	1.7	
	30 歳代	71	38.0	39.4	50.7	18.3	23.9	40.8	5.6	4.2	
	40 歳代	116	37.1	42.2	44.0	9.5	15.5	59.5	5.2	1.7	
	50 歳代	117	40.2	46.2	36.8	17.1	19.7	45.3	0.0	6.0	
	60 歳代	177	44.6	44.1	46.9	9.0	13.0	39.0	1.7	9.6	
	70 歳以上	192	41.1	30.2	34.9	22.9	11.5	42.2	2.6	12.5	

女性では、「芸術に触れる機会を充実させる」が4割台、男性では、「文化・スポーツの組織や活動を支援する」が5割を超え、それぞれ全体よりも高くなっています。

年齢別の30歳代では、「活動拠点を整備・拡充させる」が5割を超え、10・20歳代と40歳代では、「文化・スポーツの組織や活動を支援する」が6割近くとなり、それぞれ全体より高くなっています。30歳代では、「他地域との交流を深める」が2割台と全体より高くなっています。

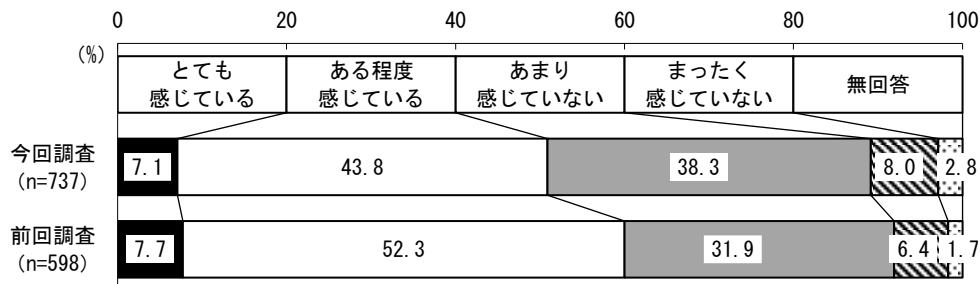
問 30 あなたは、地域の伝統や文化に愛着を感じていますか。(1つに○)



地域の伝統や文化に愛着を感じているかについては、「ある程度感じている」との回答が43.8%で最も高くなっています。

「とても感じている」(7.1%)と「ある程度感じている」を合わせた「感じている」は50.9%、「あまり感じていない」(38.3%)と「まったく感じていない」(8.0%)を合わせた「感じていない」は46.3%となっており、「感じている」との回答が高くなっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、前回調査の「感じている」(60.0%)と比べ、下回っています。

○○○ 性別・年齢別に見た傾向

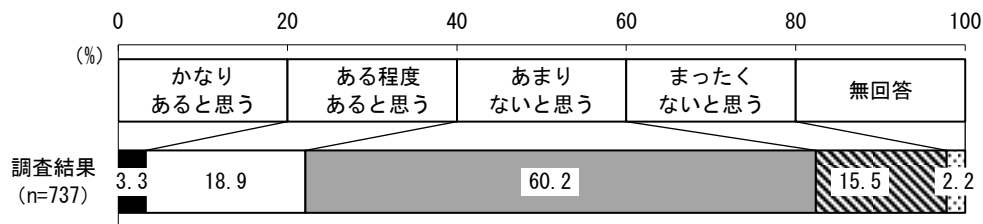
(単位：%)

		回答者数 (n)	「感じている」	「感じていない」	無回答
全体		737	50.9	46.3	2.8
性別	男性	334	53.0	44.3	2.7
	女性	387	49.9	47.0	3.1
年齢	10・20 歳代	60	45.0	53.3	1.7
	30 歳代	71	43.7	54.9	1.4
	40 歳代	116	38.8	57.8	3.4
	50 歳代	117	53.8	44.4	1.7
	60 歳代	177	51.4	45.2	3.4
	70 歳以上	192	60.9	35.4	3.6

年齢別の70歳以上では、「感じている」が6割以上となっており、全体よりも高くなっています。

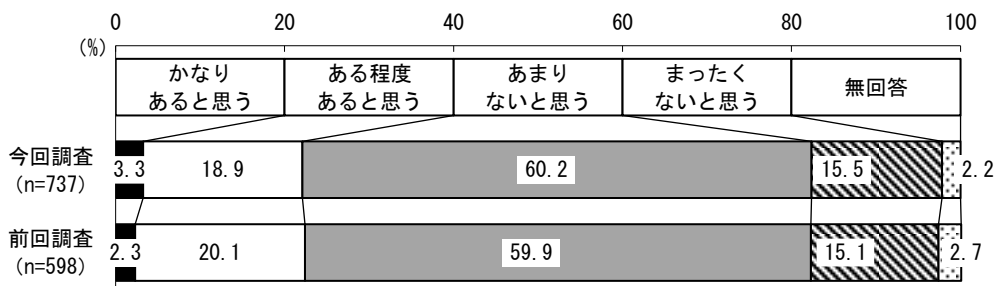
一方、40歳代の「感じている」は4割を下回るなど、40歳代以下では全体よりも少ない傾向が見られ、4割前後にとどまっています。

問 31 あなたの身近なところで、虐待や暴力、差別など人権を侵害する行為があると思いますか。(1つに○)



身近なところでの人権を侵害する行為については、「かなりあると思う」との回答が 3.3%、「ある程度あると思う」との回答が 18.9%などとなっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、全体的に類似していますが、「かなりあると思う」が 1.0ポイント高くなっています。

○●○ 性別・年齢別に見た傾向

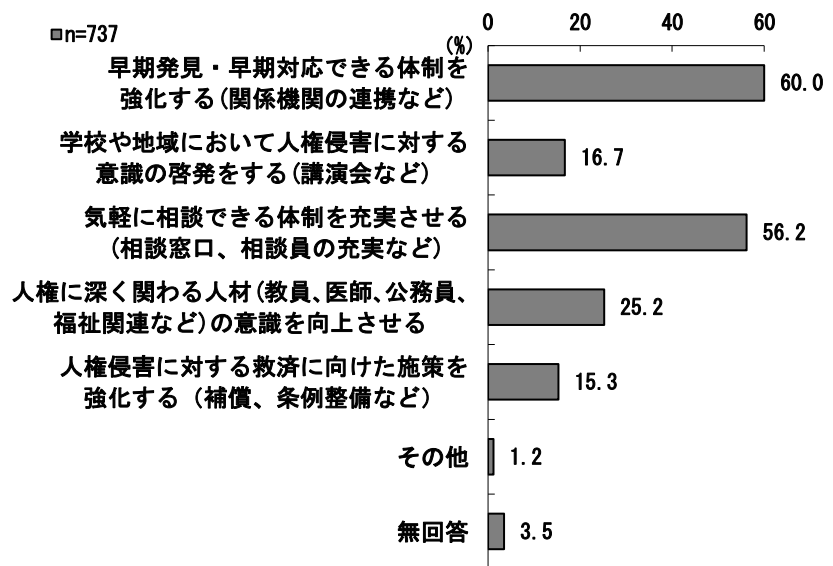
(単位：%)

		回答者数 (n)	「あると思う」	「ないと思う」	無回答
全体		737	22.1	75.7	2.2
性別	男性	334	23.4	75.7	0.9
	女性	387	20.7	76.0	3.4
年齢	10・20 歳代	60	28.3	70.0	1.7
	30 歳代	71	26.8	73.2	0.0
	40 歳代	116	32.8	63.8	3.4
	50 歳代	117	25.6	72.6	1.7
	60 歳代	177	18.6	80.2	1.1
	70 歳以上	192	13.5	82.8	3.6

年齢別の 40 歳代では、「あると思う」が 3 割を超えて、全体より高くなっています。

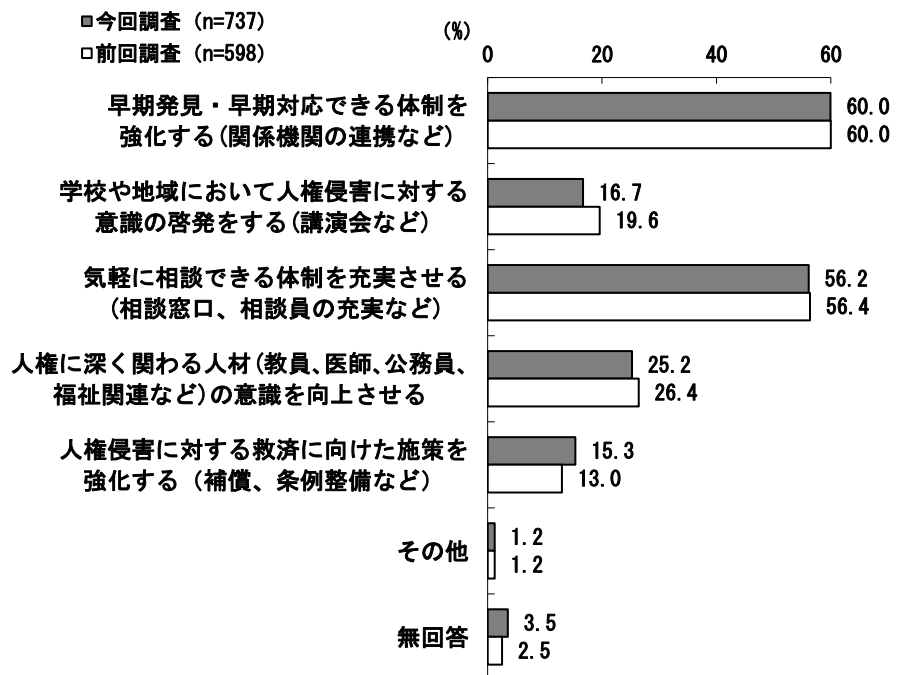
問 32 市の人権問題への取組で、何が重要と考えますか。(2つまで○)

人権問題への重要な取組については、「早期発見・早期対応できる体制を強化する」が60.0%で最も高く、次いで「気軽に相談できる体制を充実させる」が56.2%、「人権に深く関わる人材の意識を向上させる」が25.2%などとなっています。



◆◆◆ 前回調査との比較

前回調査との比較では、全体的に類似していますが、「学校や地域において人権侵害に対する意識の啓発をする」が2.9ポイント低くなっています。



〇〇〇 性別・年齢別に見た傾向

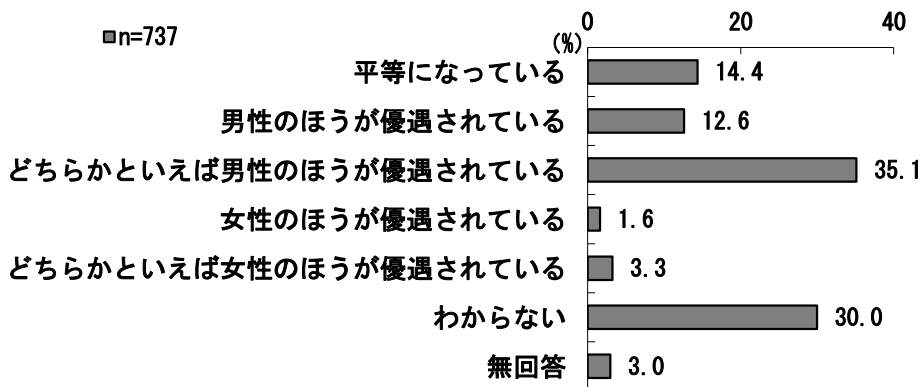
(単位：%)

		回答者数 (n)	早期発見・早期対応できる体制を強化する (関係機関の連携など)	学校や地域において人権侵害に対する意識の啓発をする (講演会など)	気軽に相談できる体制を充実させる (相談窓口、相談員の充実など)	意識を向上させる (医師、公務員、福祉関連など)	人権に深く関わる人材 (教員、例整備など)	人権侵害に対する救済に向けた施策を強化する (補償、条	その他	無回答
	全体	737	60.0	16.7	56.2	25.2	15.3	1.2	3.5	
性別	男性	334	59.6	15.6	54.5	26.0	18.6	0.9	2.1	
	女性	387	61.0	17.8	58.7	23.3	11.9	1.3	4.9	
年齢	10・20 歳代	60	51.7	18.3	48.3	43.3	20.0	0.0	3.3	
	30 歳代	71	60.6	22.5	53.5	25.4	14.1	4.2	1.4	
	40 歳代	116	59.5	16.4	51.7	26.7	19.0	3.4	2.6	
	50 歳代	117	64.1	23.1	54.7	19.7	13.7	0.9	3.4	
	60 歳代	177	64.4	16.9	64.4	23.2	11.9	0.0	1.1	
	70 歳以上	192	56.8	10.4	56.3	24.0	16.1	0.0	7.3	

年齢別の30歳代、50歳代、60歳代では、「早期発見・早期対応できる体制を強化する」が6割台と全体より高くなっています。

また、10・20歳代では、「人権に深く関わる人材の意識を向上させる」が4割を超えて、全体より高くなっています。

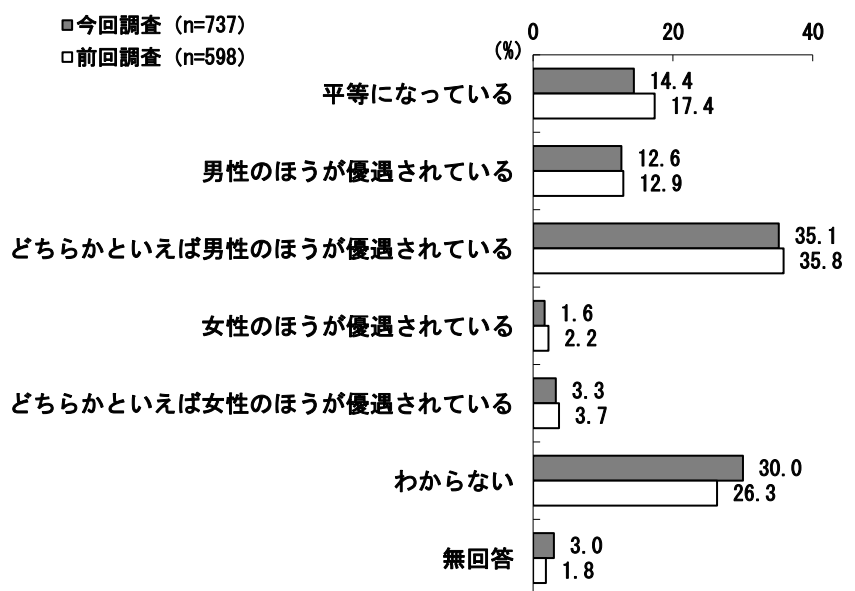
問 33 男女共同参画に関する意識について、普段の生活や社会全体の中でどのように思いますか。(1つに○)



男女共同参画に関する意識については、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」との回答が35.1%で最も高くなっています。「男性の方が優遇されている」(12.6%)と「どちらかといえば男性のほうに優遇されている」を合わせた「男性の方が優遇」は全体の47.8%となっており、「女性の方が優遇されている」(1.6%)と「どちらかといえば女性のほうが優遇されている」(3.3%)を合わせた「女性の方が優遇」は4.9%と、5割近くが男性の方が優遇されていると感じています。「平等になっている」との回答は全体の14.4%です。

◆◆◆ 前回調査との比較

前回調査との比較では、全体的に類似していますが、「平等になっている」が3.0ポイント低くなっています。



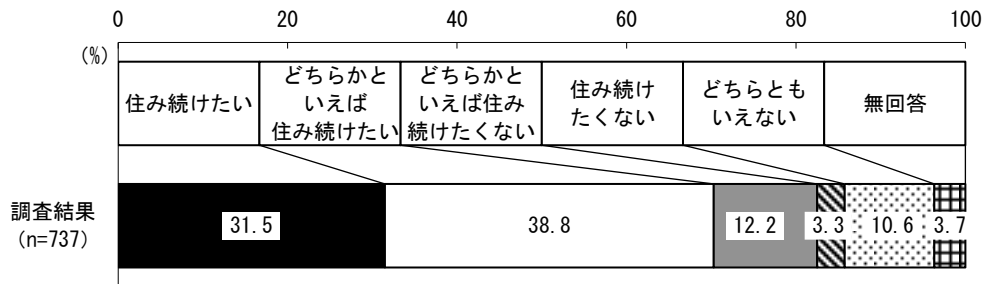
〇●〇 性別・年齢別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数 (n)	男性の方が 優遇	平等に なっている	女性の方が 優遇	わからない・ 無回答
全体		737	47.8	14.4	4.9	33.0
性別	男性	334	47.3	16.5	7.2	29.0
	女性	387	48.1	12.9	3.1	35.9
年齢	10・20 歳代	60	40.0	16.7	11.7	31.7
	30 歳代	71	50.7	14.1	8.5	26.8
	40 歳代	116	46.6	9.5	7.8	36.2
	50 歳代	117	48.7	16.2	4.3	30.8
	60 歳代	177	49.7	14.1	1.1	35.0
	70 歳以上	192	47.9	15.6	3.6	32.8

「平等になっている」や「女性の方が優遇」では、男性が女性を上回っています。年齢別の30歳代は、「男性の方が優遇」が半数を超え、全体より高くなっています。

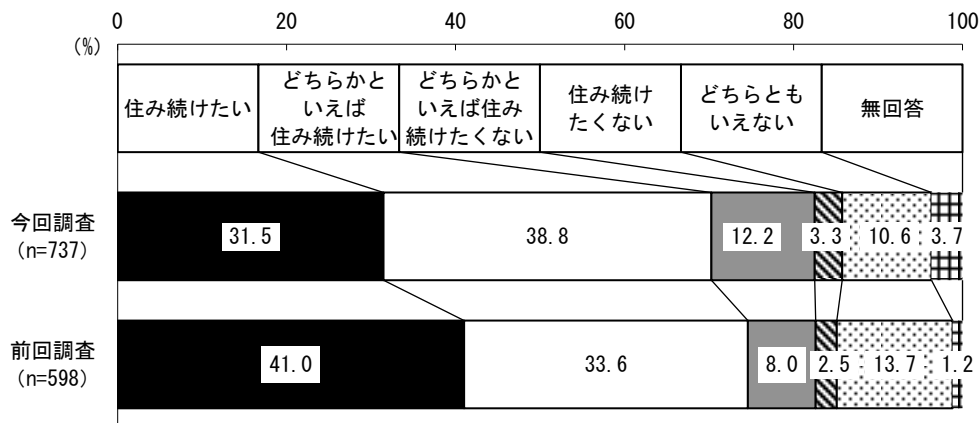
問 34 あなたは、これからも匝瑳市に住み続けたいと思いますか。(1つに○)



これからも匝瑳市に住み続けたいかについては、「どちらかといえば住み続けたい」との回答が 38.8% で最も高くなっています。

「住み続けたい」(31.5%) と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた「定住意向がある」は全体の 70.3% と高くなっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、「定住意向がある」と回答した人が 4.3 ポイント低くなっています。

〇●〇 性別・年齢別・居住地区別・居住歴別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数 (n)	定住意向が ある	定住意向が ない	どちらともいえ ない・無回答
全体		737	70.3	15.5	14.2
性別	男性	334	73.4	14.7	12.0
	女性	387	67.7	16.3	16.0
年齢	10・20 歳代	60	46.7	31.7	21.7
	30 歳代	71	60.6	19.7	19.7
	40 歳代	116	62.9	22.4	14.7
	50 歳代	117	68.4	16.2	15.4
	60 歳代	177	75.1	12.4	12.4
	70 歳以上	192	81.8	7.3	10.9
居住地区	中央地区	119	70.6	15.1	14.3
	豊栄地区	73	76.7	12.3	11.0
	須賀地区	71	83.1	2.8	14.1
	匝瑳地区	59	64.4	22.0	13.6
	豊和地区	33	69.7	9.1	21.2
	吉田地区	17	70.6	23.5	5.9
	飯高地区	14	57.1	21.4	21.4
	共興地区	49	65.3	20.4	14.3
	平和地区	80	68.8	12.5	18.8
	椿海地区	75	68.0	18.7	13.3
	野田地区	83	65.1	22.9	12.0
	栄地区	57	70.2	14.0	15.8
居住歴	ずっと市内に住んでいる	259	72.6	13.9	13.5
	市外での居住経験がある	189	70.4	15.3	14.3
	県内の他の市町村出身である	182	69.2	17.6	13.2
	県外出身である	96	65.6	16.7	17.7

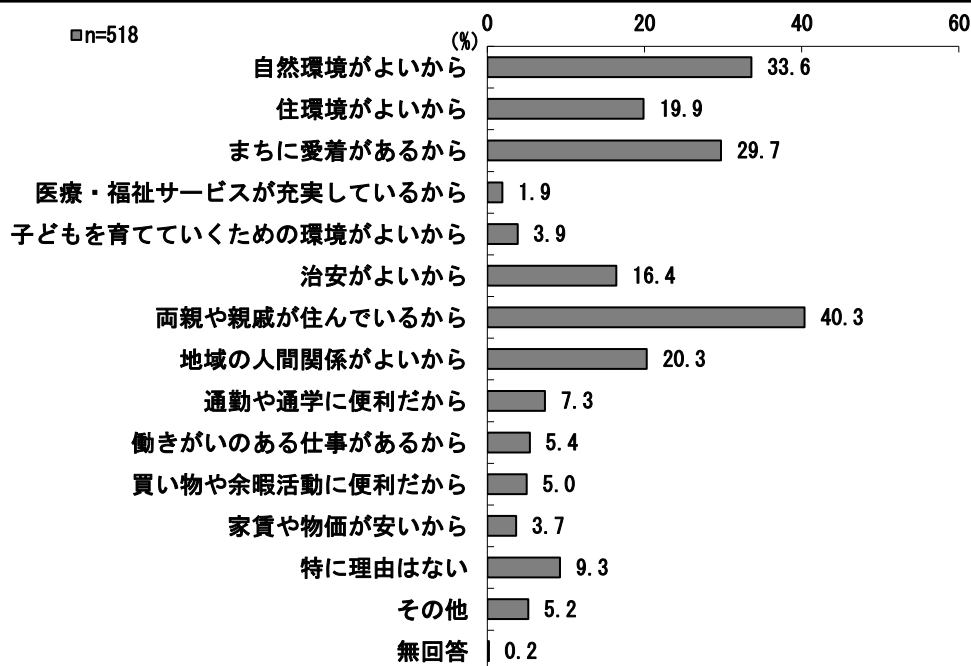
年齢別の70歳以上では、「定住意向がある」が8割を超えているのに対し、10・20歳代では5割を下回っており、全体より低くなっています。

居住地区別の須賀地区では、「定住意向がある」が8割を超えて全体より高くなっています。飯高地区では、「定住意向がある」が6割未満と全体より低くなっています。

問 34-1 問 34 で「1」又は「2」に回答された方にお聞きします。

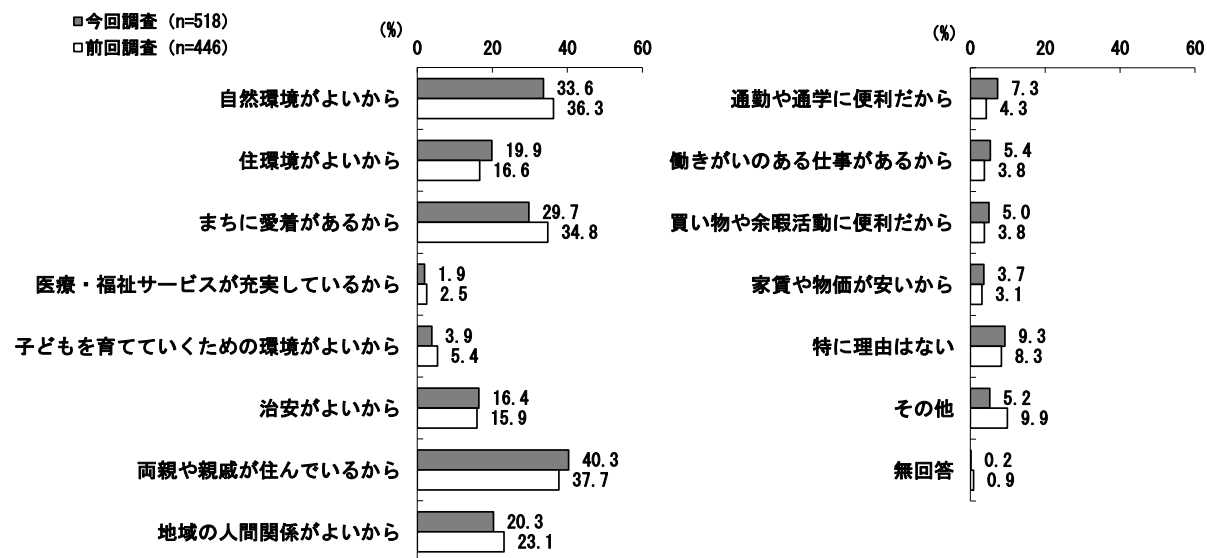
その理由は何ですか。(3つまで○)

※1はこれからも匝瑳市に「住み続けたい」、2は「どちらかといえば住み続けたい」。



住み続けたい理由としては、「両親や親戚が住んでいるから」が40.3%で最も高く、次いで「自然環境が良いから」が33.6%などとなっており、これら上位2項目が3割を超えて高くなっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較でも、順位の入替わりは見られるものの、同様に上記2項目が上位となっています。「まちに愛着があるから」は前回と同じく3番目であるものの、5.1ポイント低下しています。

〇●〇 性別・年齢別・居住地区・居住歴に見た傾向

(単位：%)

		回答者数 (n)	自然環境がよいから	住環境がよいから	まちに愛着があるから	医療・福祉サービスが充実しているから	子どもを育てていくための環境がよいから	治安がよいから	両親や親戚が住んでいるから	地域の人間関係がよいから	通勤や通学に便利だから	働きがいのある仕事があるから	買い物や余暇活動に便利だから	家賃や物価が安いから	特に理由はない	その他	無回答	
全体		518	33.6	19.9	29.7	1.9	3.9	16.4	40.3	20.3	7.3	5.4	5.0	3.7	9.3	5.2	0.2	
性別	男性	245	31.0	17.6	33.1	0.8	2.4	15.5	41.2	20.0	7.3	3.7	5.7	2.4	10.6	6.5	0.0	
	女性	262	36.6	22.5	26.7	3.1	5.3	17.2	40.1	20.6	7.3	6.9	3.8	5.0	7.6	4.2	0.4	
年齢	10・20歳代	28	28.6	7.1	32.1	3.6	10.7	10.7	67.9	10.7	14.3	3.6	7.1	7.1	10.7	0.0	0.0	
	30歳代	43	25.6	23.3	39.5	0.0	4.7	16.3	55.8	14.0	11.6	4.7	4.7	7.0	2.3	4.7	0.0	
	40歳代	73	23.3	17.8	38.4	0.0	5.5	11.0	54.8	12.3	9.6	9.6	5.5	1.4	5.5	4.1	0.0	
	50歳代	80	33.8	21.3	26.3	1.3	3.8	15.0	46.3	15.0	13.8	8.8	3.8	2.5	8.8	5.0	0.0	
	60歳代	133	32.3	18.8	30.1	0.0	3.0	15.0	33.1	21.1	4.5	4.5	4.5	3.8	10.5	7.5	0.0	
	70歳以上	157	43.3	22.9	24.2	5.1	2.5	21.7	28.0	29.9	3.2	3.2	5.7	3.8	10.8	5.1	0.6	
居住地区	中央地区	84	32.1	22.6	38.1	2.4	2.4	16.7	38.1	23.8	7.1	4.8	6.0	6.0	8.3	7.1	0.0	
	豊栄地区	56	42.9	28.6	33.9	1.8	3.6	19.6	33.9	17.9	10.7	5.4	1.8	5.4	5.4	7.1	0.0	
	須賀地区	59	23.7	20.3	18.6	3.4	5.1	22.0	39.0	18.6	8.5	6.8	8.5	1.7	13.6	3.4	0.0	
	匝瑳地区	38	36.8	23.7	23.7	0.0	13.2	15.8	50.0	18.4	7.9	5.3	5.3	2.6	10.5	5.3	0.0	
	豊和地区	23	47.8	13.0	34.8	0.0	8.7	13.0	47.8	21.7	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	8.7	0.0	
	吉田地区	12	41.7	16.7	16.7	8.3	0.0	16.7	41.7	33.3	16.7	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	
	飯高地区	8	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	62.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	
	共興地区	32	43.8	6.3	37.5	6.3	0.0	15.6	37.5	25.0	0.0	0.0	0.0	3.1	6.3	9.4	3.1	0.0
	平和地区	55	34.5	27.3	29.1	0.0	5.5	10.9	43.6	18.2	7.3	9.1	7.3	0.0	7.3	5.5	0.0	
	椿海地区	51	21.6	15.7	25.5	2.0	5.9	11.8	41.2	15.7	5.9	3.9	9.8	3.9	9.8	0.0	2.0	
	野田地区	54	25.9	16.7	24.1	1.9	0.0	14.8	42.6	22.2	5.6	5.6	1.9	5.6	11.1	9.3	0.0	
	栄地区	40	40.0	15.0	42.5	0.0	0.0	22.5	35.0	22.5	5.0	2.5	2.5	5.0	10.0	5.0	0.0	
居住歴	ずっと市内	188	34.0	14.9	38.3	2.7	3.7	17.0	52.1	20.2	7.4	4.3	4.3	1.6	9.6	2.1	0.0	
	市外での居住経験がある	133	27.1	18.0	39.1	0.8	4.5	14.3	45.9	19.5	6.8	3.8	3.8	4.5	9.0	7.5	0.0	
	県内の他の市町村出身	126	38.1	29.4	11.9	0.8	2.4	19.0	26.2	20.6	7.9	5.6	7.1	4.0	8.7	5.6	0.8	
	県外の出身	63	38.1	20.6	22.2	4.8	6.3	15.9	22.2	22.2	4.8	7.9	6.3	7.9	7.9	7.9	0.0	

年齢別の40歳代以下では、「両親や親戚が住んでいるから」が5割を超えて全体より高くなっています。70歳以上では、「地域の間人間関係がよいから」が3割弱と全体より高い一方、50歳代以下では、1割程度にとどまっています。30歳代と40歳代では、「まちに愛着があるから」が4割近くとなっており、全体より高くなっています。

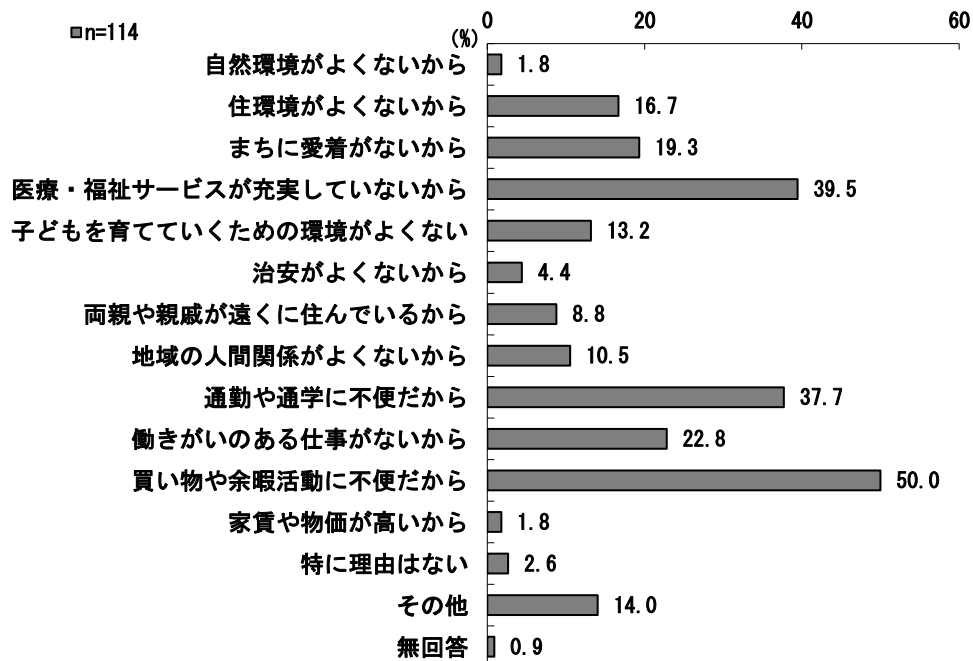
居住地区別の匝瑳地区、飯高地区では、「両親や親戚が住んでいるから」が5割を超えて、全体より高くなっています。

居住歴別の県内の他の市町村出身の方と県外の出身の方は、「自然環境がよいから」が4割近く、全体より高くなっています。

問 34-2 問 34 で「3」又は「4」に回答された方にお聞きします。

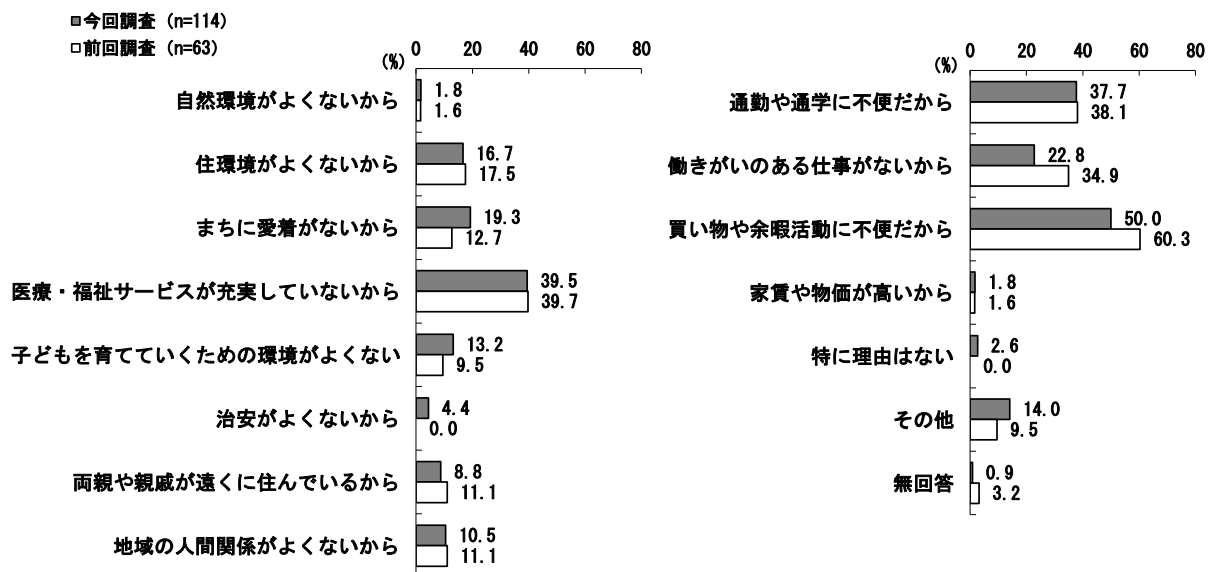
その理由は何ですか。(3つまで○)

※3はこれからも匝瑳市に「どちらかといえば住み続けたくない」、4は「住み続けたくない」。



住み続けたくない理由としては、「買い物や余暇活動に不便だから」が 50.0%で最も高く、次いで「医療・福祉サービスが充実していないから」が 39.5%、「通勤や通学に不便だから」が 37.7%などとなっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、「まちに愛着がないから」が 6.6 ポイント高くなっているのに対し、「働きがいのある仕事がないから」は 12.1 ポイント、「買い物や余暇活動に不便だから」は 10.3 ポイント、それぞれ低くなっています。

性別・年齢別に見た傾向

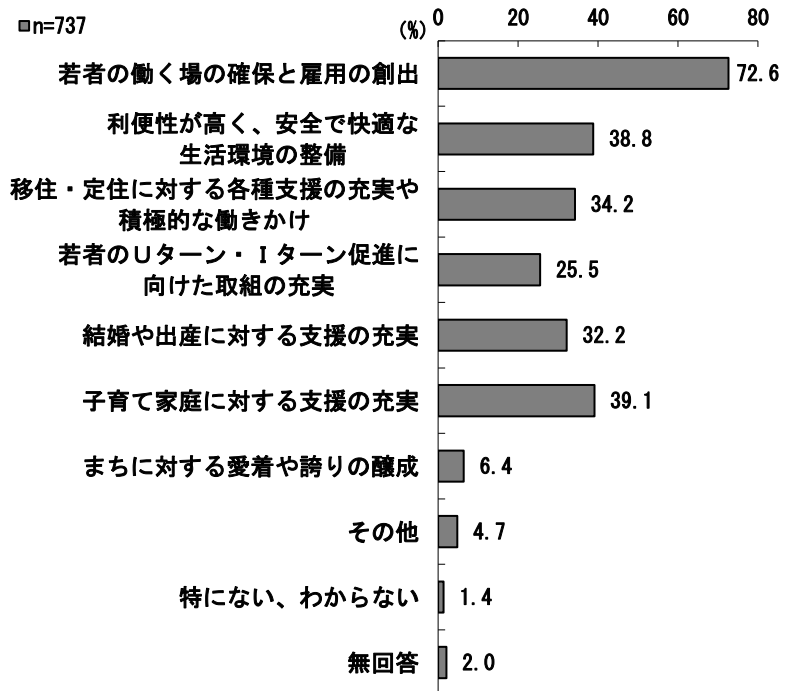
(単位：%)

		回答者数 (n)	自然環境がよくないから	住環境がよくないから	まちに愛着がないから	医療・福祉サービスが充実していないから	子どもを育てていくための環境がよくないから	治安がよくないから	両親や親戚が遠くに住んでいるから	地域の人間関係がよくないから	通勤や通学に不便だから	働きがいのある仕事がないから	買い物や余暇活動に不便だから	家賃や物価が多いから	特に理由はない	その他	無回答
全体		114	1.8	16.7	19.3	39.5	13.2	4.4	8.8	10.5	37.7	22.8	50.0	1.8	2.6	14.0	0.9
性別	男性	49	2.0	22.4	14.3	46.9	14.3	6.1	6.1	14.3	32.7	18.4	49.0	0.0	4.1	14.3	0.0
	女性	63	1.6	12.7	23.8	33.3	11.1	3.2	11.1	7.9	41.3	25.4	52.4	3.2	1.6	12.7	1.6
年齢	10・20 歳代	19	0.0	10.5	15.8	15.8	10.5	10.5	5.3	5.3	68.4	52.6	36.8	0.0	0.0	15.8	0.0
	30 歳代	14	7.1	14.3	35.7	14.3	42.9	0.0	14.3	7.1	21.4	7.1	42.9	0.0	7.1	28.6	0.0
	40 歳代	26	0.0	15.4	15.4	50.0	15.4	7.7	7.7	11.5	26.9	15.4	61.5	3.8	0.0	3.8	0.0
	50 歳代	19	0.0	36.8	15.8	47.4	10.5	5.3	5.3	5.3	42.1	21.1	36.8	5.3	0.0	10.5	5.3
	60 歳代	22	0.0	13.6	27.3	54.5	4.5	0.0	18.2	18.2	22.7	22.7	50.0	0.0	4.5	18.2	0.0
	70 歳以上	14	7.1	7.1	7.1	42.9	0.0	0.0	0.0	14.3	50.0	14.3	71.4	0.0	7.1	14.3	0.0
居住地区	中央地区	18	0.0	38.9	11.1	55.6	11.1	0.0	5.6	11.1	33.3	27.8	61.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	豊栄地区	9	0.0	11.1	11.1	77.8	11.1	0.0	0.0	11.1	44.4	11.1	88.9	0.0	0.0	22.2	0.0
	須賀地区	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	匠瑳地区	13	7.7	15.4	23.1	46.2	23.1	0.0	15.4	0.0	38.5	23.1	30.8	0.0	0.0	23.1	0.0
	豊和地区	3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	吉田地区	4	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	飯高地区	3	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	共興地区	10	0.0	30.0	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	50.0	30.0	40.0	0.0	10.0	20.0	0.0
	平和地区	10	0.0	10.0	40.0	30.0	10.0	10.0	0.0	10.0	30.0	10.0	60.0	0.0	0.0	30.0	0.0
	椿海地区	14	7.1	14.3	21.4	28.6	14.3	0.0	7.1	21.4	35.7	35.7	28.6	7.1	7.1	0.0	0.0
	野田地区	19	0.0	5.3	15.8	36.8	10.5	10.5	26.3	5.3	31.6	10.5	47.4	5.3	5.3	26.3	0.0
	栄地区	8	0.0	12.5	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0	12.5	75.0	0.0	0.0	12.5	0.0
居住歴	ずっと市内	36	0.0	16.7	11.1	30.6	16.7	5.6	2.8	11.1	44.4	27.8	58.3	0.0	5.6	11.1	2.8
	市外での居住経験がある	29	0.0	20.7	17.2	44.8	13.8	10.3	0.0	10.3	37.9	20.7	48.3	3.4	0.0	17.2	0.0
	県内の他の市町村出身	32	0.0	12.5	18.8	43.8	15.6	0.0	12.5	9.4	37.5	28.1	34.4	3.1	3.1	15.6	0.0
	県外出身	16	12.5	12.5	37.5	43.8	0.0	0.0	31.3	12.5	25.0	6.3	62.5	0.0	0.0	12.5	0.0

年齢別の 40 歳代と 70 歳以上では、「買い物や余暇活動に不便だから」が 6 割を超えて全体より高く、10・20 歳代では、「通勤・通学に不便」が 6 割を超えて全体より高くなっています。

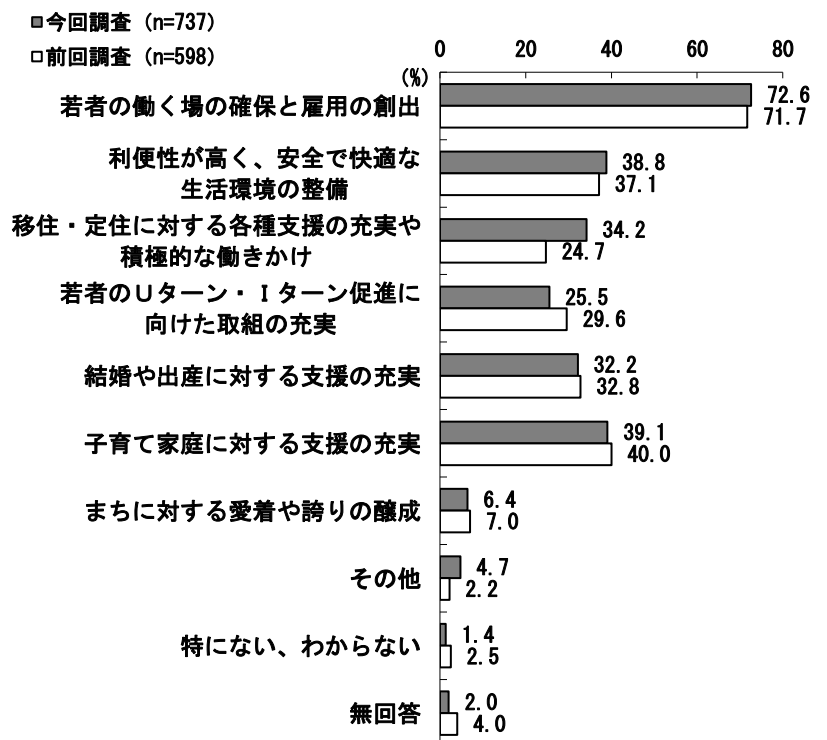
問 35 平成18年に本市が誕生して以降、人口減少が進行しています。人口減少に歯止めをかけるため、特に力を入れて取り組むべき施策は何だと思えますか。(3つまで○)

人口減少への重要な取組については、「若者の働く場の確保と雇用の創出」が72.6%で最も高く、次いで「子育て家庭に対する支援の充実」が39.1%、「利便性が高く、安全で快適な生活環境の整備」が38.8%などとなっています。



◆◆◆ 前回調査との比較

前回調査との比較では、「若者の働く場の確保と雇用の創出」が引き続き7割台と最も高くなっています。



性別・年齢別・居住地区別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数 (n)	若者の働く場の確保と雇用の創出	利便性が高く、安全で快適な生活環境の整備	移住・定住に対する各種支援の充実や積極的な働きかけ	促進に向けた取組の充実	結婚や出産に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実	まちに対する愛着や誇りの醸成	その他	特にない、わからない	無回答
全体		737	72.6	38.8	34.2	25.5	32.2	39.1	6.4	4.7	1.4	2.0
性別	男性	334	72.2	36.5	38.0	25.7	37.7	39.2	6.9	5.1	1.8	0.9
	女性	387	73.1	41.1	32.0	25.6	26.9	38.2	6.2	4.7	1.0	3.1
年齢	10・20歳代	60	60.0	53.3	28.3	20.0	45.0	55.0	1.7	6.7	0.0	1.7
	30歳代	71	53.5	45.1	28.2	25.4	43.7	59.2	9.9	11.3	0.0	2.8
	40歳代	116	62.1	44.0	33.6	19.8	29.3	44.8	6.9	10.3	0.9	2.6
	50歳代	117	77.8	43.6	35.0	26.5	27.4	41.9	4.3	3.4	0.9	1.7
	60歳代	177	79.1	41.8	36.7	26.6	29.4	29.9	5.1	2.3	1.7	0.6
	70歳以上	192	80.7	22.9	35.9	29.7	31.3	30.2	8.9	1.6	2.6	3.1
居住地区	中央地区	119	76.5	41.2	42.0	21.8	23.5	37.8	6.7	4.2	0.8	0.8
	豊栄地区	73	79.5	35.6	28.8	30.1	28.8	54.8	5.5	5.5	1.4	0.0
	須賀地区	71	73.2	33.8	35.2	21.1	33.8	43.7	8.5	1.4	1.4	1.4
	匝瑳地区	59	71.2	42.4	33.9	30.5	32.2	44.1	8.5	5.1	0.0	1.7
	豊和地区	33	78.8	51.5	24.2	21.2	33.3	27.3	12.1	3.0	0.0	3.0
	吉田地区	17	58.8	29.4	41.2	41.2	23.5	35.3	5.9	0.0	0.0	0.0
	飯高地区	14	71.4	35.7	35.7	21.4	28.6	42.9	0.0	7.1	0.0	14.3
	共興地区	49	67.3	28.6	44.9	24.5	44.9	30.6	6.1	8.2	4.1	0.0
	平和地区	80	72.5	41.3	36.3	25.0	35.0	36.3	5.0	3.8	2.5	1.3
	椿海地区	75	72.0	41.3	30.7	21.3	25.3	30.7	8.0	10.7	1.3	4.0
	野田地区	83	62.7	43.4	33.7	27.7	36.1	38.6	3.6	2.4	2.4	2.4
	栄地区	57	75.4	29.8	22.8	29.8	45.6	42.1	5.3	5.3	0.0	5.3

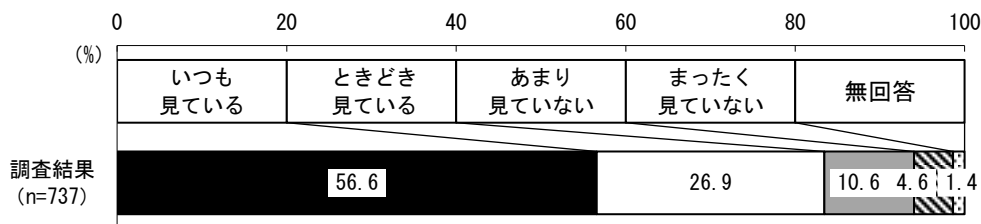
「結婚や出産に対する支援の充実」については男性が女性を上回り、「利便性が高く、安全で快適な生活環境の整備」については、女性が男性を上回っています。

年齢別において、10・20歳代と30歳代では、「利便性が高く、安全で快適な生活環境の整備」、「子育て家庭に対する支援の充実」、「結婚や出産に対する支援の充実」が全体より高くなっています。

居住地区別の中央地区、豊栄地区、豊和地区、栄地区では、「若者の働く場の確保と雇用の創出」が、豊栄地区、匝瑳地区などでは、「子育て家庭に対する支援の充実」が、共興地区、栄地区などでは、「結婚や出産に対する支援の充実」がそれぞれ全体より高くなっています。

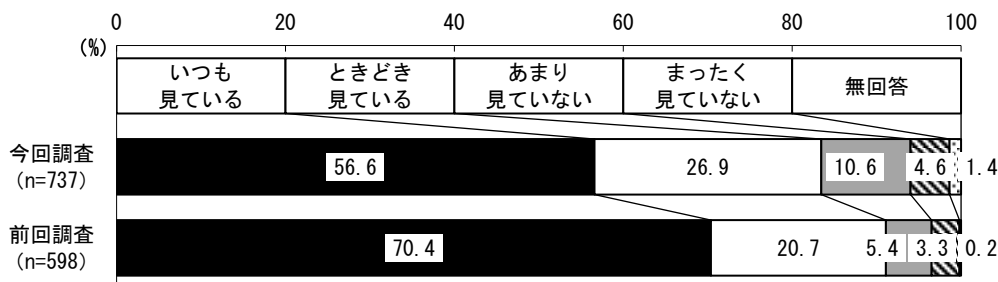
6 市民協働・行財政について

問 36 あなたは、市の広報紙（広報そうさ）を見たことがありますか。（1つに○）



市の広報紙については、「いつも見ている」との回答が 56.6%で最も高くなっています。「いつも見ている」と「ときどき見ている」（26.9%）を合わせた「見ている」は全体の 83.4%と非常に高くなっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、前回調査の「見ている」の 91.1%に比べ、低くなっています。

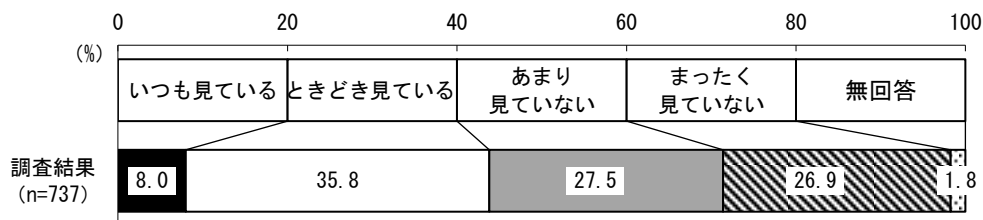
○○○ 性別・年齢別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数 (n)	「見ている」	「見えていない」	無回答
全体		737	83.4	15.2	1.4
性別	男性	334	80.5	19.2	0.3
	女性	387	86.3	11.4	2.3
年齢	10・20 歳代	60	65.0	33.3	1.7
	30 歳代	71	70.4	29.6	0.0
	40 歳代	116	81.0	17.2	1.7
	50 歳代	117	82.1	17.1	0.9
	60 歳代	177	90.4	9.0	0.6
	70 歳以上	192	90.6	6.8	2.6

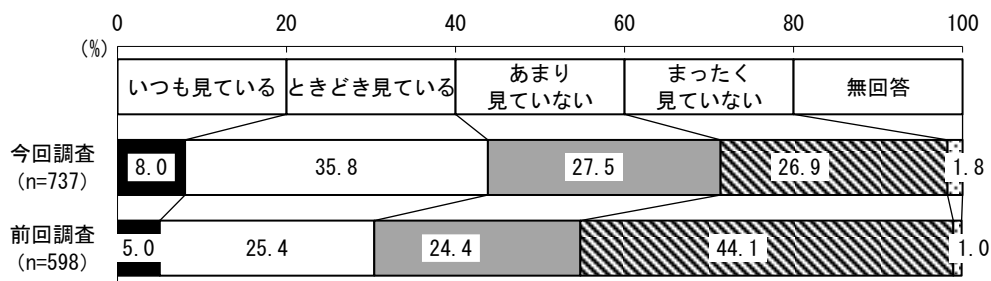
年齢別の 30 歳代以下では、「見えていない」との回答が全体より高く、10・20 歳代で「見ている」の回答は 6 割台にとどまっています。

問 37 あなたは、市のホームページを見たことがありますか。(1つに○)



市のホームページについては、「ときどき見ている」との回答が 35.8%で最も高くなっています。「いつも見ている」(8.0%)と「ときどき見ている」を合わせた「見ている」は全体の 43.8%となっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、前回調査の「見ている」より 13.4 ポイント高くなっています。

○○○ 性別・年齢別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数 (n)	「見ている」	「見ていない」	無回答
全体		737	43.8	54.4	1.8
性別	男性	334	44.9	54.5	0.6
	女性	387	42.4	54.8	2.8
年齢	10・20 歳代	60	30.0	68.3	1.7
	30 歳代	71	57.7	42.3	0.0
	40 歳代	116	63.8	34.5	1.7
	50 歳代	117	48.7	50.4	0.9
	60 歳代	177	39.0	60.5	0.6
	70 歳以上	192	32.3	63.5	4.2

年齢別の 30 歳代と 40 歳代では、「見ている」が 6 割前後となっており、全体より高くなっています。

問 38 あなたは、まちづくりや地域づくりに参加していますか、また、今後参加したいと思いますか。(1～8の(1)、(2)について、それぞれ1つずつに○)

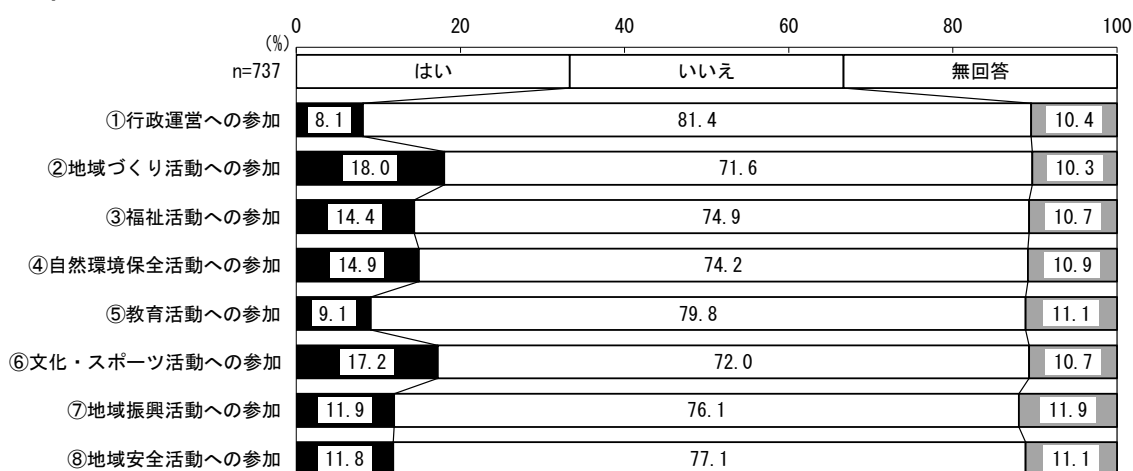
<活動内容>

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 行政運営への参加 | 2. 地域づくり活動への参加 |
| 3. 福祉活動への参加 | 4. 自然環境保全活動への参加 |
| 5. 教育活動への参加 | 6. 文化・スポーツ活動への参加 |
| 7. 地域振興活動への参加 | 8. 地域安全活動への参加 |

<参加の状況と意向>

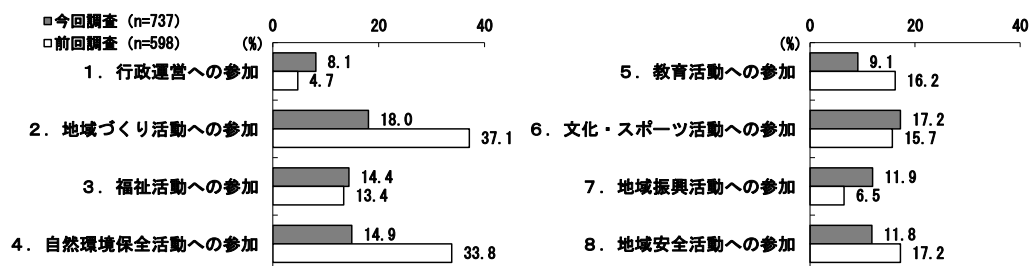
- (1) ここ数年の間に参加していますか (2) 今後参加したいですか

(1) 参加の状況



参加しているかについては、「はい」との回答が、行政運営への参加が8.1%、地域づくり活動への参加が18.0%、福祉活動への参加が14.4%、自然環境保全活動への参加が14.9%、教育活動への参加が9.1%、文化・スポーツ活動への参加が17.2%、地域振興活動への参加が11.9%、地域安全活動への参加が11.8%となっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、地域づくり活動への参加が19.1ポイント、自然環境保全活動への参加が18.9ポイントと、それぞれ大幅に低下しています。

〇●〇 性別・年齢別・居住地区別に見た傾向

(単位：%)

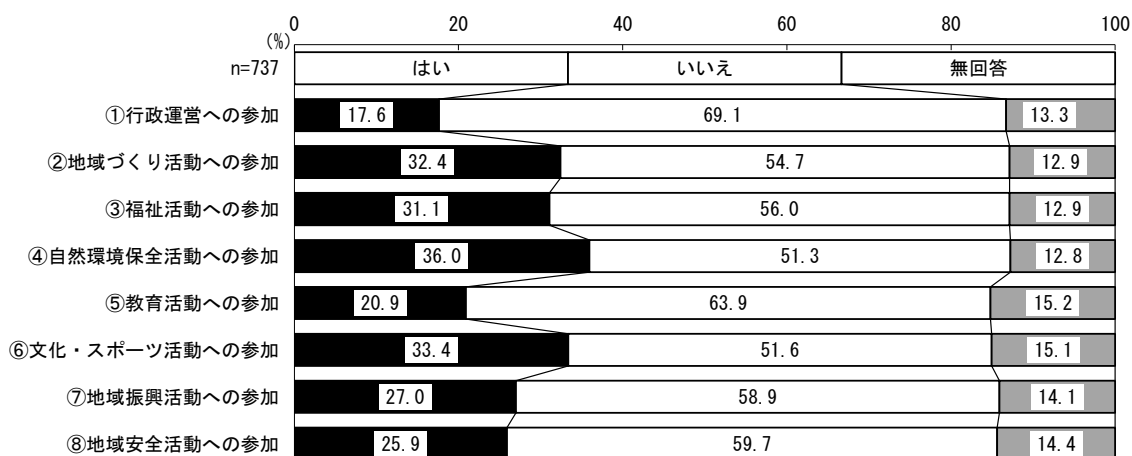
		回答者数 (n)	1 行政運営への参加	2 地域づくり活動への参加	3 福祉活動への参加	4 自然環境保全活動への参加	5 教育活動への参加	6 文化・スポーツ活動への参加	7 地域振興活動への参加	8 地域安全活動への参加
全体		737	8.1	18.0	14.4	14.9	9.1	17.2	11.9	11.8
性別	男性	334	12.9	26.3	17.1	23.1	8.1	18.3	17.1	19.8
	女性	387	4.1	10.9	12.4	8.3	10.3	17.1	7.5	5.2
年齢	10・20 歳代	60	5.0	5.0	5.0	6.7	6.7	20.0	8.3	5.0
	30 歳代	71	9.9	11.3	7.0	11.3	15.5	14.1	7.0	8.5
	40 歳代	116	8.6	15.5	16.4	12.9	16.4	12.1	16.4	12.1
	50 歳代	117	6.8	20.5	10.3	14.5	7.7	15.4	14.5	11.1
	60 歳代	177	9.0	22.6	21.5	19.2	9.6	19.8	13.6	17.5
	70 歳以上	192	8.3	20.8	14.6	16.7	3.6	19.8	9.4	10.4
居住地区	中央地区	119	10.9	24.4	16.8	12.6	9.2	26.1	13.4	14.3
	豊栄地区	73	11.0	20.5	16.4	13.7	6.8	24.7	16.4	12.3
	須賀地区	71	9.9	18.3	12.7	11.3	9.9	19.7	8.5	12.7
	匠瑳地区	59	6.8	11.9	11.9	13.6	3.4	13.6	10.2	11.9
	豊和地区	33	3.0	15.2	15.2	6.1	3.0	3.0	3.0	15.2
	吉田地区	17	0.0	11.8	23.5	17.6	5.9	23.5	17.6	29.4
	飯高地区	14	14.3	28.6	28.6	21.4	14.3	14.3	21.4	21.4
	共興地区	49	12.2	26.5	16.3	34.7	14.3	8.2	24.5	18.4
	平和地区	80	6.3	16.3	12.5	12.5	10.0	20.0	11.3	11.3
	椿海地区	75	4.0	12.0	9.3	14.7	16.0	9.3	4.0	6.7
	野田地区	83	4.8	13.3	14.5	14.5	7.2	14.5	9.6	7.2
	栄地区	57	12.3	19.3	14.0	19.3	8.8	15.8	15.8	5.3

上記の表は、1 から 8 の項目でそれぞれ「はい」と回答した人について性別・年齢別に見たものです。

年齢別の 60 歳代では、「地域づくり活動への参加」など 4 項目で 2 割前後となっており、この年代の参加意向の高さが見られます。

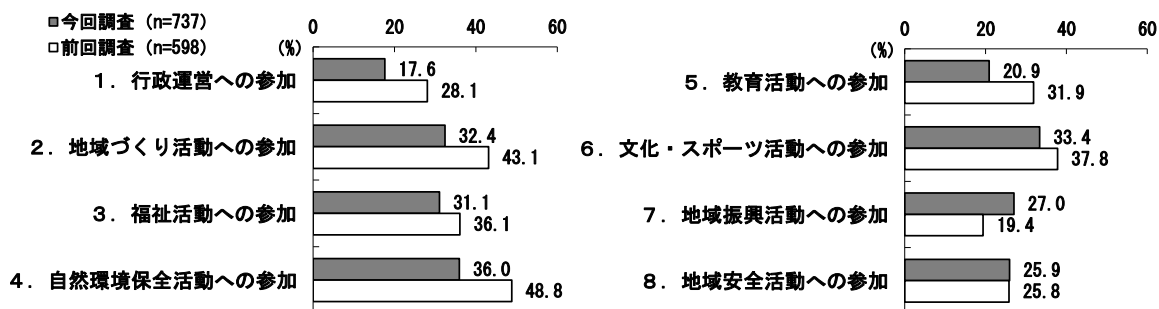
居住地区別の共興地区では、「自然環境保全活動への参加」が 3 割を超えており、全体より高くなっています。

(2) 参加意向



今後参加したいかについては、「はい」との回答が、行政運営への参加が 17.6%、地域づくり活動への参加が 32.4%、福祉活動への参加 31.1%、自然環境保全活動への参加が 36.0%、教育活動への参加が 20.9%、文化・スポーツ活動への参加が 33.4%、地域振興活動への参加が 27.0%、地域安全活動への参加が 25.9%となっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、行政運営への参加行政運営への参加が 10.5 ポイント、地域づくり活動への参加が 10.7 ポイント、自然環境保全活動への参加が 12.8 ポイント、教育活動への参加が 11.0 ポイントと、それぞれ 10 ポイント以上低くなっています。一方で、地域振興活動への参加は 7.6 ポイント高くなっています。

〇●〇 性別・年齢別・居住地区別に見た傾向

(単位：%)

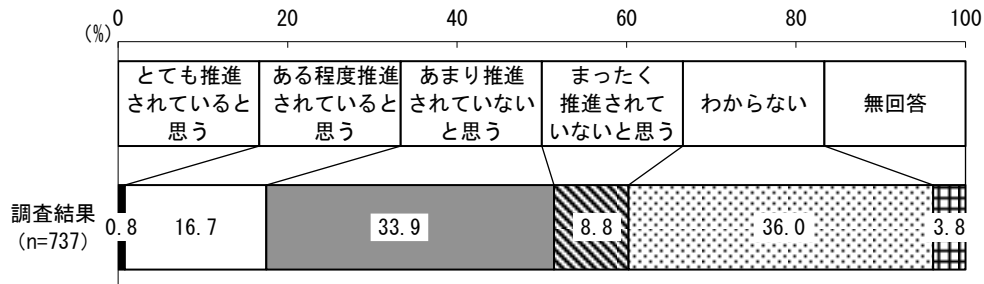
		回答者数 (n)	1 行政運営への参加	2 地域づくり活動への参加	3 福祉活動への参加	4 自然環境保全活動への参加	5 教育活動への参加	6 文化・スポーツ活動への参加	7 地域振興活動への参加	8 地域安全活動への参加
全体		737	17.6	32.4	31.1	36.0	20.9	33.4	27.0	25.9
性別	男性	334	23.7	39.2	31.4	39.8	19.5	34.1	31.7	32.3
	女性	387	12.7	26.9	31.0	32.8	22.5	33.3	22.7	20.7
年齢	10・20 歳代	60	18.3	18.3	21.7	28.3	25.0	38.3	21.7	18.3
	30 歳代	71	23.9	31.0	21.1	32.4	33.8	39.4	35.2	29.6
	40 歳代	116	18.1	30.2	35.3	31.0	28.4	31.0	25.9	24.1
	50 歳代	117	16.2	39.3	41.9	37.6	17.1	38.5	29.9	27.4
	60 歳代	177	18.6	38.4	36.2	42.4	23.2	39.5	29.4	31.6
	70 歳以上	192	14.1	28.6	23.4	35.4	9.9	21.9	21.9	21.4
居住地区	中央地区	119	19.3	37.0	33.6	35.3	24.4	35.3	25.2	30.3
	豊栄地区	73	27.4	54.8	39.7	45.2	26.0	45.2	34.2	35.6
	須賀地区	71	18.3	29.6	28.2	32.4	21.1	31.0	21.1	18.3
	匝瑳地区	59	23.7	27.1	30.5	37.3	22.0	28.8	33.9	27.1
	豊和地区	33	15.2	27.3	30.3	30.3	18.2	30.3	30.3	27.3
	吉田地区	17	0.0	29.4	23.5	23.5	5.9	29.4	35.3	23.5
	飯高地区	14	14.3	28.6	21.4	21.4	14.3	14.3	21.4	21.4
	共興地区	49	26.5	30.6	34.7	40.8	20.4	34.7	32.7	30.6
	平和地区	80	11.3	23.8	27.5	32.5	20.0	31.3	18.8	23.8
	椿海地区	75	13.3	32.0	32.0	37.3	16.0	29.3	22.7	20.0
	野田地区	83	10.8	21.7	24.1	30.1	15.7	30.1	22.9	24.1
	栄地区	57	19.3	38.6	36.8	47.4	29.8	40.4	38.6	24.6

上記の表は、1 から 8 の項目でそれぞれ「はい」と回答した人について性別・年齢別に見たものです。

年齢別の 50 歳代と 60 歳代では、「地域づくり活動への参加」が 4 割近くとなっており、全体より高くなっています。

居住地区別の豊栄地区では、「地域づくり活動への参加」が 5 割を超えて最も高くなっています。また、豊栄地区、共興地区、栄地区では、「自然環境保全活動への参加」が 4 割を超えて、全体より高くなっています。

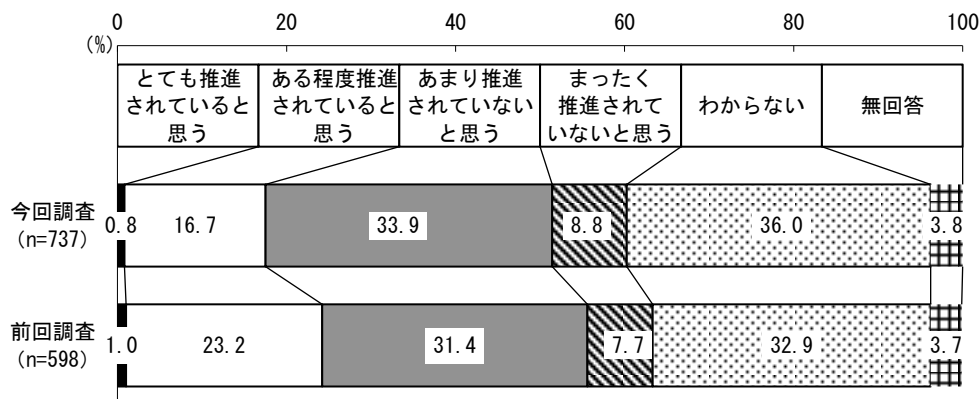
問 39 市では現在、市民と行政との協働によるまちづくりに取り組んでいます。あなたは、協働によるまちづくりが推進されていると思いますか。（1つに○）



協働によるまちづくりの推進については、「わからない」が36.0%で、最も高くなっています。

「とても推進されていると思う」(0.8%)、「ある程度推進されていると思う」(16.7%)を合わせた「推進されていると思う」の回答は17.5%となっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、「推進されていると思う」が6.7ポイント低くなっています。

〇●〇 性別・年齢別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数 (n)	推進されている と思う	推進されている と思わない	わからない・ 無回答
全体		737	17.5	42.7	39.8
性別	男性	334	19.2	47.6	33.2
	女性	387	16.0	38.8	45.2
年齢	10・20 歳代	60	21.7	41.7	36.7
	30 歳代	71	19.7	42.3	38.0
	40 歳代	116	15.5	43.1	41.4
	50 歳代	117	16.2	50.4	33.3
	60 歳代	177	14.1	47.5	38.4
	70 歳以上	192	20.3	33.9	45.8
居住歴	ずっと市内に住んでいる	259	18.1	40.2	41.7
	市外での居住経験あり	189	19.0	47.6	33.3
	県内の他の市町村出身	182	18.7	39.6	41.8
	県外出身	96	10.4	45.8	43.8

年齢別の 50 歳代では、「推進されていると思わない」が 5 割を超え、全体より高くなっています。

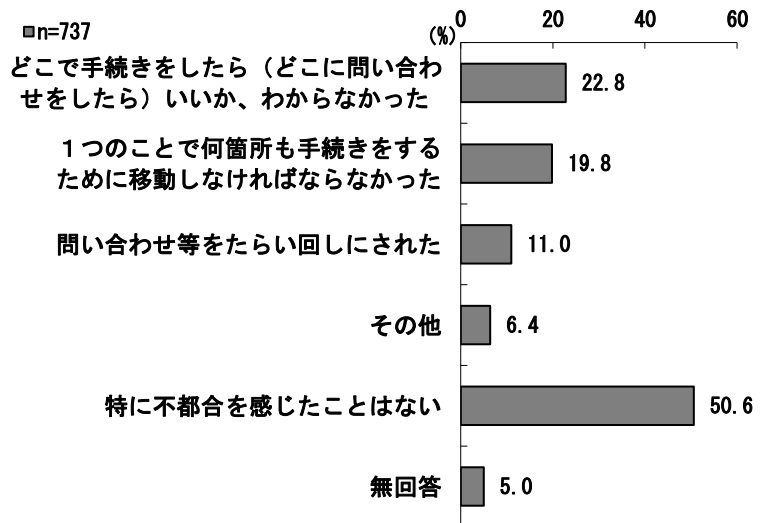
居住歴別の市外での居住経験ありでは、「推進されていると思わない」が 5 割近くとなっており、全体より高くなっています。

問 40 市の手続きや問合せ等で不都合を感じたことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

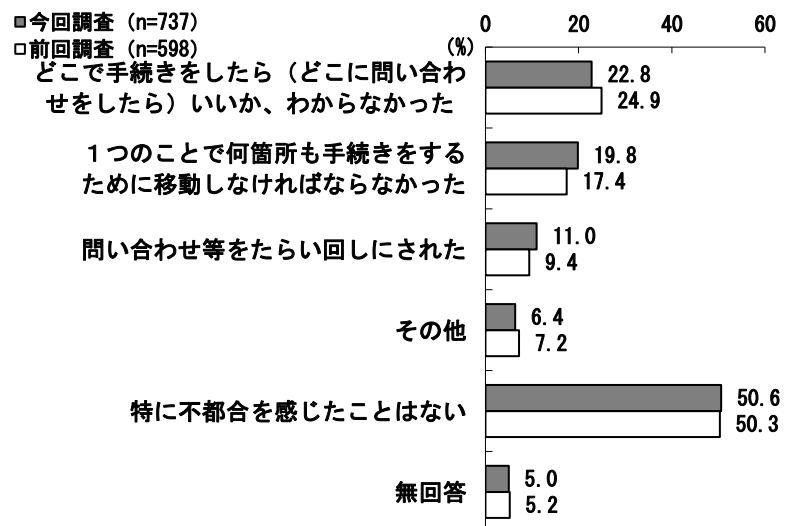
市の手続きや問合せ等で感じた不都合については、「特に不都合を感じたことはない」との回答が 50.6%で最も高くなっています。

「不都合を感じた」回答の中では、「どこで手続きをしたら（どこに問い合わせをしたら）いいか、わからなかった」との回答が全体の 22.8%で最も高くなっています。



◆◆◆ 前回調査との比較

前回調査との比較では、「特に不都合を感じたことはない」が半数を占めたことを始め、全体的に類似しています。



〇●〇 性別・年齢別・居住歴別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数 (n)	どこで手続きをしたらいいか、わからなかった	1つのことで何箇所も手続きをするために移動しなければならなかった	問い合わせ等をたらい回しにされた	その他	特に不都合を感じたことはない	無回答
全体		737	22.8	19.8	11.0	6.4	50.6	5.0
性別	男性	334	19.8	20.7	13.5	6.9	52.7	5.1
	女性	387	25.3	19.1	8.3	5.7	49.9	4.9
年齢	10・20 歳代	60	25.0	25.0	15.0	8.3	45.0	1.7
	30 歳代	71	23.9	18.3	5.6	12.7	47.9	4.2
	40 歳代	116	25.9	21.6	16.4	6.0	44.8	3.4
	50 歳代	117	29.1	21.4	12.8	5.1	47.0	3.4
	60 歳代	177	21.5	21.5	11.9	6.8	50.8	5.1
	70 歳以上	192	17.7	15.1	6.8	4.2	58.9	7.8
居住歴	ずっと市内に住んでいる	259	26.6	18.9	11.6	5.8	50.2	5.8
	市外での居住経験がある	189	21.2	21.7	12.2	9.0	51.3	1.6
	県内の他の市町村出身	182	23.1	18.1	9.3	6.6	50.0	6.6
	県外の出身	96	15.6	21.9	11.5	2.1	52.1	6.3

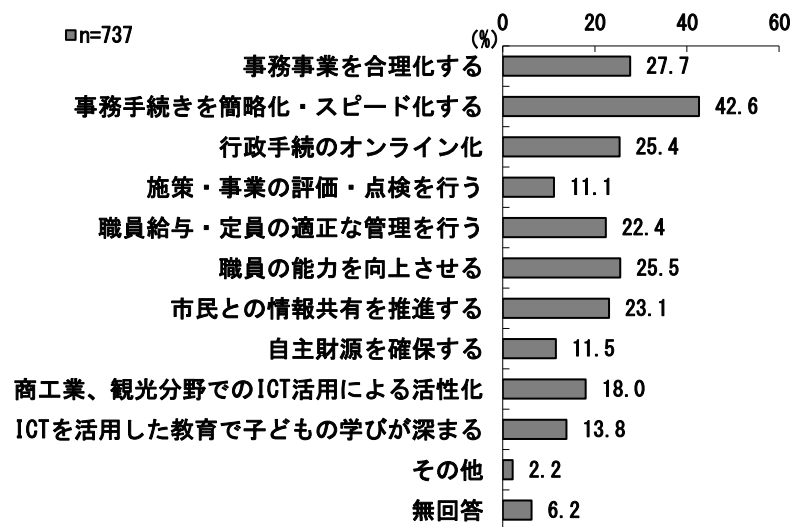
年齢別の 50 歳代では、「どこで手続きをしたらいいか、わからなかった」が 3 割弱となっており、全体より高くなっています。

居住歴別では、県外の出身者が、「どこで手続きをしたらいいか、わからなかった」が 1 割台と、全体より低くなっています。

問 41 市では現在、行財政改革に取り組んでいます。あなたは、市の行財政改革の取組で、何が重要と考えますか。(3つまで○)

市の行財政改革への重要な取組については、「事務手続きを簡略化・スピード化する」が42.6%で最も高く、次いで「事務事業を合理化する」が27.7%、「職員の能力を向上させる」が25.5%などとなっています。

前回調査との比較については、選択肢の数や表現が異なるため、参考として掲載します。



◆◆◆ 前回調査との比較 (参考)

今回調査 (n=737)		前回調査 (n=598)	
事務事業を合理化する (事業や施設の統廃合、民間委託など)	27.7	事務事業を合理化する (事業や施設の統廃合、民間委託など)	35.3
事務手続きを簡略化・スピード化する (窓口の総合化、電子化など)	42.6	事務手続きを簡略化・スピード化する (窓口の総合化、電子化など)	48.8
行政手続きのオンライン化 (各行政手続きが、インターネットによる申請などで完結されること)	25.4		
施策・事業の評価・点検を行う (事務事業評価など)	11.1	施策・事業の評価・点検を行う (事務事業評価など)	17.4
職員給与・定員の適正な管理を行う	22.4	職員給与・定員の適正な管理を行う	32.9
職員の能力を向上させる (政策立案能力、職務遂行能力など)	25.5	職員の能力を向上させる (政策立案能力、職務遂行能力など)	31.4
市民との情報共有を推進する (積極的な情報開示など)	23.1	市民との情報共有を推進する (積極的な情報開示など)	26.3
自主財源を確保する (税収増加策の実施など)	11.5	自主財源を確保する (税収増加策の実施など)	15.1
商工業、観光分野でのICT活用により地元産業が活性化すること	18.0		
ICTを活用した教育により、子どもたちの学びが深まること	13.8		
その他	2.2	その他	3.5
無回答	6.2	無回答	6.2

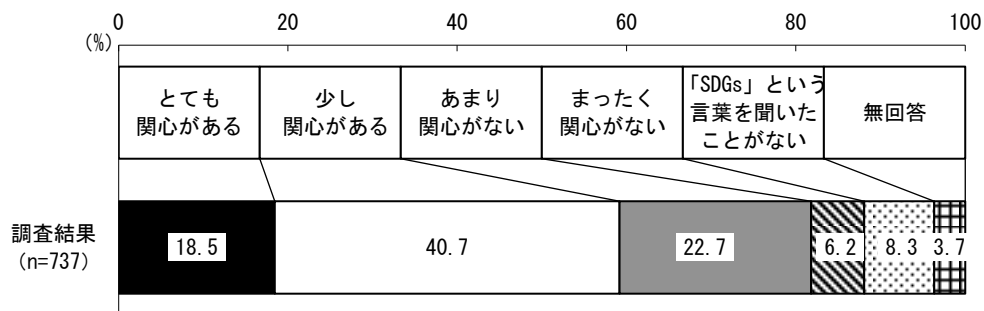
性別・年齢別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数 (n)	事務事業を合理化する (事務の統廃合、民間委託など)	事務手続きを簡略化・スピード化する (窓口の総合化、電子化など)	行政手続のオンライン化	施策・事業の評価・点検を行う (事務事業評価など)	職員給与・定員の 適正な管理を行う	職員の能力を向上させる (政策立案能力、職務遂行能力など)	市民との情報共有を推進する (積極的な情報開示など)	自主財源を確保する (増収増税の実施など)	商工業、観光分野でのICT活用 による活性化	ICTを活用した教育で子どもの 学びが深まる	その他	無回答
全体		737	27.7	42.6	25.4	11.1	22.4	25.5	23.1	11.5	18.0	13.8	2.2	6.2
性別	男性	334	29.3	41.0	27.2	14.1	22.2	25.1	24.9	17.4	17.4	12.9	2.1	5.1
	女性	387	26.6	44.7	23.8	8.5	22.0	25.3	21.4	6.2	18.6	14.5	2.1	7.5
年齢	10・20歳代	60	18.3	43.3	58.3	11.7	21.7	23.3	8.3	6.7	23.3	23.3	1.7	1.7
	30歳代	71	18.3	52.1	43.7	11.3	22.5	22.5	15.5	9.9	19.7	18.3	0.0	4.2
	40歳代	116	26.7	44.8	40.5	7.8	20.7	19.8	18.1	13.8	12.9	19.0	2.6	6.0
	50歳代	117	29.9	42.7	25.6	13.7	23.1	26.5	16.2	12.0	28.2	9.4	0.0	3.4
	60歳代	177	30.5	44.6	13.6	12.4	23.2	27.7	33.9	11.3	14.1	11.3	4.0	6.2
	70歳以上	192	30.2	35.9	9.9	10.4	22.9	28.6	27.6	12.5	16.1	10.9	2.1	10.4

年齢別の30歳代では、「事務手続きを簡略化・スピード化する」が5割を超えて、全体より高くなっています。10・20歳代では「行政手続のオンライン化」が6割近くとなっており、全体より高くなっています。

問 42 持続可能な開発目標（SDGs）の取組への関心はありますか。（1つに○）



持続可能な開発目標（SDGs）への関心については、「少し関心がある」との回答が40.7%で最も高くなっています。「とても関心がある」（18.5%）と、「少し関心がある」を合わせた「関心がある」は全体の59.2%で、「あまり関心がない」（22.7%）、「まったく関心がない」（6.2%）を合わせた「関心がない」は28.9%に比べ、高くなっています。

なお、今回新たに設けられた設問のため、前回調査との比較はしていません。

性別・年齢別に見た傾向

（単位：％）

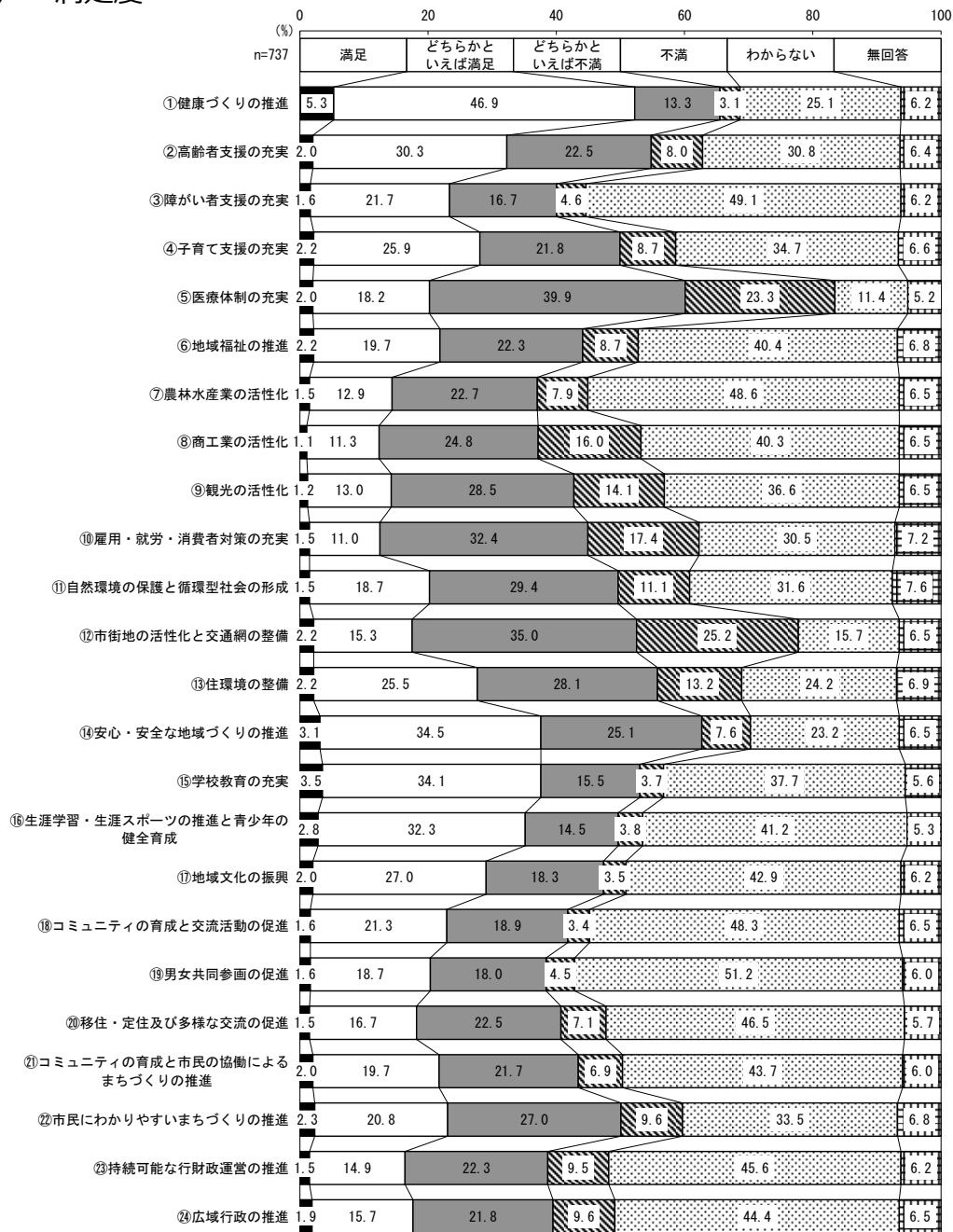
		回答者数 (n)	関心がある	関心がない	「SDGs」という言葉を聞いたことがない	無回答
全体		737	59.2	28.9	8.3	3.7
性別	男性	334	57.8	30.8	8.1	3.3
	女性	387	61.0	26.6	8.3	4.1
年齢	10・20歳代	60	60.0	33.3	5.0	1.7
	30歳代	71	50.7	40.8	7.0	1.4
	40歳代	116	62.1	31.9	2.6	3.4
	50歳代	117	70.9	22.2	4.3	2.6
	60歳代	177	63.3	27.1	7.3	2.3
	70歳以上	192	49.5	26.6	16.7	7.3

年齢別の50歳代では、「関心がある」が7割を超え、全体より高くなっています。一方、30歳代では、「関心がない」が4割を超え、全体よりも高くなっています。70歳以上では、「SDGs」という言葉を聞いたことがない」が1割を超えています。

7 まちづくりの評価について

問 43 以下の項目は、第2次匝瑳市総合計画前期基本計画で掲げている基本施策です。それぞれの施策について、あなたの満足度及び重要度をお聞かせください。

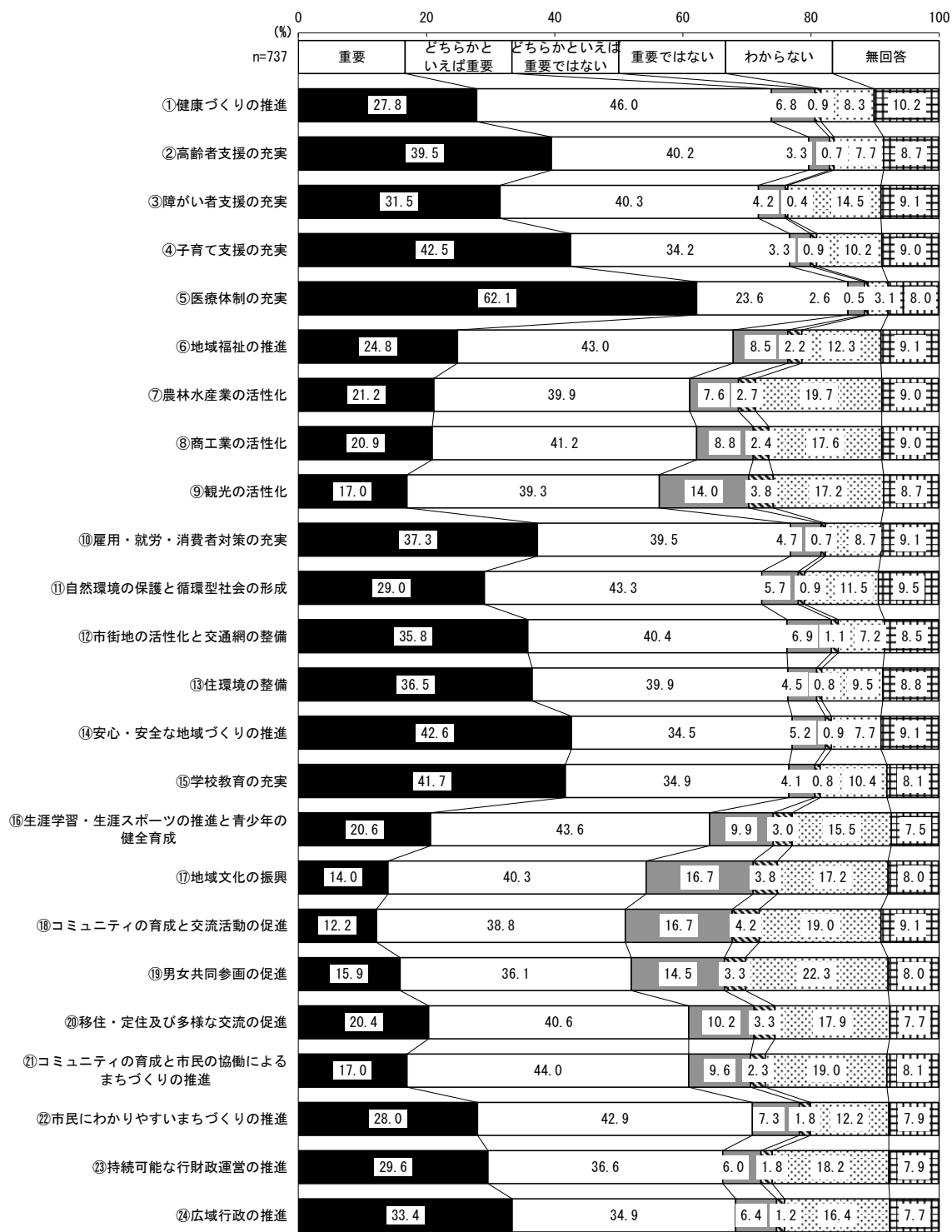
(1) 満足度



満足度については、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた「満足している」については、「①健康づくりの推進」が52.2%で最も高く、次いで「⑭安心・安全な地域づくり」と「⑮学校教育の充実」が同率で37.6%などとなっています。

これに対し、「不満」と「どちらかといえば不満」を合わせた「不満がある」については、「⑤医療体制の充実」が63.2%で最も高く、次いで「⑫市街地の活性化と交通網の整備」が60.2%、「⑩雇用・就労・消費者対策の充実」が49.8%などとなっています。

(2) 重要度



重要度については、「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた「重要である」については、「⑤医療体制の充実」が85.8%で最も高く、次いで「②高齢者支援の充実」が79.6%、「⑭安心・安全な地域づくりの推進」が77.1%などとなっています。

これに対し、「重要ではない」と「どちらかといえば重要ではない」を合わせた「重要でない」については、「⑱コミュニティの育成と交流活動の促進」が20.9%で最も高く、次いで「⑰地域文化の振興」が20.5%、「⑨観光の活性化」が17.8%などとなっています。

(3) 点数換算（平均値）

満足度及び重要度の回答を、以下の基準に基づき点数換算すると、以下のとおりとなります。なお、点数の差が付きにくいことから、小数点第3位を四捨五入した値を使用します。

■ 点数換算の基準

点数	満足度	重要度
2	満足	重要
1	どちらかといえば満足	どちらかといえば重要
0	わからない	わからない
-1	どちらかといえば不満	どちらかといえば重要ではない
-2	不満	重要ではない

■ 換算の結果（点数の高い順）

順位	満足度（平均値：-0.18）	点数	順位	重要度（平均値：0.94）	点数
1	①健康づくりの推進	0.41	1	⑤医療体制の充実	1.57
2	⑮学校教育の充実	0.19	2	②高齢者支援の充実	1.25
3	⑯生涯学習・生涯スポーツの推進と青少年の健全育成	0.17	2	④子育て支援の充実	1.25
4	⑰地域文化の振興	0.06	4	⑭安心・安全な地域づくりの推進	1.24
5	⑭安心・安全な地域づくりの推進	0.00	5	⑮学校教育の充実	1.22
6	③障がい者支援の充実	-0.01	6	⑩雇用・就労・消費者対策の充実	1.19
6	⑱コミュニティの育成と交流活動の促進	-0.01	7	⑬住環境の整備	1.17
8	②高齢者支援の充実	-0.04	8	⑫市街地の活性化と交通網の整備	1.13
9	⑰男女共同参画の促進	-0.05	9	③障がい者支援の充実	1.08
10	④子育て支援の充実	-0.10	10	⑪自然環境の保護と循環型社会の形成	1.04
11	⑳コミュニティの育成と市民の協働によるまちづくりの推進	-0.13	11	①健康づくりの推進	1.03
12	⑥地域福祉の推進	-0.17	12	⑲広域行政の推進	1.01
13	⑳移住・定住及び多様な交流の促進	-0.18	13	⑫市民にわかりやすいまちづくりの推進	0.95
14	㉒市民にわかりやすいまちづくりの推進	-0.22	14	㉓持続可能な行財政運営の推進	0.94
15	㉔広域行政の推進	-0.23	15	⑥地域福祉の推進	0.88
16	⑦農林水産業の活性化	-0.24	16	⑧商工業の活性化	0.76
17	㉓持続可能な行財政運営の推進	-0.25	16	⑦農林水産業の活性化	0.76
18	⑬住環境の整備	-0.26	18	⑯生涯学習・生涯スポーツの推進と青少年の健全育成	0.74
19	⑪自然環境の保護と循環型社会の形成	-0.32	19	㉒移住・定住及び多様な交流の促進	0.70
20	⑨観光の活性化	-0.44	20	㉑コミュニティの育成と市民の協働によるまちづくりの推進	0.69
21	⑧商工業の活性化	-0.46	21	⑨観光の活性化	0.57
22	⑩雇用・就労・消費者対策の充実	-0.57	22	⑰男女共同参画の促進	0.51
23	⑤医療体制の充実	-0.68	23	⑰地域文化の振興	0.48
24	⑫市街地の活性化と交通網の整備	-0.70	24	⑱コミュニティの育成と交流活動の促進	0.42

※四捨五入の関係上、同一の点数であったものは、満足度の6番目「③障がい者支援の充実」と「⑱コミュニティの育成と交流活動の促進」、重要度の「②高齢者支援の充実」「④子育て支援の充実」です。

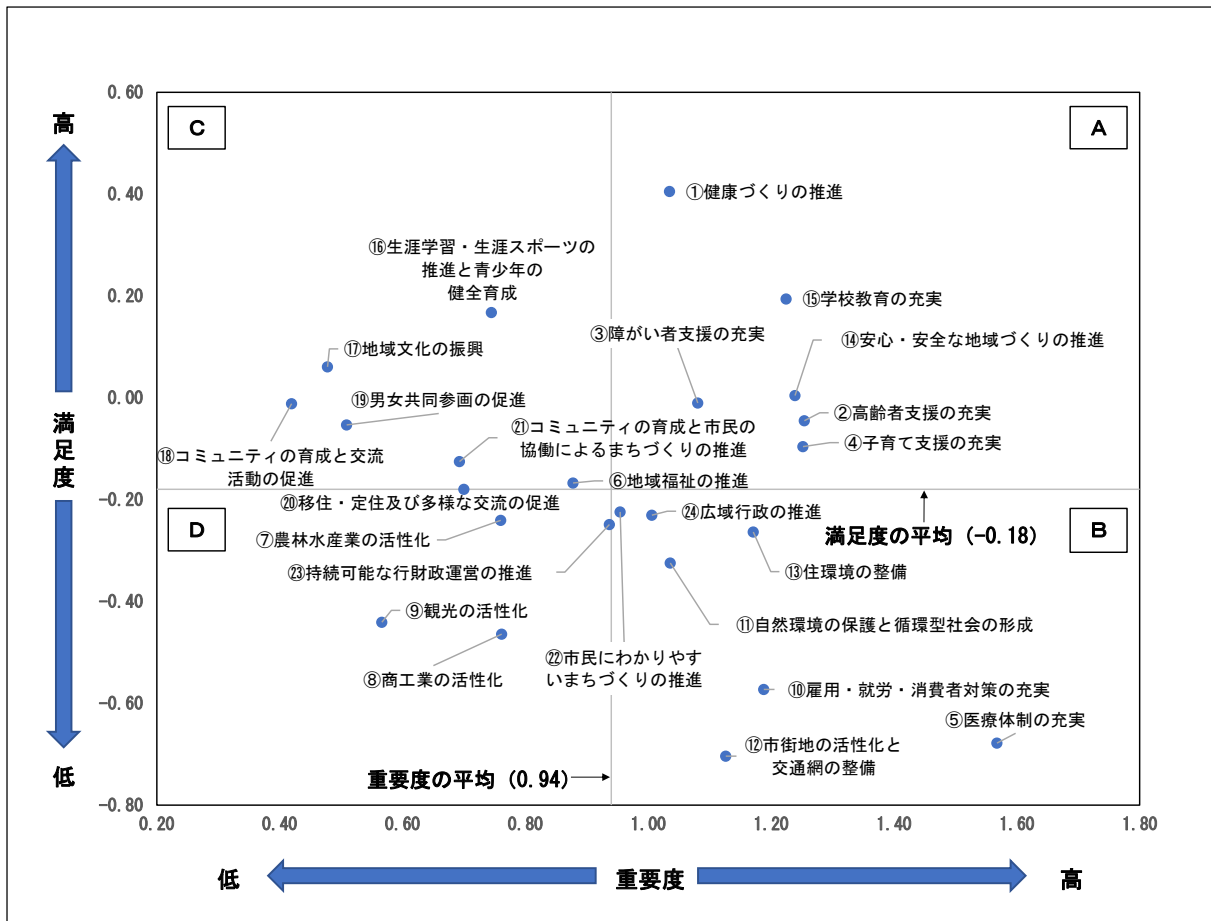
満足度が低い下位 10 項目と、重要度の高い上位 10 項目に共通している項目としては、

- ・⑤医療体制の充実 (満足度 23 位、重要度 1 位)
- ・⑩雇用・就労・消費者対策の充実 (満足度 22 位、重要度 6 位)
- ・⑫市街地の活性化と交通網の整備 (満足度 24 位、重要度 8 位)
- ・⑬住環境の整備 (満足度 18 位、重要度 7 位)
- ・⑪自然環境の保護と循環型社会の形成 (満足度 19 位、重要度 10 位)

が挙げられます。

重要度を横軸に、満足度を縦軸に取った散布図は以下のとおりです。

■満足度と重要度の散布図



この図においては、「A」の領域は各施策の平均値よりも満足度も重要度も高いことから、引き続き重点的に取り組むことが求められています。同様に「B」の領域は満足度が低く、重要度が高いことから特に優先度が高いと考えられます。

「C」の領域は満足度が高く、重要度は低いことから優先度はやや下がります。

「D」の領域は満足度も重要度も低く、優先度はBよりは低いものの改善が求められます。

満足度が平均より低く、かつ、重要度が平均より高いことを示す「B」の領域には、先に挙げた5項目と「⑳市民にわかりやすいまちづくりの推進」、「㉑広域行政の推進」の、あわせて7項目が挙げられ、これらの項目が今後の取組においては重要になります。

(4) 達成度による評価と施策の重要度

市民意識調査のうち、以下の各問による達成状況への評価を縦軸に、それに対応する施策の重要度について横軸に取った散布図は以下のとおりです。

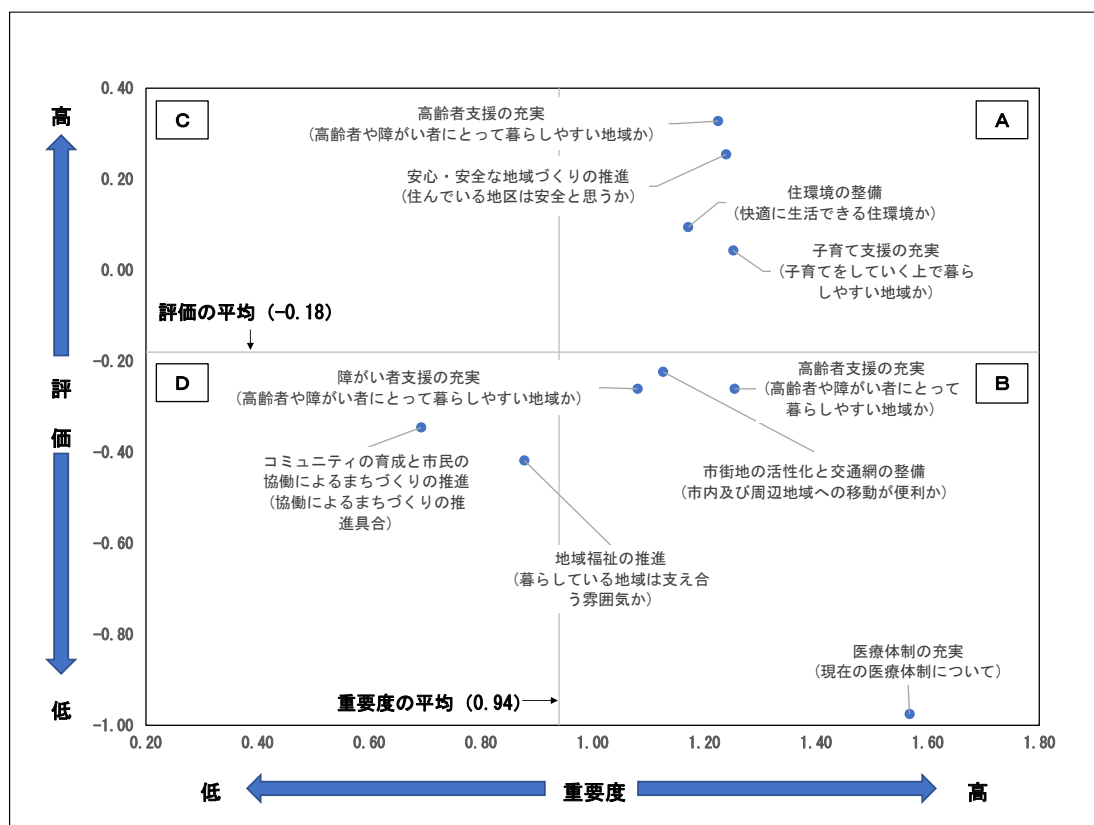
■達成状況への評価と施策の重要度の対照

達成状況への評価	重要度
問4 高齢者や障がい者にとって暮らしやすい地域か	②高齢者支援の充実
問4 高齢者や障がい者にとって暮らしやすい地域か	③障がい者支援の充実
問6 子育てをしていく上で暮らしやすい地域か	④子育て支援の充実
問8 暮らしている地域は支え合う雰囲気か	⑥地域福祉の推進
問9 現在の医療体制について	⑤医療体制の充実
問17 快適に生活できる住環境か	⑬住環境の整備
問19 住んでいる地区は安全と思うか	⑭安心・安全な地域づくりの推進
問21 市内及び周辺地域への移動が便利か	⑫市街地の活性化と交通網の整備
問25 子どもの教育について学校・家庭・地域と連携が 取れていると思うか	⑮学校教育の充実
問39 協働によるまちづくりの推進具合	⑰コミュニティの育成と市民の協働による まちづくりの推進

■点数換算の基準

点数	達成状況への評価	重要度
2	とても思う (とても感じている)	重要
1	ある程度思う (ある程度感じている)	どちらかといえば重要
0	わからない (設問により、ない場合もある)	わからない
-1	あまり思わない (あまり感じない)	どちらかといえば重要ではない
-2	思わない (感じない)	重要ではない

■達成状況への評価と重要度の散布図



この図においては、「A」の領域は各施策の平均値よりも評価も重要度も高いことから、引き続き重点的に取り組むことが求められています。同様に「B」の領域は評価が低く、重要度が高いことから特に優先度が高いと考えられます。「C」の領域は評価が高く、重要度は低いことから優先度はやや下がります。「D」の領域は評価も重要度も低く、優先度はBよりは低いものの改善が求められます。

評価が平均より低く、かつ、重要度が平均より高いことを示す「B」の領域には、「医療体制の整備」をはじめ「高齢者支援の充実」、「障がい者支援の充実」、「市街地の活性化と交通網の整備」が挙げられます。

第4章 その他・自由意見

第4章 その他・自由意見

※本章に掲載している自由意見については、個人の特定につながる内容、誹謗中傷、まちづくりに関する意見以外の記載を削除しております。また、明らかな誤字・脱字に対しては修正を施していますが、極力原文をそのまま掲載しております。

年齢	居住地区	性別	問3 健康のために行っていること
10・20歳代	共興地区	男性	サプリメント摂取。
30歳代	匝瑳地区	女性	断食。
30歳代	匝瑳地区	男性	定期健診。
50歳代	須賀地区	女性	休んでまで受診できない。
50歳代	豊栄地区	男性	散歩。
60歳代	須賀地区	男性	ゴルフ。
60歳代	吉田地区	女性	サプリメントの摂取。
60歳代	中央地区	女性	仕事をしている。
60歳代	吉田地区	男性	人間ドック。
70歳以上	共興地区	男性	浜に行く。
70歳以上	平和地区	女性	リハビリ、体操。
70歳以上	中央地区	男性	持病のため、定期的に通院。
70歳以上	平和地区	男性	適度な運動を断続的に行う。
70歳以上	吉田地区	女性	ガーデニング、ペット。
70歳以上	椿海地区	女性	自由な生活。
70歳以上	平和地区	女性	できる時は庭仕事をしている。

年齢	居住地区	性別	問5 市の高齢者や障がいのある方についての重要な施策
10・20歳代	椿海地区	男性	交通インフラの整備。
10・20歳代	中央地区	男性	高齢者のための公共交通機関の充実。
30歳代	椿海地区	女性	バスを増やしてください。
30歳代	豊栄地区	男性	(理解が必要) 健常者対象の勉強会。
30歳代	匝瑳地区	男性	スーパーの送りなど。
30歳代	須賀地区	女性	イオンモールのようなたくさんの施設が入った大型ショッピングモール(内科や眼科、生活用品などが1つのショッピングモールにあると移動しなくてすむので助かる)
30歳代	匝瑳地区	男性	立地にアップダウンが多く、買い物する場所も限られてるため、必ず車が必要になる。高齢になる両親がいるが、いつまでも運転ができるとは思えない。ネットショッピングを使うのも手だが、地域のお店から生活に必要なものを手に入れる手段が増えるといいと思う。
40歳代	匝瑳地区	男性	相談窓口の充実。
40歳代	須賀地区	男性	移動手段の充実。
40歳代	椿海地区	男性	住民の福祉に対する意識の向上。
40歳代	豊栄地区	女性	買い物などの送迎サービス。
40歳代	中央地区	男性	若年層や健常者に関心をもってもらえる環境整備、市民全体の問題と 感じ取れる様に、若年層、健常者、高齢者、障がい者が交流をとれる 環境や場所を増やす。 互いを分ける事が双方の問題を他人事にしてしまう。
40歳代	中央地区	男性	移動手段の確保。
40歳代	吉田地区	女性	交通手段の整備。
50歳代	豊栄地区	女性	移動手段、バスが少なすぎ。
50歳代	中央地区	-	移動手段の拡充。
50歳代	野田地区	男性	通院や買い物等に係る移動手段の整備。
50歳代	豊栄地区	男性	タクシーチケットを配布するなど、買い物や通院しやすい環境を作っ てあげるべき。

年齢	居住地区	性別	問5 市の高齢者や障がいのある方についての重要な施策
60歳代	豊和地区	女性	交通の利便性。
60歳代	栄地区	女性	(ゲートボールなど) 各地区にレクをする所がほしい。
60歳代	中央地区	男性	移動手段の充実(乗り合いタクシーなど)。
60歳代	中央地区	女性	環境整備、道の段差や草など。
60歳代	平和地区	男性	訪問診療の充実。
60歳代	豊栄地区	男性	医療施設の充実。
60歳代	共興地区	女性	介護保険外サービスの拡充。小、中、高生への活動紹介事業。
70歳以上	豊栄地区	男性	気がるにつどえる場所づくり。
70歳以上	栄地区	男性	通院等の交通。
-	-	-	在宅療養の家族には支援。

年齢	居住地区	性別	問7 市の子育て支援についての重要な取組
30歳代	須賀地区	女性	子育てには本当にお金がかかる。
30歳代	椿海地区	女性	中高生まで支援してください。
30歳代	豊栄地区	男性	保育の義務化、休業保障。
30歳代	栄地区	男性	クラブ活動支援拡充。
30歳代	中央地区	女性	発達相談などの充実
30歳代	匝瑳地区	男性	ここに書く事ではないかもしれないが、通学路の安全の確保をした方がいいと思う。狭い道路を自転車通勤している中学生をよく見かけるが危なくて仕方ない。歩道に草木が伸び放題で仕方なく道路側に出て歩いている小学生も見かける。子供が暮らしやすい街だとは正直思にくい。
30歳代	共興地区	男性	子育てに関わる商業施設の誘致。 ※ベビー用品や民間託児所等。
40歳代	椿海地区	男性	子育て世代全般への現金支援。
40歳代	共興地区	女性	公園をつくる。
40歳代	平和地区	女性	給食費無料。
40歳代	匝瑳地区	女性	遊具の多い公園を作る。
40歳代	椿海地区	男性	子供達だけで交流が行える児童館が欲しい。
40歳代	豊栄地区	女性	4、5、6才児の検診フォローが手薄。何もない。
40歳代	中央地区	男性	子育て支援(親の支援だけでなく、子供や同居する家族まで視野を広げる)問題点は、複数の事案が原因であるため、柔軟性のあるケアが必要
50歳代	豊栄地区	女性	若い人達にも住み良い市に！！
60歳代	豊和地区	女性	給食費等の補助。
60歳代	中央地区	女性	保育所各園に看護師1人必置。
60歳代	中央地区	男性	夜間救急外来の充実。
60歳代	野田地区	女性	通学時間、市バスの時間帯の悪さ。
60歳代	豊栄地区	男性	スポーツ、文化、教育施設の充実。
60歳代	共興地区	女性	保育、小、中、高連携のサポートシステム。
70歳以上	椿海地区	男性	保育所等で看護師を1人従事。
70歳以上	椿海地区	男性	小川の整備、生き物。
70歳以上	共興地区	女性	ほしくても子供がいない人もいます。

年齢	居住地区	性別	問10 市の地域医療についての重要な取組
30歳代	豊栄地区	男性	町医者が他の自治体と比べても人材が不足している。主に隣の市町村に通っている。
30歳代	須賀地区	女性	市民病院だけでなく、地域の診療所も老朽化がみられ清潔感をあまり感じられない。難しいと思うが新しく建て替えて欲しい。子育て家庭からすると産婦人科を増やしてほしい。
30歳代	豊栄地区	男性	夜間等は旭中央病院に行っています。どうしても市民病院には行く気がしない。

年齢	居住地区	性別	問 10 市の地域医療についての重要な取組
30 歳代	匝瑳地区	男性	糖尿病で通院しているが、現在近隣自治体の病院に通っている。市内では市民病院と九十九里病院で治療を受けられると思うが、どちらも素晴らしい医療を受けられる病院である反面、大きいけがや専門的な治療に使うイメージが強い為気軽に通院できる雰囲気ではないし、いつも混み過ぎていて通う時間を考えても近隣自治体の専門的なところに行った方が早い。大きい病院が2つあるせいで逆に掛かりつけになる医院が少ないように感じる。
40 歳代	匝瑳地区	男性	予防に対する周知。
40 歳代	野田地区	女性	優秀な医師を育てる。
40 歳代	椿海地区	男性	毎日やっている皮膚科があれば良いと思う。
40 歳代	豊栄地区	女性	救急時に旭中央まで行かなければならないのはものすごくタイムロス。
40 歳代	野田地区	女性	むやみに受診しない。
40 歳代	豊栄地区	男性	市民病院に小児科を設ける。
40 歳代	栄地区	男性	小児科が少ない。
60 歳代	須賀地区	男性	待ち時間長いのでは？
60 歳代	野田地区	男性	市民病院より、旭中央病院でかかりやすくしてほしい。
70 歳以上	共興地区	男性	(医師) 医療サービスの徹底。
70 歳以上	平和地区	男性	人間ドックの負担、市民病院以外の病院も。
70 歳以上	栄地区	女性	(回答項目中) 1～8まで全部です。
70 歳以上	豊和地区	女性	病院をきれいにして下さい。
70 歳以上	中央地区	男性	高齢者 75 才以上、1 割から 2 割は非常にきつい。

年齢	居住地区	性別	問 11-1 匝瑳市についての自慢したい内容
10・20 歳代	野田地区	女性	お魚が新鮮で本当に美味しい。
10・20 歳代	椿海地区	女性	映画の撮影地。
10・20 歳代	野田地区	女性	ハリキリ戦隊ソーサマンのチープさがいい意味で面白い。 子供の医療費がただなのは体育や部活動で運動量が多い学生には嬉しい。
30 歳代	平和地区	女性	植木の街。
30 歳代	豊栄地区	男性	災害が少ない。
40 歳代	中央地区	男性	難読地名東の横綱。
40 歳代	豊栄地区	女性	受給券で無料なこと。
40 歳代	中央地区	男性	植木と難読地名と気候。
40 歳代	中央地区	男性	首都圏を回避して地方へ行きやすい。 高速道路の利便性。
40 歳代	飯高地区	女性	飯高檀林。
50 歳代	須賀地区	男性	難字で読めないこと。
60 歳代	共興地区	女性	地域包括ケアシステムの取組構築。
70 歳以上	栄地区	男性	飯高檀林。
70 歳以上	豊栄地区	男性	植木の生産、販売について。
70 歳以上	平和地区	女性	近くにゴルフ場が多い。
70 歳以上	匝瑳地区	女性	生活させてもらっていることの感謝。

年齢	居住地区	性別	問 12 市の農林水産業振興についての重要な取組
30 歳代	椿海地区	女性	農業だけに力を入れないで。
30 歳代	豊栄地区	男性	兼業しやすい制度、環境整備。
30 歳代	豊和地区	女性	強みがなさすぎるため、近隣の市を視察した方がいいと思います。
30 歳代	匝瑳地区	女性	食の魅力、特産品開発はどこでもやっている。一見素晴らしい響きだが 100 年続くとはいえない。AI 化していくが結局日本人が好きなのは人情味ある安心できる場所。昔からある匝瑳市の伝統や、歴史をもう一度振り返るのも今後のアイデアにつながるかもしれない。

年齢	居住地区	性別	問 12 市の農林水産業振興についての重要な取組
30 歳代	匝瑳地区	男性	匝瑳市の特産品、観光って何がある？多古、横芝、山武、東金、茂原、成田、銚子と周りが強すぎて旭市同様消えている印象。さらに旭市に比べ大型商業施設も無い為匝瑳市に住んでいても他の市町村に行くことの方が多気がする。陸の孤島って感じ。
40 歳代	平和地区	女性	無農薬野菜、米、など。
40 歳代	椿海地区	男性	荒れたたんぼの整備。
40 歳代	中央地区	男性	他に産業として魅力がない、市内に事業者が多いだけで匝瑳市が衰退していく原因なのじゃないかと思っている。
40 歳代	椿海地区	男性	耕作放棄地の解消、飼料米の補助金上乘せ、有機農業者への助成。
50 歳代	中央地区	女性	回答項目の取組は恐らく過去にも行っていると思います。それが根付かない原因を考える事が先決だと思います。計画をし、施策をする事も大切ですが機能していないことを検証することも必要だと思います。
60 歳代	豊栄地区	男性	グローバル化。
70 歳以上	野田地区	男性	担い手のない農地が今後増加→対策。
70 歳以上	椿海地区	男性	無農業米作り。
70 歳以上	匝瑳地区	女性	何が重要か選べない。できることからやる。
70 歳以上	飯高地区	女性	休耕地対策。

年齢	居住地区	性別	問 14 市の商工業振興についての重要な取組
30 歳代	共興地区	女性	市外から良い企業を呼び仕事が増えると良いと思います。
30 歳代	椿海地区	女性	高齢者ばかりに力を入れてる気しかない、若者に目をむける。
30 歳代	豊栄地区	男性	ドラッグストアが多すぎる。296号入口付近に密集しすぎ。
30 歳代	栄地区	男性	商業拠点を分散し利便性を上げる。新たな拠点の開発と開拓。
30 歳代	豊和地区	女性	街中を祇園の時みたいに朝の8～11時頃まで通行止めにし、朝市のような感じにする。地域の物を使った食材の販売・物販また出店したい人は許可を申請する等して販売。
30 歳代	匝瑳地区	男性	正直カインズに行けば必要なものは一通り揃うし、足りないものはネットで買えばいいやと思ってる。商店街があるのは知っているが駐車場が狭くて行こうとは思えないし特に買うものも無い。お土産にするようなものは他市町村に買いに行ってしまう。新しいことをするより、今いる人を逃がさないような工夫をした方が結果的に人を呼べると思う。
30 歳代	豊栄地区	男性	優良企業の誘致はいいと思う。雇用が増え、移住も増える。
40 歳代	中央地区	男性	音楽、スポーツ用の大きいアリーナ。
40 歳代	椿海地区	女性	スタバ、ドトール等のカフェが必要。
40 歳代	平和地区	女性	田舎らしさを大切にしたい取組、逆開発。
40 歳代	椿海地区	男性	祇園祭の縮小。
40 歳代	中央地区	男性	若い世代に起業してもらいたい。
40 歳代	椿海地区	男性	商店街の再開発はあきらめ、銚子連絡道路のインター周辺の開発、都市計画に基づいた開発を推進すべき。
50 歳代	豊栄地区	女性	お店（大型店などを建てる）土地はいっぱいあるので。
50 歳代	中央地区	男性	現状維持。
50 歳代	中央地区	女性	高齢化が進むので交通手段のない方も買い物できる事が必要だと思います。
60 歳代	豊栄地区	女性	自然の回復も考え（海川、山林など）てほしい。
60 歳代	野田地区	男性	アクセスを良くする電動バスなど。
70 歳以上	椿海地区	男性	近・未来を見据えた取組を。市の中心的な工業振興に独自の計画と実行を。
70 歳以上	野田地区	男性	人口減少していくのにいくつもある大型店に品物が溢れ、売れ残っている。

年齢	居住地区	性別	問 16 市の重要な雇用対策
10・20 歳代	栄地区	男性	障がい者が働ける場所を作ってほしい。
30 歳代	共興地区	女性	給料を上げる。
30 歳代	椿海地区	女性	個人事業にも経済支援が必要。
30 歳代	豊和地区	女性	介護職の給料をあげてほしい。
30 歳代	共興地区	男性	若年層の市外流出を防ぐべく、雇用創出と子育て支援等を包括的に行うべき。
40 歳代	椿海地区	男性	市に魅力を感じないと人や企業が集まらなると考えますので、まずは土台をしっかり充実させての方が良いと思います。
40 歳代	平和地区	女性	市民の高齢化に伴う、介護従事者の賃上げ、安定化人材育成。
40 歳代	豊栄地区	女性	296 号沿いアップルの跡地辺りにユニクロとかスタバとか何かを誘致。
40 歳代	中央地区	男性	公共事業等の拡大と地元業者への発注を推進する事が市の雇用対策の カテゴリーに入ってる状態から脱却することが大事！ 公共事業業者のチカラが育たない。他市の事業者の方が市を良くして くれる可能性も視野にいれるべき
40 歳代	椿海地区	男性	空き店舗活用補助金の拡充、持続的な創業支援。
50 歳代	須賀地区	女性	新期の参入業者を優先して受け入れる。衣食住や企業が充実していなければ 匠瑤の未来はない。
60 歳代	豊栄地区	男性	農業ばかりで他に働く所が無いのだから他のまちに行ってしまう。働く 所が有っても給料が安い市役所職員の給料は高すぎなので減らすべ きです。
70 歳以上	椿海地区	男性	匠瑤市で働きたいと思わせる企業や、アイデアに魅力溢れる市政の 創出と支援。

年齢	居住地区	性別	問 18 住みやすい住環境
30 歳代	匠瑤地区	-	ゴミを日中燃やさない環境。
40 歳代	中央地区	男性	便利ではなくて良いが不便ではないこと。
50 歳代	須賀地区	女性	まわりを見てください。となり町の方がよっぽど頑張っている。
50 歳代	豊和地区	男性	税が安い。
50 歳代	豊栄地区	女性	交通、お店。
60 歳代	野田地区	女性	医療関係の充実。
60 歳代	豊栄地区	男性	色々な役が多すぎる。
70 歳以上	飯高地区	女性	中心から離れた地区からの移動が便利になること。

年齢	居住地区	性別	問 20 市の安全なまちづくりについての重要な取組
30 歳代	椿海地区	女性	旭市と合併が 1 番重要。野焼きやめさせてください。
30 歳代	栄地区	女性	高齢者、障がい児、障がい者など弱者の災害時の早めの避難所の確保 や運営を行うこと。今の福祉避難所のシステムでは、移動を何度か行 ったり、受け入れ先がない時もあったり、介助者が必要だったりとス ムーズに行かないので災害時こそスムーズに行くような方法を考え、 連携を強化して体制を作っておいて欲しい。
30 歳代	栄地区	男性	安全な通学路、中、大型車速度等取締り。
40 歳代	豊栄地区	男性	防災無線が途切れ途切れでしか聴こえないため、きちんと届くように していただきたい。
40 歳代	中央地区	男性	道路の冠水が酷い。道路が草ぼうぼうで景観も見通しも悪い。汚い街 は犯罪発生も多い。
40 歳代	豊栄地区	男性	台風等で避難所を開設しても、匠瑤市は近隣の市町村と比べても対応 が悪かったと利用した市民から聞きました。市役所職員の意識の低さ を何とかしないと有事の時にも市民は困ると思います。
60 歳代	野田地区	女性	現実的な防災訓練。防犯カメラ設置。
60 歳代	豊栄地区	男性	防犯カメラ設置の充実。警察官の巡回の充実増員体制づくり。
60 歳代	平和地区	男性	防犯カメラの取付。
70 歳以上	椿海地区	女性	ミサイルから避難する地下施設がない。

年齢	居住地区	性別	問 20 市の安全なまちづくりについての重要な取組
70 歳以上	椿海地区	男性	断片的なものではなく、総合的な立場からのプランと実行を。
70 歳以上	野田地区	男性	農村部に防犯灯や信号も少ない。そうした物の充実も必要。

年齢	居住地区	性別	問 21-1 移動が不便と思う理由
10・20 歳代	平和地区	男性	ミラーがほしい所に無い。
10・20 歳代	匝瑳地区	男性	電車が 1 時間に 1 本くらいのペースなため。
30 歳代	椿海地区	女性	バス少なすぎ。
30 歳代	豊栄地区	男性	自転車や 50cc バイクが危ない。
30 歳代	匝瑳地区	男性	メイン通りが 1 本しかないので渋滞がひどい。
40 歳代	椿海地区	女性	幹線道路に交通が集中してしまい渋滞が多い。
50 歳代	須賀地区	女性	全てだ。
50 歳代	吉田地区	男性	遠い。
50 歳代	椿海地区	男性	車が無いと買い物にも行けない。高齢になって車が運転できなくなった時にここには住めないと思う。
60 歳代	匝瑳地区	女性	買い物に不便。
60 歳代	野田地区	男性	近くにスーパーがない。
60 歳代	豊栄地区	男性	ひとり暮らしの老人が多いので買物に行くのもできない。タクシーとかもっと利用できる様にしてほしいです。スーパーなど来てくれればいい。
70 歳以上	共興地区	女性	道絡の草刈り。
70 歳以上	中央地区	男性	高齢者の移動の利便性。
70 歳以上	須賀地区	女性	車運転できない人には、とても不便。

年齢	居住地区	性別	問 22 普段の移動手段
30 歳代	栄地区	女性	福祉サービス。
30 歳代	豊栄地区	男性	高速バス。
60 歳代	平和地区	男性	介護タクシー。
60 歳代	豊栄地区	男性	高齢者の事故が多いので買物するにも車を使わない方法を考えて実行して下さい。
70 歳以上	中央地区	男性	シニアカー。
70 歳以上	平和地区	女性	今後免許返納後不安有り。

年齢	居住地区	性別	問 24 市の環境保全についての重要な取組
10・20 歳代	共興地区	男性	野焼きに対する積極的な指導・監督。
30 歳代	椿海地区	女性	野焼きやめるのが 1 番。
30 歳代	中央地区	男性	小、中学校での教育。
30 歳代	匝瑳地区	女性	海外では町や海辺の至る所にゴミ箱が設置されている。その回収をする事で雇用も増えるし、ポイ捨ては減る。ポイ捨てはしないけどコンビニにはこっそり捨てる人は山ほどいる。10 円でも入れないと回収してくれないゴミ箱でも町中に作って見たら？払ってでも捨てていきたい人は多いはず。 脱炭素社会と日本は騒いでいるが、企業の金儲けでしかなく根本は解決されない。
30 歳代	共興地区	男性	行政による道路の美化活動をしているところを見たことがない。 ※除草や倒木等の処理など、やっても保全会の活動の一環で市民がやっているレベル。
40 歳代	豊栄地区	女性	メガソーラーの制限。むしろ禁止。
50 歳代	平和地区	女性	ある場所のゴミのポイ捨てがひどい。なくす方法を。
60 歳代	中央地区	男性	家庭ごみ処理代を安く。
60 歳代	共興地区	女性	空き地、荒れ地の有効活用整備。
70 歳以上	中央地区	男性	野焼きを禁止させる。
70 歳以上	平和地区	男性	道路にゴミをすてる人が多い。

年齢	居住地区	性別	問27 小・中学校運営についての重要な取組
10・20歳代	共興地区	女性	いじめをなくす。
10・20歳代	共興地区	男性	いじめ問題にかかる取組を一層強化する。
30歳代	須賀地区	女性	先生たちが残業しすぎだと思う。先生が疲れていると子供たちの勉強、教育に支障がでないか心配。
30歳代	椿海地区	女性	田舎なのに規則がありすぎて、今の時代にふさわしくないよ。子供達がかわいそう。
30歳代	豊栄地区	男性	PTAはその都度参加者を募り、集まった人数でできる範囲の活動をする。
30歳代	豊栄地区	女性	ネイティブスピーカーを招いた英語、中国語等の語学教育は人材育成の上でも必要。また、学校に行くことができない不登校の子供たちが集い学べる場所の充実を図ることもお願いしたい。
40歳代	平和地区	男性	人員、予算の確保。
40歳代	中央地区	女性	部活動に専門講師の活用。学校の先生の負担軽減できると思う。
40歳代	中央地区	男性	多角的な教育と多様性を理解した指導、汎用性が高い柔軟な発想を持てる育成を考え実行する。
40歳代	豊和地区	男性	不登校の子供に対応する専門的、機関の充実。メタバースなどの導入。
50歳代	平和地区	女性	いじめのない、差別のない町にする為体制強化。学校には任せられない。
50歳代	共興地区	男性	通学路の確保。
60歳代	野田地区	女性	教職員の尊厳。
60歳代	野田地区	女性	一般社会で働いた経験のある教員を採用する。
60歳代	豊栄地区	男性	先生が子供の面倒をまめに見ない。例えば勉強でも放課後残ってすることが無い。これ以上は無理なんで塾に行けと言われる。全くやる気が無い。
70歳以上	栄地区	男性	教室へのエアコン設置。
70歳以上	須賀地区	男性	教職員の意識改革、校長、教頭、教育委員会も含む。

年齢	居住地区	性別	問32 市の人権問題についての重要な取組
30歳代	共興地区	女性	加害者へ何らかのペナルティをする。
30歳代	椿海地区	女性	自分で考える。
30歳代	匝瑳地区	男性	外国人との関係。
40歳代	豊栄地区	女性	他所者扱いと意識の改善。
40歳代	豊栄地区	男性	加害者に対するカウンセリングや指導。
40歳代	栄地区	男性	項目すべてが必要だと思う。
50歳代	飯高地区	女性	老人が知らない人を受け入れない状態の打破。

年齢	居住地区	性別	問34-1 住み続けたい理由
30歳代	野田地区	男性	持家がある。
30歳代	栄地区	女性	ずっと今まで住んでいるから。
40歳代	平和地区	女性	自給自足をしたいから。
40歳代	野田地区	女性	持家なので。
40歳代	中央地区	男性	事業をやっているから。
50歳代	豊栄地区	男性	持家があるから。
50歳代	匝瑳地区	男性	先祖伝来の資産を守らないといけないため。
50歳代	豊栄地区	男性	持家があるため。
50歳代	中央地区	女性	家を買ったから。
60歳代	平和地区	女性	年だから！
60歳代	平和地区	男性	現状維持。
60歳代	中央地区	男性	他地域に移転出来ないため。先祖からの土地。
60歳代	野田地区	女性	持家だから。

年齢	居住地区	性別	問 34-1 住み続けたい理由
60 歳代	須賀地区	男性	家があるから。
60 歳代	野田地区	男性	他にいく所がないから。
60 歳代	豊和地区	男性	昔から住んでいるので。
60 歳代	豊栄地区	男性	近くに親類がいるから。
60 歳代	豊和地区	女性	家があるから。
60 歳代	野田地区	男性	今までずっと住んできたから
70 歳以上	豊栄地区	男性	生まれ育った所だから。
70 歳以上	須賀地区	女性	自宅が持家なので…。
70 歳以上	栄地区	男性	他にいく所がない。
70 歳以上	匝瑳地区	女性	嫁いで来て、いまさら実家に戻るわけにもいかず、お金もないのでここで一生住むと思う。
70 歳以上	中央地区	男性	自宅があるから。
70 歳以上	中央地区	女性	子ども達が帰省して来る場所として守りたいから。
70 歳以上	共興地区	女性	生まれそだった市だから。
70 歳以上	中央地区	男性	高齢のため。
70 歳以上	野田地区	男性	生まれ育った地。

年齢	居住地区	性別	問 34-2 住み続けたくない理由
10・20 歳代	野田地区	女性	人が少ない町だと、プライバシーだだもれだから、干渉されたくない。
10・20 歳代	野田地区	女性	賃金が安い。
10・20 歳代	野田地区	女性	他に住みたい場所があるから。
30 歳代	豊栄地区	男性	税金が高い。
30 歳代	匝瑳地区	—	ゴミを日中でも燃やして咳が出るし、洗濯物が臭い。
30 歳代	椿海地区	女性	過疎ってきてるから。
30 歳代	栄地区	男性	財政難。
30 歳代	匝瑳地区	男性	地元と比べてしまうと住みづらいし娯楽も少なすぎる。
40 歳代	平和地区	男性	仕事上住むしかないから居るだけ。
50 歳代	豊栄地区	女性	働く環境が良くない。
50 歳代	平和地区	女性	高齢になった時不便。
60 歳代	野田地区	女性	家畜臭がいやだ！
60 歳代	野田地区	女性	生まれ育った場所がよい。
60 歳代	平和地区	男性	交通が不便。
60 歳代	共興地区	女性	親の介護のため実家にはいる。
70 歳以上	共興地区	男性	税金が高い。人口の割に議員の数が多過ぎると思う。

年齢	居住地区	性別	問 35 市の人口減少に歯止めをかけるための施策
10・20 歳代	平和地区	男性	旭市のようなオムツ券など。
10・20 歳代	共興地区	女性	共興地区にはコンビニ等がないので欲しい。あと街灯も少ないので夜が危ない。
10・20 歳代	椿海地区	女性	観光できる場所や興味を引くような商業施設などの建設。
10・20 歳代	共興地区	女性	賃金の値上げ。
30 歳代	共興地区	女性	給料を上げる。
30 歳代	中央地区	男性	起業支援（誘致）、匝瑳市の顔の企業を創る。
30 歳代	椿海地区	女性	税金を安くしてほしい。
30 歳代	栄地区	女性	今住んでいる人達にも色々な支援やサービスなどがあると良い。（住みやすくするため）。
30 歳代	栄地区	男性	市街地以外の利便性向上、分散での快適性向上。
30 歳代	豊栄地区	男性	何もかもが中途半端に感じる。
30 歳代	須賀地区	女性	新しい施設（イオンモールのような大型ショッピングモールや医療施設など）を増やしてほしい。

年齢	居住地区	性別	問 35 市の人口減少に歯止めをかけるための施策
30 歳代	匝瑳地区	男性	企業の誘致。
40 歳代	中央地区	男性	知名度を上げる。
40 歳代	椿海地区	女性	マッチングの場、匝瑳市上のホームページアプリなど。
40 歳代	匝瑳地区	男性	マリンスポーツ、スケボーの施設。
40 歳代	平和地区	女性	男性の賃上げ給与、男が家族を養えるだけの稼ぎができるようにする。そうしないと女が母業教育などへ時間を回せない。母が家庭を守れないと良い人材が育たない！
40 歳代	野田地区	女性	医療を向上させる。
40 歳代	椿海地区	女性	不妊治療の助成金。
40 歳代	野田地区	女性	医療・福祉サービスの充実。
40 歳代	椿海地区	男性	市役所のしがらみをとっばらい若者の意見を取り入れる。行政が主体となりメディアに市を宣伝する。
40 歳代	栄地区	女性	旭市と一緒にできれば良い。旭市になるということ。
40 歳代	中央地区	女性	子供達の育成のための支援。
40 歳代	豊栄地区	男性	商業施設の拡充、工業団地への誘致。
40 歳代	中央地区	男性	全部やる以外ない！複合的な問題を単一の事案で解決する事は不可能。プラスアルファが必要なくらいだと思います。とにかく道路沿いが汚い。 市内を通過するドライバーがこんな汚い街に引っ越そうと思うだろうか？少ない予算と手間とマンパワーで解決できる問題です。
50 歳代	豊和地区	女性	商業施設増加。
50 歳代	平和地区	女性	若い人が好む店を増やす。
50 歳代	飯高地区	男性	全市民の医療費の負担軽減。
50 歳代	椿海地区	男性	高齢者が住みやすい町。
60 歳代	匝瑳地区	女性	税金が高い。
60 歳代	中央地区	男性	活気が無い、魅力が無い。
60 歳代	豊栄地区	男性	空家が多いので移住させる。そして働く所を市で斡旋する。後は市職員の削減！職員の数が多すぎる。
60 歳代	豊栄地区	女性	まちおこしの体制作り。
70 歳以上	椿海地区	男性	新しい産業への取組、横断的に。
70 歳以上	椿海地区	男性	小川の再生。
70 歳以上	共興地区	男性	市民税など多過ぎ。人口を増やす取組。

年齢	居住地区	性別	問 40 市の手続きや問合せで不都合を感じたこと
10・20 歳代	中央地区	女性	電話対応が悪かった！
10・20 歳代	匝瑳地区	-	感じが悪い。
10・20 歳代	平和地区	男性	匝瑳市役所の無愛想な対応。
10・20 歳代	野田地区	男性	電話対応が悪い。
10・20 歳代	共興地区	女性	市役所の職員の対応が良くない。マイナンバー申請など平日に立ち寄れない人への配慮がたりない。効率が悪い。
30 歳代	豊栄地区	男性	市民課の態度が悪い。
30 歳代	匝瑳地区	-	市役所の方が理解してない事があり手続きに時間かかる。
30 歳代	豊栄地区	男性	コンビニでもっと児童手当用の書類などが手に入るようにしてもらいたい。
30 歳代	中央地区	男性	平日に仕事を休まないと手続きができない事。
30 歳代	匝瑳地区	女性	対応に不満を感じた。
30 歳代	栄地区	女性	その年の市役所の担当で親切にしてくれる人と不親切との差が大きすぎる。
30 歳代	栄地区	男性	一部の職員の対応が悪い（横柄な態度）。
30 歳代	平和地区	女性	マイナンバーカード登録時の受付の方の態度が非常に悪かった。
40 歳代	椿海地区	男性	土日祝日がやっていない。

年齢	居住地区	性別	問 40 市の手続きや問合せで不都合を感じたこと
40 歳代	野田地区	男性	突然、怒鳴る職員にあたり、不快に感じた。(保健センター事務)。
40 歳代	栄地区	女性	税務課の人の態度が悪い!
40 歳代	吉田地区	女性	オンラインで手続きが出来ないこと。
50 歳代	須賀地区	女性	市の職員は、対応悪すぎ。
50 歳代	-	女性	職員の態度が悪かった。
50 歳代	豊栄地区	女性	電話対応が悪い!
50 歳代	椿海地区	男性	ワクチン時(コロナ)。
50 歳代	中央地区	男性	制度チラシ(ワクチン接種)がわかりにくかった。
50 歳代	豊栄地区	男性	一部だと思いたい、職員の態度が横柄、不親切。
60 歳代	野田地区	男性	私道の整備。
60 歳代	豊和地区	女性	最初の介護手続きの時対応がよくなかった。
60 歳代	野田地区	女性	窓口の対応が悪い(知識不足)。
60 歳代	吉田地区	男性	職員の業務知識不足。
60 歳代	豊和地区	女性	説明が不十分。
60 歳代	野田地区	女性	説明がわからなかった。
60 歳代	野田地区	女性	支所を利用しているので係の方がすぐに対応してくれる。
60 歳代	豊栄地区	男性	市役所職員が案内をしてくれない。困って居る人を見ても知らんふりだから職員の数を減らすべきです。
70 歳以上	栄地区	男性	この数年は手続きに不都合を感じない。
70 歳以上	野田地区	男性	問い合わせでいやな顔をする。
70 歳以上	飯高地区	女性	手続きがあまりない。
70 歳以上	共興地区	女性	代筆をしていただきたいです。
70 歳以上	野田地区	男性	自分でできない。
70 歳以上	共興地区	男性	1回ですむ書類なのにもかかわらず何回も通った。
70 歳以上	須賀地区	女性	無駄が多い。

年齢	居住地区	性別	問 41 市の行財政改革についての重要な取組
40 歳代	平和地区	女性	今のままでいい。
40 歳代	平和地区	女性	職員の態度、接遇の改善。
40 歳代	豊栄地区	女性	ふるさと納税してもらおう。匝瑳の舞とか、市民が匝りの里で買えないと宣伝する気無さ過ぎ。
60 歳代	野田地区	女性	市議の数を減らす。
60 歳代	平和地区	男性	人対人。
60 歳代	野田地区	女性	横断的に職員を活用する。
60 歳代	豊栄地区	男性	庁舎の建替。
70 歳以上	豊栄地区	男性	議員定数減。
70 歳以上	平和地区	女性	市議会議員の定数削減。

年齢	居住地区	性別	問 44 まちづくりに関する意見・提案
10・20 歳代	共興地区	男性	八日市場駅南側にも改札口を作って下さい。
10・20 歳代	栄地区	女性	若い人が行ける店を増やしてほしい。
10・20 歳代	椿海地区	女性	高齢者が多く住んでのに、全然高齢者のことを考えていない気がします。市役所の方は埼玉県比企郡鳩山町へ視察へ行って勉強して来て広報紙で報告して下さい。とても住みやすい所だと思います。若者が匝瑳市には少ないのだから、SNSなど活用してドンドンPRして移住者を増す努力をして下さい。観光・移住・医療・福祉、すべてがイマイチな匝瑳、どうかして下さい。
10・20 歳代	椿海地区	男性	子育て、老人以外に高校大学生もお金がかかるし大変です。不公平です。駅が混む、狭い、危ない、駐輪場高い、駅前に何も無い。駅前周辺、整備してほしいです。

年齢	居住地区	性別	問 44 まちづくりに関する意見・提案
10・20 歳代	野田地区	女性	これから結婚、出産を考えている世代としては、子育て世帯が多くいて周囲が理解し合える場所に住んで育てたいと思います。子どもは市で育てるくらいの勢いがないとどんどん離れていくし、人口も減る。結局、そこに魅力がないとなって思います。この日本の社会で子どもなんて産んでも大変なだけってイメージが強いからこそ、そこを匝瑳市の強みにすれば、戻ってくる人も移住する人も増えるんじゃないかなあと思います。私もその1人です。
10・20 歳代	須賀地区	男性	市民病院の強化、診療科目を増やしてほしい。
10・20 歳代	栄地区	男性	障がい者でも生活できる住みやすい町にしてほしい。
10・20 歳代	須賀地区	女性	子どもが生まれる前、後の援助をもう少ししていただくと助かります。平日遊べる所はあっても、雨の日の休日の遊べる場所があるといいなと思います。
10・20 歳代	匝瑳地区	-	LGBTQ に関する相談所や講演を増やして欲しいです。1人でも多くの人の理解が得られるようになると、少しでも生活しやすくなると思います。
10・20 歳代	平和地区	男性	・特に良い所があるのかと聞かれても“パツとしない”。 ・このアンケートをとったところでと言う感じ。 ・市役所職員の対応をなんとかしてほしい（上から目線にがっかりする）。
10・20 歳代	吉田地区	女性	若者が集まれる施設を増やすこと。子育て支援の強化をもっとして欲しい（子連れで行ける場所増やすなど）。今のままの市では、実家が無ければあまり住もうとは思わない面が多い。夜間の子どもへの医療体制も強化して欲しい。
10・20 歳代	須賀地区	男性	旭市に比べても若い人が前に出てくるように、変えてほしいです。
10・20 歳代	豊和地区	男性	お金配って下さい。
10・20 歳代	中央地区	男性	10代です。市議会議員の方年配過ぎませんか？きっと今の10代とは話が全く合わないと思います。考えてることも全く違うと思います。SNS時代。理解活用できる方はいるのでしょうか？まちづくりには新しい、そして革新的な考えが必要だと思います。そのためには、一定の年齢制限や退職制度が必要だと思います。大人数いればいいものではなく、有能な方がいれば成り立つと思います。もっと人数制限をして、先鋭化すべきです。今は映画やドラマのロケ地などで町おこしをして成功しているところもあります。匝りの里、公園、チューリップ祭りはどれも中途半端です。どうせならもっと人や話題が取れるくらいのものを作るべきです。
10・20 歳代	野田地区	女性	移動スーパーが来てくれると、高齢者や子育て世代も助かります。
10・20 歳代	共興地区	女性	八日市場駅からの電車とバスの時間が少ない。ディズニーに行ってパレードを見てたら電車がなくて帰れなかったのを覚えている。共興地区は本当に街灯が少ない。コンビニもない。でも自然は豊かで静かなところはとても好き。 急なカーブのところで車が停車していたりするケースも多い。 専門学校の奨学金制度ももう少し額や幅広い資格等で考えてほしい。
10・20 歳代	野田地区	男性	匝瑳市を良くするためには、まず市長を変えた方がいいと思う。
10・20 歳代	匝瑳地区	男性	子育て支援、結婚したいという若者が減ってきているので、結婚して経済的に問題なく人生を歩んでいけるような社会になってほしいです。
10・20 歳代	野田地区	女性	バスの本数をもっと増やして欲しいです！学校の行きと帰りに駅までの間のバスを利用するのですが本数が少ない上に時間を潰す場所が八日市場駅前のマックしかないので困っています！
10・20 歳代	共興地区	女性	高齢者支援より子育て支援、出産に対する支援の充実。

年齢	居住地区	性別	問 44 まちづくりに関する意見・提案
10・20 歳代	平和地区	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・オムツ券、ミルク券等の導入による、子育て支援の拡充。 ・大きい公園だけでなく、小さな公園の整備。 ・大型商業施設の建設。 ・銚子連絡道路の早期完成&片側2車線化。
30 歳代	栄地区	女性	学校の冷暖房設備をもっと活用してほしい。使用料がかかりすぎるから「節約」といって設備がないのと同じ状況で過ごしているようである(中学校)。「職員室だけ快適」に生徒は不満だ。市内の高校に通うためにスクールバスがあると、ありがたい。
30 歳代	平和地区	女性	旭市のように市民が安く利用できるスポーツジムがあればいいと思います。ガン検診は毎年受けさせていただいてありがたいので、これからも続いてほしいです。
30 歳代	共興地区	女性	子育て支援が近隣の市町村に比べ整っていないと思います。
30 歳代	須賀地区	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・市内循環バスはあんなに大きくなくてもいいのではと思います(ハイエースみたいなので十分なのでは?)。 ・県道30号線(海沿いの)のゴミが酷いです。車から投げ捨てられたようで、バラバラに道路に散乱しているをよく見かけます。 ・高齢者ばかり優遇されて、働きざかり(20代~40代)が苦悩しています。もう少し若者にも優しい政策をしてほしいです。税金ばっか取られて、高齢者には過干渉されて、住みたくなくなる気持ちもわかって、近所付き合いとか若者には面倒なだけです。ストレス溜まります。 ・ワクチンのオンライン予約はとても助かりました。ありがとうございます。新しい取組を柔軟に取り入れてほしいです。
30 歳代	豊栄地区	男性	私の家庭では来年に子どもが増えるが、他の市町村に比べて圧倒的に子育て支援制度が悪い。家を建てて失敗したと思うくらい生活が苦しい。早めの改善をお願いします。
30 歳代	豊栄地区	男性	調査を実施するにあたり、実施者は少なからず時間を割いている為、実施した者に対し、何らかの報酬があってもいいと思う。でないとお金を掛けて調査を実施しているのに、市民からの調査率が低く、市民からの正確な意見が調査できないのでは?
30 歳代	中央地区	男性	子育てしやすい市になってほしいです。近隣の市と比べるとあまり魅力を感じにくいと思います。
30 歳代	須賀地区	女性	高齢者の運転が目立つ。ぶつけられそうになったこともあるので… …。高齢者が運転しなくてもよくなるようにしてほしい。 他の市町村は物価高クーポンの金額が多かった……。もっと子どもの成長に必要な支援をしてほしい。
30 歳代	匝瑳地区	-	若い人が市外へ行ってしまうのは、市外の方が子育てにおいて様々な支援があるからだと思う。例えば旭市では、インフルエンザ予防接種が小学2年まで1人1,000円支援があったり、オムツ券がある。匝瑳市には市独自のそういう支援がない。そしてほぼ毎日ゴミを燃やしている家があり、煙で咳が出る。時間帯を決める等してほしい。燃やしていない人にとってはとても腹立たしい。
30 歳代	中央地区	男性	市長の考えがわかりにくい。Facebookはどちらかというとクローズドなメディアなので、Twitterで情報発信してくれたらうれしい。
30 歳代	椿海地区	女性	若い世代を大事にした方が良いかと。高齢者より大事にしないと匝瑳市の人口は減るっぽうだと思いますよ。
30 歳代	豊栄地区	男性	匝瑳市もゼロカーボンシティを宣言しているが具体的な対策が全く見えない。最もゼロカーボンな自転車移動をもっと推進するべき。言葉だけではダメで、購入補助、継続的な通勤費上乘せで、二輪車道路、駐輪場整備。大人が自転車に乗るのは恥ずかしいという意見がある。みんなが乗るようになれば気にならない。市役所などで呼びかける側が積極的に姿勢を示すべき。

年齢	居住地区	性別	問 44 まちづくりに関する意見・提案
30 歳代	中央地区	男性	人口減少は防げないので、その場しのぎの移住、定住対策などではなく、20～30 年後を見すえて市民向けの施策を考えてほしい。大切なのは、都市計画。人口密度を維持していかないと都市機能は維持できない。今は用途地域などを無視して、土地の安い地域に無秩序に住宅が広がっているが、まとまって住むことがこれからは大切だと思う（それぞれが好きな所に住むと、インフラ、防災費等金がかかり過ぎる）。立地適正化計画も必要なのでは？（なお、定住・移住支援を行うのであれば、せめて住居型の用途地域に住むことを条件に補助してほしい）議員にとっては、自分の地域が大切だろうから、居住誘導等は反対するだろうか。市全体で考えたら、今決断しなくてはならないと思う。
30 歳代	栄地区	女性	道路の整備を行ってほしい。126 号は綺麗な道ですが、296 号、296 号入口から南下の野菜方面の道、飯倉駅から南下の道がとても段差も多すぎて、ボコボコしています。296 号などは成田方面に行く主要道路ですが 126 号と比べ、とても道が悪いです。飯倉駅より南下の道は高速工事のため掘り返してあるところがすごくガタガタです。福祉車両で通る車も多く道が悪いと車いすで乗る人や、高齢者や障がいの人には、すごく車が揺れ、体への負担が大きくなり困っている人が多くいます。車いす固定のベルトもゆるむ程揺れる所も多いです。その為ゆっくり行くと後ろの車にあおられて余計に危ないです。大きい道のみでも直していただけると健康な人も通行しやすいと思います。
30 歳代	中央地区	男性	結婚する人が少なくなり、少子化になって行き、若者も少なくなって行き、先行き不安です。1 人っ子なので親の介護も不安です。素晴らしい匠瑛市にしてほしいです。
30 歳代	匠瑛地区	男性	問の（2 つまで○）、（3 つまで○）は統一したほうがわかりやすい。（2 つまで○）の方はあまり重要視していない。聞く気がない問のように感じたので、あまり期待できないと思った。
30 歳代	栄地区	男性	利便性を向上しなければ人口は減少する。匠瑛市の利便性とは交通機関だけでなく、企業の誘致や市外地以外への分散も重要。圏央道もできるので。
30 歳代	豊和地区	女性	価格高騰で、子育て世帯はとても苦しい状況です。インフルエンザワクチン 2 回接種がともに有料なのは、幼い子が数人いる家庭にはかなりの負担になってしまいました。何かとお金のかかってしまう子育て家庭に支援をお願いします。
30 歳代	栄地区	女性	市民病院を新しくしてほしいです。
30 歳代	栄地区	男性	30 代子育てをしている親です。コロナ禍、電気代物価高騰している中、支援がなく他の市町村に比べるとレベルが低いです。もう少し周りの市町村の子育て支援を参考にして子育てしやすい環境にして下さい。
30 歳代	豊栄地区	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・飯倉台に住んでおりますが、これまで特急や高速バスに不便を感じておりましたが、飯倉台入口にバス停ができ、都内へのアクセスが良くなりました。都内に通勤で通っており、こういった交通環境が良くなると、定住や若者の U ターン I ターンにつながると思います。 ・医療や店舗などは旭、横芝光などを利用しており、残念ながら匠瑛市に魅力を感じません。 ・高速道路が隣町まで通っているので、補助を多少出してでも企業等を誘致するべきだと思います。匠瑛市はスルーされています。 ・新しい若い市長に期待しています。私も 30 代後半なので、市民として何かお手伝いできることがあれば幸いです。
30 歳代	中央地区	男性	道路がきれいに整備されたいなと思います。自然が多いのは良いことですが、電線にかかったり、道路にはみ出す草木が目立つのが気になります。

年齢	居住地区	性別	問 44 まちづくりに関する意見・提案
30 歳代	中央地区	女性	空き家や、駅の近くの廃墟(マンション)が残り、子ども達の通学の際など、少し不安を感じる場所がある。取り壊して、公園を造ったりして整備すれば、もう少し暮らしやすくなると思う。
30 歳代	須賀地区	女性	他県から移住した者です。 ぜひ新しい施設(医療関係、生活用品)を増やしてほしいです。近くに魅力ある施設が少なく、いつも他の市に出かけてしまいます。 匝瑳市に魅力的な施設や支援が増えれば、若者は必ず増えます!!是非とも新しい改革をよろしくお願いします!!
30 歳代	匝瑳地区	男性	住民票をコンビニで出せたり、接種証明をアプリで見れたり、ワクチン接種予約をネットで出来たり、デジタルに接する機会の多い若い年代からすると少しずつ便利になっている気がします。 全部が全部デジタルは怖さがありますが、平日の定時内に役所に行かなければ行けないなど1人暮らしではどうしようもない部分が解消されるのは非常に助かります。 単に住みやすい、魅力的という意味でも、現実世界に限った話では無くなってきていますので、パソコンやスマホがあるのが当たり前の若い世代が住みやすいということを目指してもいいのではないかと思います。
30 歳代	豊栄地区	男性	町おこしは難しいものであり、徐々に推進していけば良い。
30 歳代	野田地区	女性	高齢者や子どもが安全に交通できるよう、道路の整備(雑草除去等)や、カーブミラー等の設置、防犯面を強化して欲しい。 特に学校周辺の空き地管理も徹底して欲しい。
30 歳代	共興地区	男性	高齢者支援などに偏る事の無い、未来の見える行政運営をして頂けるよう願います。
30 歳代	平和地区	女性	子どもにお金を使ってください。子どもは宝です。未来を担うのは子ども達です。子どもにお金を使う=自分たちへの投資です。 あと、畑や家の敷地内にて、ゴミや草や木などを燃やしている方が多過ぎると思います。家の中や洗濯物に臭いがつくし、環境にも良くないと思います。 これに対して市はどのような対策をしているのかわかりません。
30 歳代	豊栄地区	女性	子どもからお年寄りまで安心して生涯過ごせる安定した医療、教育体制の充実と、特に子育て世代が活用できる大型商業施設の誘致を積極的にして頂ければ、市全体の活性化に繋がると思います。同時に文化遺産も大切に残していきたいです。 匝瑳市は心温かい方が多く、地域の人々が助け合って生活する昔ながらの繋がりが残っているのが、とても魅力的です。沢山ある魅力を引き出して活気ある匝瑳市になっていくことを期待していますし、市民として貢献していきたいです。
40 歳代	椿海地区	女性	子育て家庭に対する支援ですが、子どもを育てて感じたのは、出産後のお祝いより、小学校→中学校入学の時、要するに赤ちゃんの時より、大きくなってからの方がお金がかかるので、小学校6年、中学校3年生の給食費を無料にするとか、入学前に制服等お金がかかるのでその支援をしていただけたらありがたいと思う。国は、出産時しかお金を出さないの、逆に入学等に力を入れて頂きたい。
40 歳代	椿海地区	男性	医療、企業(優良)、商業施設の充実(オーシャンマートの様な)、観光施設や農、水産物のブランド化などの拡充、そして子育て世代の支援をしっかりとやっていけば人口や税収も増えて活性化していくと思います(※子ども育て世代の支援のPRをしていけば)。
40 歳代	須賀地区	男性	地元の業者が潰れてなくなることをないように、コロナ禍の中なので心配りをしてもらいたいです。これからも、行政のことしっかりとよろしくお願いします。

年齢	居住地区	性別	問 44 まちづくりに関する意見・提案
40 歳代	平和地区	男性	現在、小さいながら水田、畑がありますが、水田にいたっては赤字ながらもギリギリ会社の収入で補っており、後継者もない状態です。周辺でもそういった声が多く聞かれており、今や田畑は「負の遺産」となりつつあります。なにか市の方でもこういった土地の有効活用・税金の対応などしていただきたいと思います。
40 歳代	椿海地区	女性	公園、広場でのみの市を開いたり、人気店を集めたカフェ祭り（露店？）などを企画してほしい。夏の祇園祭りのみでは人を呼べない。四季を通してイベントを開き匝瑳市の魅力を伝えてほしいです。それと PTA の見直しも必要です。時代に合っておらず、会長の必要性に（仕事に）疑問を感じます。多くの人がこの時が一番の子育て中の悩みになっています。
40 歳代	匝瑳地区	男性	育児や進路について相談したことがありました。市役所での窓口からふれあいセンター内の教育委員会の担当者を案内され、1 度面談させて頂きましたが、資料を郵送すると言われて、1 箇月待ち、こちらからの連絡でやっと届き、その後の連絡はありませんでした。2 年前のお話です。しかるべき場所に適正な人材と人数を熱望します。
40 歳代	共興地区	女性	街灯が少ない（というよりない）ため、防犯、防災面で不安。いつ舗装されたのか、ボロボロの道路ばかりで破損、崩落していて、そのまま用水路に落ちそう。そこを児童、生徒が通学しているのはかわいそうでしかない。
40 歳代	椿海地区	男性	商店街をなくして新たな商業施設を造り、若者が立ち寄れるようなまちづくりをする事。
40 歳代	共興地区	女性	先日、匝瑳市に住み 10 年経過しましたが、初めて市民病院を受診しました。確かに、外観、総合待合室は年季が入っていると感じましたが、医師や検査機器はさほど悪い印象は無かったです。会計も案内も迅速な対応をしようというのが、とても強く感じました。働いている職員は良い方が多いように思いましたので、まず外観と総合待合室を改善すれば、だいぶ印象は変わると思います。私は良い病院と思います。
40 歳代	平和地区	男性	子育てしやすいまちづくりをお願い致します。公園の整備や病院の充実や、保育園等の子どもを育てるのに助かるなど思えるまちにしてほしいです。道路も草刈り等、歩ける道をお願いします。
40 歳代	匝瑳地区	男性	職員の無駄話をやめさせた方がよい（市役所）。
40 歳代	椿海地区	男性	「お金の集まる町そうさ」を目指して下さい。
40 歳代	平和地区	女性	空家を使って、他地域の人々の受け入れによる市民の増加を期待します。
40 歳代	平和地区	女性	田舎は田舎らしく、かといってキラリとした何かがあると良いと思います。他の町にはないコミュニティとか。独り言レベルで申し訳ありませんが。
40 歳代	須賀地区	男性	匝瑳市民病院に関して、はたして今の病院に入院したいと思う市民がいるであろうか。スタッフはよいと思うが、カビのはえた天井や古い設備など、私自身は入院したいとは思えない。早期に新病院を造り、受診したい病院となるように願っている。
40 歳代	中央地区	女性	市議の方が高齢だったり、他の土地からの居住者の方だったりして、本当に本市の役に立った、行政を行ってもらえるかが不明。市議の年齢を 60 歳未満にしてもらう、居住して 5 年以上この土地で生活している方など、もっと市議を厳選して定員を 10 名以下にして欲しい。市議の方が匝瑳市の為に何をやっているのか不明。市への改善して欲しい事の窓口を作って欲しい。
40 歳代	野田地区	女性	医療費高校卒業まで無料。子ども手当の値上げ。生活ができない。学童入所の規定の緩和。働く時間で、長期のみしか利用できず、短縮日課の時など子どもを見る人がいなく、仕事を休むしかない。道路の工事にお金を使うなら、市民のためにたくさん使ってほしい！！市民に伝われば、自然と人は匝瑳市にくると思う。

年齢	居住地区	性別	問 44 まちづくりに関する意見・提案
40 歳代	椿海地区	女性	子ども医療費助成受給券はとても助かっています。18 歳まで利用できるとなお良いと思います。“子どもから高齢者まで住み良いまち”に期待しています。
40 歳代	椿海地区	女性	大きいショッピングモールがないと人を呼べないし、自分達も市外に行きがち。市民病院ももう少し頑張らないといけないと思う。
40 歳代	平和地区	女性	医療・介護崩壊しています。箱物を作っても、心のある人材、知識技術のある人材が居なければ意味無し。医療従事者、介護従事者の意識改革、教育が必要。
40 歳代	匝瑳地区	女性	・ 県道 16 号線（八日市場佐原線）の大浦から山桑にかけて、道路のへこみがあり、土砂崩れなどが心配です。 ・ 匝瑳地区、飯高地区には何もありません（スーパー、公園など）。とても不便です。
40 歳代	椿海地区	男性	海と山があるのに、街中の祭りごとに重きを置いていることに不満を感じる。荒れた田んぼは見栄えが悪い。ボロボロの空き家とかも…。市議の定員も多い。「まちづくり」を行うなら、古い文化と新しい文化を混合させる必要があると思う。市の重役の人達（70 歳以上の人達）以外の意見をしっかり反映させてもらいたい。
40 歳代	豊栄地区	女性	匝瑳市は、新しいことを始めるのが苦手なのかなと思います。旭や横芝におしゃれなカフェができたりしているのに、匝瑳はそういう若者が魅力的に感じるものが特になく、若者が出て行ってしまうのも、帰ってこないのも仕方ないのかなと思います。
40 歳代	平和地区	女性	市内循環バスより使い勝手のよい乗り合いバス（ハイエース、ワゴン）の様な乗り物があると便利なのではないかと思います（狭い道まで入っていける為）。
40 歳代	野田地区	女性	・ 小型コミュニティバスなどの充実。バス時刻を増やす。 ・ がん検診の年齢を下げる。 ・ 山間部への出張支所（飯高、木積などは市役所に行くまでが高齢者は交通便が不便）。
40 歳代	中央地区	男性	人口に見合ったモデル都市構想（地域特性を活かした）の策定、当然国、県が対応する所があるので検討メンバーに含める。
40 歳代	椿海地区	女性	道路工事をした後に、工事前よりも路面が汚くなっている所がある。せっかく工事をするならきれいに直してほしい。カーブミラーも役に立っていない（見づらいとか汚れていて見えないとか）所も定期的に点検してほしい。
40 歳代	栄地区	女性	税務課の人の態度が威圧的。上から目線で物事をしゃべるので、非常に不快です!!! 市民が相談しやすい人材を置いて下さい!!! 以上。
40 歳代	豊栄地区	女性	企業誘致し、雇用を生まないと若者の定住は難しいと思う。大企業工業系工場とか、市民病院についても、医者を紹介してくれた人にお金をあげるのではなく、来てくれたお医者さんを、住む所はもちろん収入の面でも、充実させてあげる方が大事だと思う。市民病院は科目が充実し、救急対応（小児科とか）出来てくれると有り難い。建物については場所は無理に変えずとも、地盤の良さと津波等の心配がなく、避難所にもなったり、亀田病院ではないが、食堂を地域の人でも利用できるとか（美味しいの前提で）。バスもあるので、もう少し幅広く活用出来ても良いと思う。
40 歳代	平和地区	男性	・ 近隣の街を見習った方がいい場面ばかり。 ・ 恐れていたら、何も変わらない。変えられない。ビビりすぎ。 ・ 10 年前の方が、子ども達の活躍する場面は明らかに多かった。少ない学校と子どもの数の割には、各校が孤立しているように思う。
40 歳代	平和地区	女性	八日市場駅南口に改札はできないのでしょうか。毎日北口に送迎車が多く、事故が起きそうになっています。せっかく南口を作っているのに意味がないように思います。

年齢	居住地区	性別	問 44 まちづくりに関する意見・提案
40 歳代	中央地区	女性	市民病院の建て直しは早急に取り組んで欲しい。環境が悪い中での入院は、患者さんへ不安を与えていると思う。動線も、高齢者にとっては歩きづらいと思う。少しでも安心して受診、入院できる環境でよろしくをお願いします。
40 歳代	中央地区	女性	子育て世代に優しい多古町のようにして頂きたい。
40 歳代	野田地区	女性	八日市場駅の送迎用の駐車場を作ってほしいです。
40 歳代	須賀地区	女性	・小学校のひとクラスの人数がとても少ないので、市内、小学校同士の交流が必要だと思う。 ・まちづくりと聞くと、特定の人しか参加していないイメージがあるので、もっとどんな人でも意見を言えたり、参加しやすい場を工夫した方が良い。
40 歳代	椿海地区	男性	商業施設の充実。娯楽施設の充実。医療関係の充実。
40 歳代	豊和地区	女性	活気のあるまちになってほしい。
40 歳代	中央地区	男性	まちづくりを市の最重要プロジェクトにし、プロジェクトチームは40代以下構成する。3、5、7、10年後の達成目標とそれに合わせた各指標を明確に市民に掲示して、進行度や達成状況をわかりやすく効果を伝える。短期的には市民に不満があっても10年後誰もが住みやすい街になっていれば良いと考えている。施政者は、誰がやったかを大事するのではなく、市民が笑顔で暮らしているかを大事にして欲しい。市民は、誰でも良いからまちを良くして欲しいと願っている。
40 歳代	中央地区	-	近隣の市町村では学校給食費の無料化が進んでいるのに、匝瑳市は遅れている。 子ども医療費を18歳まで無料にして欲しい。 放課後児童クラブの定員割れ。 近隣の市町村に子育て世代の流失が起きている。 とても、住みづらい市だと思う。 近隣の市町村の方が子育て世代政策に力を入れている。 市議会議員の人数が多過ぎるし、税金の無駄遣い。 古い風習が残り過ぎ。
40 歳代	中央地区	男性	市民プールが健康増進のためにも必要だと思います。
40 歳代	中央地区	女性	旭市と比べ商業施設、飲食店が少ないのでどうしても旭市に買い物にでかけてしまう。 病院にしても選べる病院が少ない。どちらにしても、今は車の運転ができるので心配はないが今後運転が出来なくなった時の事を考えると不安になる。 公共の交通機関の充実、病院、商業施設の充実化をしてほしい。
40 歳代	須賀地区	男性	クーポン券の配布等を行い、働く人と経済を活性化できたらいいなと思います。
40 歳代	中央地区	男性	子ども達が元気に育って、匝瑳市を明るくしていける未来。 中学生年代が、寂しく感じます！
40 歳代	豊栄地区	男性	このアンケートのような市民からの意見の吸い上げは大変重要だと思います。匝瑳市の人口の減少や過疎化を進めないようにするためにも、市民が自らの意識を持ってまちづくりに参加できる機会を与えていただきありがとうございました。アンケート回答データの公表やその回答に対してどのような施策を行ったかなどの結果がわかると、さらに今後の市民参画を促す上で有効かと思っています。
40 歳代	吉田地区	女性	私の地域では高齢者ばかりしかいません。 今後は、空き家対策も必要になって来るかもしれません。 昔からのしきたり、行事、役員と地区に関わることがあまりに多過ぎで苦痛を感じます。人数も少ないなか、平日に集まらなくてはいけないとか、現在にそぐわないことを今もなお残していくことを美徳と感じている高齢者が多くて、本当に困ります。 このままでは、この地域は衰退していくだけだと思います。

年齢	居住地区	性別	問 44 まちづくりに関する意見・提案
40 歳代	豊栄地区	男性	子育て支援の充実、給食費の無料化など子どもの支援の強化をお願いします。
40 歳代	栄地区	女性	よく飯倉駅を利用するのですが、駅周辺の整備をしてほしいです。飯倉台、野栄方面の利用者多数です。バスがカーブに停留していたり、送迎の車で道路がふさがれたりします。草藪になっている場所を市で買い上げ、早急に整備をお願いいたします。
40 歳代	豊和地区	男性	他の行政にはない魅力ある特色を生み出してまちづくりの基盤を作っていく。
40 歳代	豊栄地区	男性	他の市役所と比較して、匝瑳市役所の接遇や対応がとても悪いと思います。最低限明るく挨拶くらいはできる市役所職員でないと、市との信頼関係や連携に大きく影響が出ていると思います。市役所職員が市民のために働いているという意識を高く持って欲しいです。
40 歳代	中央地区	女性	本調査の結果が反映されることを期待します。市内で行われているスポーツや文化系のさまざまな活動に参加したいと思っていますが、正職員として働いている者にとって、参加できるスケジュールではありません。市の活動であれば、ご配慮いただきたいと思います。
50 歳代	栄地区	男性	廃墟と歩道、道路の整備が必要と感じる。特に樹木が密に生い茂る場所や水はけの悪い道路。
50 歳代	野田地区	女性	とにかく自家用車に頼らなくても移動できるよう、せめてバスの運行本数、経路の見直しをお願いします。
50 歳代	野田地区	男性	畜産業が盛んな地域なのに。市は何もしてくれていない。
50 歳代	椿海地区	女性	植木の町をアピールした方がよい。例えば市役所の前（国道沿い）に植木の庭園を作る。
50 歳代	匝瑳地区	女性	税金でいろいろな建物を建設するより、市役所を建て替えた方がよいと思います。その方が職員のモチベーションも明るくなり、市民も利用しやすいと思います。又、市民病院の建て替えも検討して欲しいです。高齢化社会になり、交通の便、介護サービスの充実は勿論ですが、こういった分野に携わる職員の増員や、給与などの待遇の向上を求めます。 又、介護サービスの更なる内容の充実もぜひご検討いただきたいです。 学校教育においては、通常の学習の他に、金融教育にも力を入れるべきと考えます。将来についても、いろいろな選択ができるよう、配慮に学習カリキュラムなどを希望します。 また、社会的にヤングケアラーにも目を向けるべきです。家庭の金銭面で夢が叶えられないことがないよう奨学金制度などあらゆる制度の選択ができるよう学生達に伝えていくべきではないかと思っています。 ゴミの分別がない今の状況は理解できません（便利ですが……）以上。
50 歳代	豊栄地区	男性	街の美化・道路の雑草が目につく。国道沿いの、住居等が、解体されさみしさを感じる。旭市や東金市から比べ、外食店が少なく街に活気が無い。
50 歳代	須賀地区	男性	市のものを売る場所の拡充。
50 歳代	野田地区	男性	九十九里ビーチラインの道路幅員確保（50km/h 道路に）及び子ども達の歩道の確保。
50 歳代	野田地区	女性	市全体の意見ではありませんが野田地区にははしば医院が閉院されたことにより地元のお医者さんがいなくなりましたので野田地区に、新たに開院される事を望みます。
50 歳代	中央地区	女性	八日市場駅南口ロータリーが使われていないのはもったいない。 市民病院を早急に移転し（行政も含めて）作業のシステムをデジタル化、効率化する。 子どもを産み育てやすいよう市民病院には小児科・産婦人科が必要。
50 歳代	中央地区	男性	ムダをなくしましょう。

年齢	居住地区	性別	問 44 まちづくりに関する意見・提案
50 歳代	匝瑳地区	男性	移住・定住の推進、国際人口の増加など、活性化させるためには市内の人口増加が必要だと考えます。そのためには魅力あるまちづくりが必要です。本市だけでなく近隣市町とも連携し、県東部、海辺地域の活性化を期待します。
50 歳代	中央地区	男性	匝瑳市民病院の外来診療科目で、皮膚科等の診療を週 2 日からもう少し増やしてほしい。
50 歳代	須賀地区	男性	えびす橋の拡幅等、大規模商業施設の誘致。成田空港との連携。大学の誘致。
50 歳代	豊和地区	女性	匝瑳には 1 日遊べる所がない。ショッピングセンターがあれば良いと思う。イオンみたいな大型店。
50 歳代	中央地区	女性	匝瑳市民病院に通院しているが、古くて臭くて、絶対入院したくないといつも思う。きれいに建て替えた方が年寄りの憩いの場になってる。
50 歳代	野田地区	女性	人気のある住みたい町や人口が増えている市町の取組など、どんどん真似してほしいと思います。
50 歳代	豊栄地区	女性	市民病院に産婦人科と小児科と内科医の充実をお願いしたいです。
50 歳代	豊栄地区	女性	25 年匝瑳（八日市場から）に住んでいます。4 月から子どもが就職なんですけど、大学を出てそのまま東京です。地元に戻って来てても何も魅力がないからさそうです。流山市が今若い家族に人気です。周りでも言っていますが、土地がいっぱいあるので匝瑳にしかない物、あっても若い人達を戻りたいと思わせる物から作ってほしいなと思います。みなさん、若い市長さんになって期待はしているのですが、まだ何も変わってないので。
50 歳代	平和地区	女性	今、令和の時代に合ったまちづくり、若い人達の意見をどんどん取り込み、活気のあるまちづくりをして頂きたいです。今、いろんなお店を（飲食店）充実させて頂きたいです。匝瑳市はそういう所が足りません。若い人が好むお店を！！
50 歳代	共興地区	男性	市役所での手続きの簡素化（何回も名前や住所を書入するのがムダ）。 高齢者への支援（医療費などの出費を減らす）。 収入の少ない人や車など、移手段の無い人へのサポートなど。
50 歳代	椿海地区	男性	問 43 の解答がほとんど「わからない」になりましたが、匝瑳市は昔から政策の PR が足りないと思います。私は生まれてから匝瑳市に住み続けており、愛着がありますが、他者に匝瑳市の良いところを聞かれると答えられません。近隣市町村は色々な手段で PR しているように見え、近隣市町村の特色は覚えているのに、肝心の我が故郷が何に力を入れているのかがわからず、歯痒さを感じます。決して近隣市町村に劣るような町ではないと思いますので、もっと PR をして市民全体が我が匝瑳市に関心を持つようになれば良いと思いました。
50 歳代	須賀地区	男性	高校生の医療費の申請が大変なので、受給券にするか、土・日どちらかでも申請できるようにしてほしい。
50 歳代	豊栄地区	女性	もっと魅力のある匝瑳市にならないと、若者の人口は増えないと思う。
50 歳代	飯高地区	女性	放置された家屋、里山、竹林が見た目を悪くしている。道路にも影響を与えている。環境を整備し、他県より人を呼ぶなら広い敷地など整備して、アウトドアなど誰でも使える場所があると良いと思う。「匝瑳」は他県には読めないの、ひらがな表記にした方が良い。
50 歳代	栄地区	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税にて税収！ジョセフィーヌドレスリングはネットでも大人気です。 ・匝瑳市の里山や海をめぐるツアー、例) 飯高檀林→松山美術館→たけおごはんで食事！ ・吉崎ゴルフ場を活用してマルシェ。 ・空地を利用してフリーマーケット。 ・土日はサーファーやバイク、ツーリングの人達が集まる場所、SNS に載せたくなるような場所をつくる。

年齢	居住地区	性別	問 44 まちづくりに関する意見・提案
50 歳代	椿海地区	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化や子育て支援にばかり目を向け過ぎず、そこも大切な事だが、ずっと住み続けた高齢者が、安心して車の免許返納が出来、返納後もライフラインが困らず、病院や商業施設も充実し、高齢者も充実して安心して暮らせる町にしていきたい。 ・市民病院を交通の便利な場所に建て直し、夜間でも子どもも、高齢者も対応して頂きたい。 ・市民病院を交通の良い所に建て直す事により、周りも栄え、市が発展すると思う。
50 歳代	栄地区	女性	<p>防災無線（家庭用）の不具合が多く、改善が見られない。 市役所の窓口対応で笑顔がなく聞きづらかったり、行きづらく感じる事が多々感じられる。</p>
50 歳代	中央地区	男性	<p>駅近郊に無料駐輪場があった方がよい。又、駅に送迎車用無料待機場があると便利だと思います。</p>
50 歳代	中央地区	女性	<p>高齢者の運転が多く、動きがわからず危ないと思うことが多々増えているように思います。高齢者の運転に対し事故を防ぐ為にも、もっと厳しくした方がいいと思います。歩行者も高齢者が勝手な動きで渡る事が増えていることです。</p>
50 歳代	須賀地区	女性	<p>市民病院は新しくして、全ての診療科ができますようお願いします。 高齢者のタクシーは無料でいいと思います。</p>
50 歳代	中央地区	女性	<p>人口減少高齢化や商業施設の問題など沢山ありますが、優先順位を付けて問題解決してください。</p>
50 歳代	椿海地区	男性	<p>幹線道路以外の道路整備をしてほしい。</p>
50 歳代	豊栄地区	男性	<p>子育て支援も大切だと思うが、公費で支援した子ども達はどんどん生活環境の良い所に流出して行き、人口減少が進む一方。もっと平等に財源を使うべき。</p>
50 歳代	匝瑳地区	男性	<p>ゴミ捨てが出来ず市役所に訪問したが、たらい回しにされ解決出来ず、10年以上経過したため、他県に転出を考えている。</p>
50 歳代	椿海地区	女性	<p>誰もが安心して暮らせるまちづくり。 コロナ禍で仕事を失ったり、給料が減ったり、物価の高騰で困っていることが増えるので何とかして欲しい。ダブルワークをして生活しても困っている人もいますのでそういうところも考えて欲しい。 子育て支援ばかりでなく、高齢者、障がい者支援にも力を入れて欲しい。</p>
50 歳代	豊栄地区	男性	<p>人口増加の為に何をすべきか考えてほしい。老人の町になりつつある（なっている）。 飯倉駅前活性化は必須（駅前に老人ホーム、こども園を設置する意味がわからない）。利用者が多い割に物騒。</p>
50 歳代	野田地区	女性	<p>八日市場駅の南側を、良くして欲しい。 市民病院の、診療科目の充実。</p>
60 歳代	豊栄地区	男性	<p>道路の整備、スポーツ、文化等施設、市民が利用できる施設を増やす。市民が使用しやすい公園やスポーツ施設がもっと必要。匝瑳市に人が集まるようにする。そして人口を増し住みやすいまちづくりを行う。そのためには、住宅や商工業等仕事場を確保し町にお金が入るようにする。</p>
60 歳代	中央地区	男性	<p>県道、市道の痛みがひどいので整備してほしい。早急をお願いします。</p>
60 歳代	中央地区	女性	<p>早急な市民病院の建て直しに期待します。早く進めてほしい一番の課題だと思います。命に関わることは最優先すべきです。今の状態は市民にとって不安でしかありません。</p>
60 歳代	豊和地区	女性	<p>指定難病者にとって、毎日の生活や通院はとても大変です。現状の支援をもう少し改善していく方向で御検討をお願いします。</p>
60 歳代	中央地区	男性	<p>基本施策の各項目の内容が抽象的であるため市当局が実際に取り組んでいる内容を具体的に掲載して頂けると「問 43」については答え易いと思えた。</p>

年齢	居住地区	性別	問 44 まちづくりに関する意見・提案
60 歳代	野田地区	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・私道の補修をするための助成金または、材料の支給。 ・私道を市道に変更し、上下水道の整備と管理。 ・不法投棄されたゴミの処理、ゴミ捨てされないための対策。
60 歳代	匝瑳地区	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県内で匝瑳市と旭市がごみだらけ、特に川口沼汚い（パワーコモリの裏のどぶ）。 ・インフラの整備、旭市より 30 年遅れている。
60 歳代	須賀地区	女性	市内の国・県・市道がかなり傷んでいます。縁石からの草、道路脇の草も全く手が入られていません。外から来た人（住民もですが）が「きれいなまち」と思えるような景色になると良いです。期待しています。
60 歳代	栄地区	女性	匝瑳市と言えば……すぐに何が浮かぶでしょうか？ショッピングモール、コストコ、文化会館、タワー、映画館なし。どこへ行くにも車、都会化はしなくても、便利さはもっとほしいです。大きな遊園地などあったらいいと思います。
60 歳代	平和地区	女性	他地区の話を見ると、匝瑳市はあまり良い話が聞こえてこない！！不満の方が大きい！活気がない！！市民病院の話など、進んでいない！若い市長に期待します。
60 歳代	栄地区	女性	独身が多すぎる！出会いの場を考えて欲しい！少子化の解消になって欲しい！
60 歳代	野田地区	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが行きたいという場所がない。 ・昔エイトピアが出た時は人気があった。 ・市民病院が雨もりしていた。 ・病院も新しくして医療整備、設備がないと先生、以下医療従事者が集まらない。
60 歳代	豊栄地区	男性	「老いては、子に従え」とのたとえもある様に、未来有る若者の意見も重視される事を、願います。
60 歳代	平和地区	女性	何と申しましょうか。何事も半端な感じです。県外、他市町村など、見学、勉強が良いと思います。
60 歳代	豊和地区	女性	今後のまちづくりも大切ですが、私にとっては身近なことに目を向けてほしいです。家の前に牛舎があり、臭い、ハエ、汚水に悩まされています。道路が通っていますが、“くさい、きたない”と遠回りしている人もいます。現状を見てほしいです。
60 歳代	中央地区	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・匝りの里からのウォーキングコースに、犬のフンで汚れた道路があります。船橋市などの条例などを例に、市民が町を愛せる意識作り。 ・独居でなくとも高齢者にとっての食事作りは、その年になってみないとその大変さが負担だそうです。少子化による給食減少を高齢者に応用・活用していくことができれば良いと思います。
60 歳代	野田地区	女性	他県や他市町村から大勢のサーファーが来てるのにお金を落としてくれる所は飲食店やコンビニのみ、駐車場（有料）、シャワー等の設備を充実させればいいのと思う。あまり使い道のないパークゴルフ場に 4 億もかけるとかありえない。だからこの市には何にも期待していない。
60 歳代	共興地区	男性	市民が求める情報を収集し、発信する必要があると思う。また、行政（匝瑳市）が実行しようとすることを発信してほしい。
60 歳代	豊栄地区	女性	市議会議員の人数を減らした方が良いと思います。年間に働いた内容を書いて下さい。税金のムダだと思えます。町作りも良いですが、ムダな事がいっぱいあるので見直していただきたいです。
60 歳代	中央地区	女性	当市は高齢者の割合も高く、医療の充実は特に欠かせないと思います。1 日でも早く安心して外来や入院のできる市民病院を建て替え、交通の便の良い所へ開院させてください。又高齢者が日々生活圏で買い物ができるよう小さなスーパーなどの充実もお願いします。
60 歳代	平和地区	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・人がいなくなった家に対する市としての何か良い策は。 ・実家が飯塚で斜面に対して、今「想定外」が何ごとにも聞かれます。いま一度基準等の検討を。

年齢	居住地区	性別	問 44 まちづくりに関する意見・提案
60 歳代	豊和地区	女性	交通機関、医療体制の充実を図ってほしい。大型スーパーの誘致等。
60 歳代	中央地区	男性	企業誘致促進と雇用拡大、子育て支援を充実させて、市外からの移住促進に力を入れてほしい。
60 歳代	栄地区	女性	市に、若い人が移住してほしいです。子ども達が生活しやすく、1人でも人が多くなって市民が良くなりますように、よろしく願い致します。
60 歳代	栄地区	女性	まちづくりについて考える機会を頂き有難うございます。コロナにより、行動制限がある中大変かと思いますが、地域の特性を生かした体験型のミニツアーや近隣市町村と連携した観光などを企画し、今後も匠瑳市の魅力を発信して頂き、「また来たい」「匠瑳市に住みたい」と感じてもらえるような場所造りをみんなで考えていけたらと思います。
60 歳代	平和地区	女性	・匠瑳は市民税がとても高い。 ・市民の方がもっと色々なスポーツ等、運動ができる場所がほしい。
60 歳代	須賀地区	男性	他市町村の方が対応が良い。
60 歳代	中央地区	女性	市民病院の建て替え、早期をお願いします。
60 歳代	野田地区	女性	高齢者にとって生活しやすい市を希望します。近所付き合いも薄くなる今日、将来が不安です。いろいろな事が身近に相談できる様な行政支援よろしくをお願いします。
60 歳代	野田地区	女性	ゴミのポイ捨て、ドラム缶焼却の取り締まりと罰則化。日本のあちこちに行くが、これほどひどい街はない。モラルの低い人達とは一緒に住みたくない。
60 歳代	共興地区	女性	高齢になって車が運転出来なくなったら買い物、医者など行くのに交通網が便利だといひんだけど！
60 歳代	匠瑳地区	女性	シャッター街になってしまった商店街、町中に活気がなく散歩していても淋しいです。
60 歳代	豊栄地区	女性	現在、病気になっても匠瑳市には医療の整った病院がないので病院がほしい。他の市町村にも病院がないので大きな病気になれないのが不安だらけ。
60 歳代	平和地区	女性	人間ドッグの補助金を市民病院だけでなく、他の市町村のように数箇所病院に増やしてほしいです。
60 歳代	須賀地区	女性	介護保険の件ですが、もうすぐ70歳になるので仕事も（なくなり）出来なくなり、2ヶ月に1度の年金生活になりますが、2ヶ月に1度8万円くらいの年金で介護保険を引かれたのでは、本当に食べていけません。何とかして下さい！
60 歳代	椿海地区	女性	他の物価がどんどん値上がりしている中、どうして米価は下がっているんですか。このままでは農業がだめになってしまいます。どうか検討をお願いします。
60 歳代	飯高地区	男性	今後の市勢を思慮すれば、あらゆる面でスリム化する必要がある。考案として、 ・行政職員の削減(研修制度の実現、充実と、成績主義の採用)。 ・デジタル化の推進。 ・議員定数の削減(自主財源に合った数でよい。多くの市民は削減に賛成するのでは?)。 ・医療体制、子育て支援の充実は最重要視点。他市に比べ、市民サービスの低さ、議員の劣化を市民は感じている。自治体は住民自治が基本であり、住民も責任ある参加者でなければならない。多くの市民の意見を聴取し、丁寧に議論を重ねる事で良き結果は得られる。但し、今後のまちづくりが議論の中心である事を忘れず。

年齢	居住地区	性別	問 44 まちづくりに関する意見・提案
60 歳代	中央地区	女性	先日の選挙にて久しぶりに母校である野田小に行く機会がありましたが、プールの老朽化と体育館の掃除の行き届かなさに驚きました。また、小学校の先生方も日々多忙な事と思われませんが、体育館は目にとまるところ、くもの巣とほこりだらけ……どれもこんな環境の中、子ども達は学校生活を送っているのかと思うと驚きばかりです。匝瑳市民病院についても玄関を入り、待合室の天井に目を向けてみて下さい。雨もりの為のガードが数か所にも及びます。まだまだ市民には必要な場所です。ぜひ市長様自ら足をお運びいただいて現状を見て、少しでも改善できる方向にしていだけたら嬉しく思います。
60 歳代	野田地区	女性	自分が年を取り、車の運転ができなくなった時、交通の便が悪く病院にも行けなくなるのではないかと不安でしかありません。
60 歳代	吉田地区	女性	地域の大切な小学校が次から次と閉鎖されていく事に心を痛めています。匝瑳市も少子高齢化に向かっています。今一番大切なのは若者が安心して将来を描けるような支援、社会保障を国、県と連携して若者のUターン・Iターンを促進していただきたいです。
60 歳代	飯高地区	女性	中学生高校生の自転車通学の通学路の整備（草刈り）などもう少し早めに整備してあげてほしいです。
60 歳代	中央地区	男性	市長を始め市議の皆さん、市役所の勤務の方々が自分の足で（車を使用せず）歩いて市（中心部）以外の現実を見てほしい。歩道の草、ゴミが多く歩道として使用できていなかったり、とにかく市全体が汚い！！
60 歳代	匝瑳地区	女性	旧道沿いの商店がシャッター通りになりつつあることへの対策。もうシャッターが下りてきている店舗をサテライト店にすることで、何かしたいとする方々が動いてくれたらと考える。
60 歳代	椿海地区	男性	財政面で大変な時代になってきていると思いますが、車で走っていると道路の痛みが多くなっている様に感じます。大型やトラックが、昔なら走らない所まで入って来ているせいかも知れませんが、少しずつでも直して欲しいです。
60 歳代	平和地区	男性	アンケート記入に当たり、第2次匝瑳市総合計画を読みました。読んでみて非常に疲れました。満足度については回答が難しいので回答しません。重要度も本来は記入が重要だと思いますが、途中までの回答で終了とします。この計画を市民に周知するだけでも大変だと感じました。
60 歳代	須賀地区	男性	最近市役所に良く行きますが、良く教えてくれるのでわからない時は聞きにいきます。 個人的には保険料や市民税は高いなと感じます。 不法投棄は多過ぎです。
60 歳代	平和地区	男性	第一次産業の活性化がなくしては、市の発展はないと思う。
60 歳代	平和地区	男性	まちづくりに意識の高い市議会議員を確保するため、議員定数を半数程度に削減し、議員報酬を大幅にアップさせる。 匝瑳市将来ビジョンを市民を巻き込んで作成、5年後、10年後の目標を掲げ、確実に履行させるための行動指針の作成及び検証を行う。
60 歳代	豊栄地区	女性	八日市場駅前の送迎用駐車場を確保してもらいたい。定期券等を購入する際、どこに停めていいかわからない。停める場所がない。
60 歳代	平和地区	男性	在宅医療機関を設置して下さい。匝瑳市にはないので、現在旭市の医療機関から来て頂いています（コロナワクチン接種においても匝瑳市の医療機関には断わられてばかりであり、旭市に助けて頂いています）。
60 歳代	豊栄地区	男性	市の活性化のために美化、交通の利便性を特にお願いします。
60 歳代	栄地区	女性	市の広報紙（広報そうさ）を見たいので、地域の回覧板で回して欲しい。

年齢	居住地区	性別	問 44 まちづくりに関する意見・提案
60 歳代	中央地区	女性	・市外に通勤しているため、匝瑳市での活動がほぼありません。特に不便はありませんが、今回アンケートが来たので気になっていた事を伝えます。 ・ふれあいパークに続く市内旧道の給食センター近くから、歩道が出来ました。当初感動しましたが、完成はせず今は草だらけで通れません。 ・こんな様子を見ていると、市に対する愛着や思いを何も感じられません。予算をかけて作ったものは、大切に管理すると思います。将来都市像は空虚です。
60 歳代	椿海地区	男性	ゴミのポイ捨てがひどい。田畑にもカン、ゴミが落ちている。犬のフンも目立つ。
60 歳代	栄地区	男性	公共施設利用時の申請窓口の一元化。重複した施設や利用が少ない施設の統廃合。利用時間の見直し。
60 歳代	共興地区	女性	コロナ禍での様々な取組へのご尽力に感謝します。活性化する機会を奪われることなく、創意工夫、正しく恐れる！精神で色々なことが実施でき、市民が生き生き暮らせるといいなと思います。よろしく願いします。
60 歳代	豊栄地区	男性	市役所職員の方も解りやすい説明して下さい。専門用語が多過ぎます。
60 歳代	中央地区	女性	・移動手段のない人への交通手段の確保、利便性の向上。 ・商業施設の誘致（特に買い物ができる施設の充実）。 ・自然を生かした、観光地になる施設を整備。 ・空き家の整備、有効活用の促進。
60 歳代	豊栄地区	女性	・高齢化に伴い、急激に山林や農耕放棄地が増えて行くと思われま す。個人では維持管理に無理がある場合も多く、今まで匝瑳市の良さ であった自然環境も危機にあると思われま す。 ・また山林は年々、木が大きくなり、幹線道路でも暗く不安を感じる 事もあります。地域差もあると思いますが、せつかくの自然を活か し、生活環境を維持できる政策を希望します。
60 歳代	豊和地区	男性	市バスの活用。健康増進のため市バスを利用して、地元と離れたと ころでウォーキング、ハイキング等、市民サービスしてほしい。
60 歳代	平和地区	男性	匝瑳市はこれがすごいという PR できる物、あるいは場所などを日本中 にアピールする。
70 歳以上	豊和地区	女性	高齢者にとって住みやすい匝瑳市になってほしいです。
70 歳以上	平和地区	女性	市内のバスをもう少し回数を増やして欲しいです。
70 歳以上	椿海地区	男性	市議会議員の高齢が心配。40、50 代の活躍を今後期待したい。1 期目 で 70 代では先が不安。
70 歳以上	豊栄地区	女性	早く市民病院の建替を！
70 歳以上	栄地区	男性	・ゴミを燃やす人がたくさんいて困っています。落ち葉は田舎なので 仕方ありませんが、ビニール類は、吐き気がします。何とかしてく ださい。特に夏場は、行き場がありません。 ・バスは 1 日 2 本程度なので、医者へ行くにも買い物に行くにもどう しようもありません。個人タクシーのようなものでバスのようにまわ って来て下さる所もあるとか、そのようなやり方を取り入れて下さ い。そうでなければこの地域での免許返納は無理です。
70 歳以上	吉田地区	女性	匝瑳市民病院を是非いつまでも継続して行ってほしい。今の位置で移動 して建て替えはしないでほしい。今の場所で充実させて行ってほしい。
70 歳以上	豊栄地区	男性	若者の雇用・就労に農業関係にと安定した生活ができる様に行政にて 力をつけてほしい（優良企業を匝瑳市に）。
70 歳以上	椿海地区	女性	医療体制整えてほしいです。
70 歳以上	野田地区	女性	・早く市民病院を新築し、良い医者を入れてほしい。 ・パークゴルフの赤字の事業、早く何とかしてほしい。 ・タクシー券の発行だけでなく車のない人の足の確保してほしい。 ・もう少し地区の公民館を使い、地区の活性化、民生委員の人に頑張 ってほしい。

年齢	居住地区	性別	問 44 まちづくりに関する意見・提案
70 歳以上	須賀地区	男性	人口減少に歯止めをかける事。出産、子育て、移住、雇用全ての根幹。
70 歳以上	須賀地区	女性	匝瑳市民病院の移転。
70 歳以上	野田地区	女性	いろいろな意見を聞いて楽しい匝瑳市を作ってください。
70 歳以上	中央地区	女性	特にないです。強いて言えば、側溝の蓋をしてほしい。不潔だし、車の往来が激しいので危ないので。
70 歳以上	中央地区	女性	今はコロナで無理だが、空家などを活用して老人たちが立ち寄って交流できる場所があると良い。
70 歳以上	椿海地区	男性	商・工業・学校教育・医療体制などに特質すべきものが見当たらない。結果的に「人口減少」に通じているのでは。例えば学校教育の一つとして「デジタル社会」に対応した特別教育を導入して他市との差別化を徹底するなど、中長期的プラン作成と実行をしたら如何なものだろうか。
70 歳以上	豊栄地区	女性	・匝瑳市はここが素晴らしいと言うものが（誇れるもの）あって欲しい。 ・細かく見ていると、税金の無駄使いも多いと思う。
70 歳以上	須賀地区	女性	これからも安心して生活できる市である事を願っています。
70 歳以上	豊栄地区	女性	高齢者の交通の利便性。
70 歳以上	栄地区	男性	何も出来ない市です（人口減少当然）。
70 歳以上	野田地区	男性	「ゴルフ場」ができたり「箱物」ができる事に興味はない。将来を担う保育～小・中の子ども達・若者、そして 30%を占める高齢者にとって教育や福祉の充実したまちづくりがほしい。産業や観光の目玉がなくとも、住民が住みやすいと言われる町、それ自体が PR できる町になるのだから……。
70 歳以上	須賀地区	男性	自動車免許を返済したので、買いものその他が不便している。市バスの便数を増加していただけたら。
70 歳以上	豊和地区	男性	近年支障木、危険木が多数発生して街灯の光量に支障が出現している。所有者の理解が整わず放置状態であり行政側の強い要請が望まれる。
70 歳以上	野田地区	女性	私は、もう 72 歳です。この町に嫁いで 50 年になります。その時、10 年もすればこの場所も、もっと良くなるよと言われていましたが、何 1 つ変わっていません。広い逃げる道を作ってください。病院も、しっかりしたものにして下さい。他市の病院に行くのはつらいです。お願いします。
70 歳以上	豊栄地区	男性	東京行き的高速バスのバス停が新設され、町と東京との距離が一步縮まった様な気がする。
70 歳以上	中央地区	男性	お隣旭市と比較される昨今（人口も含め）、今後、圏央道へのアクセス銚子連絡道の延伸を、大きなチャンスととらえ、これを今後の我がまちの次世代への活性化につなげられるか？……大事なところと、思います。
70 歳以上	飯高地区	女性	匝瑳の現状を分析し、何ができるかを考える。少子高齢化の問題には若い世代の在住を強化するため、よりよい働き場所の確保。空家、休耕田が増えているので都会から居住者を誘引する。居住者に必要な環境を手助けする。いろいろな条件のもと減らすものは切り捨て、未来に必要なものを選び大きな夢へ近づいてほしい。
70 歳以上	中央地区	女性	コロナ感染者の情報を防災無線で流してください。車に乗れなくなったら食料品を買いに行く方法をどうしたら良いか困っています。
70 歳以上	共興地区	男性	東京方面からの人口の流入を目指して、小学生、児童の給食費、医療費の無償化など検討してはどうですか。
70 歳以上	中央地区	女性	わかりません。子育て時期と比べ、意見や提案ができる程の情報がわれわれ年寄りには届きにくくなっています。コロナ以降、横のつながりも希薄になり、生活の仕方そのものが、消極的になって来ていますから。老若男女にかかわらず、住民が市政を考えるのに、同じ土俵に立てる様な工夫をまずお願いします。

年齢	居住地区	性別	問 44 まちづくりに関する意見・提案
70 歳以上	中央地区	男性	市内に鮮魚店がない。 旧 126 号道路が狭くて、電柱があるため狭くなっているので移転してほしい。道路際に雑草、木、竹がおおい茂っているの、除草、伐採してほしい。道路を整備してほしい。
70 歳以上	須賀地区	女性	駅の周辺を賑やかにしていただけたらと思います。
70 歳以上	共興地区	女性	今のアンケートは、若い人の方が良いのではないのでしょうか？それと子どものない人もたくさんいると思うんですけど、その人たちのことも考えてほしいと思います。子ども子どもとあまり言ってほしくないです。
70 歳以上	平和地区	男性	道路の両側に草が生い茂って歩いて危ない。道路にゴミを捨てて行く人が多い。罰則を設ける。
70 歳以上	豊栄地区	女性	若い人が増えていく様な匝瑳市になれば良いと思います。
70 歳以上	平和地区	女性	耕作放棄地等、ジャングル化している所が多く目立つ。徹底的に指導してほしい。このような土地の所有者に対し、改善されない場合は、固定資産税の税率を上げるなど、効果的なペナルティを与える条例を作るべきである。
70 歳以上	栄地区	女性	市民病院、空家（移住）問題に取り組んでほしい。 たて割り行政じゃなく、役所内が一体となって業務に当たってほしい。 投票率アップの為の施策を考えてほしい。 全ての市民にわかりやすいまちづくりをお願いします。
70 歳以上	豊和地区	女性	早く病院をきれいに建て替えて下さい。それと自転車のマナーを子ども達にして下さい。
70 歳以上	椿海地区	女性	ゴミのポイ捨て（家庭ゴミ含む）、市道側の除草、せまり来る大規模自然災害に備えて、市内すみずみの排水路の清掃など、きれいで安全なまちづくりを目指し、匝瑳市の人口増に繋がれば良いと思います。
70 歳以上	栄地区	女性	病院に行く時、交通網の向上（年を取ると車の運転ができなくなるので）。
70 歳以上	中央地区	男性	後期高齢者として、健康保険 1 割～2 割になって、持病持ちの者として大変厳しい生活に増し、物価の高いことで全く余裕がない生活を強いられ、国の方針に大いに不満を持つ。
70 歳以上	椿海地区	女性	匝瑳の恵まれた自然を大切にしたいまちづくりをお願いします。町の中心がシャッターが下りていて活気がなく、さびしいです。活気のあるまちづくりを望みます。
70 歳以上	中央地区	女性	“多田屋が閉店”。今まで普通に買い物が出来ていて、これからも思っていた大切な場所が無くなり、本町通りが閑散。寂しい限りです。ケーヨーの跡地には大型店ができるとの事ですが、国道周辺に同じような薬店ばかり出来てもどうなのでしょう？八日市場の語源が昔の事になりそうですが……。買い物もついつい大型店でまとめ買いをしてしまいます。自分も悪かったと反省しました。
70 歳以上	平和地区	男性	八日市場に移住したばかりの時、道で会った見知らぬ児童、生徒から「こんにちは」と必ずあいさつされた。この優しさをいつまでも持っていて貰いたいと思う。
70 歳以上	中央地区	女性	・市議会の皆様に市の身近な問題から取り組んでいただき、本当に市民のためになる様に考え、行動を起こしてもらいたい。 ・道路整備（下水道）、信号機の設置。
70 歳以上	平和地区	女性	人口に見合った議員定数の実現を。削減は議会内の問題とわかっているが、財源は……。
70 歳以上	中央地区	男性	人口減少の対策として、近隣地区に対するベッドタウンを目指すことが長期的には人材を育てることになり、産業をこの地域に呼び込む原動力になる。また行政のスリム化を図り、議員定数の半減や市議員の効率化を図ることが、近隣地域との比較において可能ではないか。考えて発想がなければ奈義町などを参考にするとよい。学ぶことはたくさんある……と思うのだが。

年齢	居住地区	性別	問 44 まちづくりに関する意見・提案
70 歳以上	平和地区	女性	土地を持って余している人は、多数いると思う。市で買い上げ、又は借り上げて有効に利用してもらいたい。雇用の促進にもつなげてもらいたい。
70 歳以上	平和地区	女性	1 箇所ですらできる商業施設などあったらいいなあ。
70 歳以上	共興地区	男性	身を切る政策、議員数が人口の割に多過ぎる。
70 歳以上	飯高地区	女性	・後継者がいなく、耕作地を休まなければならないが、毎年水代など払わなければならない。良い活用法はないか。 ・これから免許返納しなければならない時に、交通手段に心配している。 ・街の中心だけいろいろ便利になっているのは不公平。
70 歳以上	栄地区	男性	海を利用した観光をもっと充実させて、周囲から人を呼ぶようにして活性化させる。
70 歳以上	椿海地区	男性	私たち地域は、下水道設備がなく、排水に苦慮している。下水道設備の設置をお願いしたい（問 24）。
70 歳以上	共興地区	男性	パークゴルフ場が出来た事に伴い、新川沿いを並木のある散歩コースにし、美しい農村風景に開発できたらなあと思います。
70 歳以上	須賀地区	女性	高齢者の生き易い施設、長期間待たなくても入所できることを望みます。
70 歳以上	共興地区	男性	人の集まるまちづくり。
70 歳以上	須賀地区	男性	・市独自の自然再生可能エネルギーの設備を導入、増強して安全環境を充実させ、災害時における被害を防ぐことを実現する。全世帯が享受できる様に立案し実現する。 ・休耕地を再利用する施策を積極的に市が主導して、市の経済活性化の一助とする。暮らしやすい匝瑳市を実現するために。
-	-	-	市議の数が多過ぎる。
-	-	-	自転車で遠距離通学している中学生のための通学路の整備。

第5章 調査票

第2次匝瑳市総合計画中期基本計画策定のための 市民意識調査

ご協力のお願い

市民の皆様には、日頃から市政に対し格別のご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

このたび、匝瑳市では、将来都市像として掲げた「海・みどり・ひとがはぐくむ 活力あるまち 匝瑳市 ～匝(めぐ)り集う人々と瑳(あざ)やかな自然のあるふるさと～」を実現するために推進している「第2次匝瑳市総合計画前期基本計画」が、令和5年度をもって4年間の計画期間を終了することから、次期計画となる「第2次匝瑳市総合計画中期基本計画」の策定を進めています。

本意識調査は、計画の策定にあたり、市内にお住まいの方の中から、2,000名を無作為に抽出させていただき、ご意見をお聞かせ願いたく実施するものです。

ご回答は無記名方式で、皆様からの回答はすべて統計的に処理し、目的以外に利用することはありません。

お忙しいところ恐縮ですが、今後のまちづくりを皆様とともに考えていきたいと思っておりますので、調査の目的をご理解の上、率直なご意見をお聞かせいただきますようお願いいたします。

令和4年11月

匝瑳市長 宮内 康幸

ご記入にあたってのお願い

- 回答は無記名でお願いします。また、できるだけ封筒の宛名のご本人がお答えください。(事情により、宛名の方がお答えいただけない場合には、ご家族の方が宛名の方の立場でお答えください。)
- ご記入は、ボールペンまたは鉛筆でお願いします。
- 回答は、設問ごとに (1つに○)、(3つまで○) など、それぞれ回答方法が指定されていますので、各設問の回答方法に従ってお答えください。
○は、番号を囲むように濃くつけてください。(例 ①)
- ご記入いただいた調査票は、**12月12日(月)までに** 同封の返信用封筒に入れてポストに投函してください。(切手は不要です。)
なお、お手持ちのスマートフォン等で下記の2次元コードを読み取ることで、ウェブによる回答も可能です。ウェブか調査票、どちらか片方のみご回答ください。



◀ ウェブ回答用2次元コード

https://mprisurveys.qualtrics.com/jfe/form/SV_8CFbEyHIm9JJXXU

あなたのID →

※ウェブからご回答いただく際に使用します。

調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

【お問い合わせ先】匝瑳市役所 企画課 企画調整班

電話：0479-73-0081 メール：k-kikaku@city.sosa.lg.jp

1

はじめに：あなたご自身の状況について

問1

あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで、1つに○をつけてください。

(1) あなたの性別は	1. 男性	2. 女性	3. 無回答
(2) あなたの年齢は	1. 10歳代・20歳代	4. 50歳代	5. 60歳代
	2. 30歳代	6. 70歳以上	
	3. 40歳代		
(3) あなたの職業は	1. 農林漁業	4. 学生	
	2. 商工・サービス・飲食・自由業	5. 家事（パートタイム含む）	
	3. 会社員・団体職員・公務員	6. 無職	
		7. その他（ ）	
(4) あなたの居住地区は	1. 中央地区	5. 豊和地区	9. 平和地区
	2. 豊栄地区	6. 吉田地区	10. 椿海地区
	3. 須賀地区	7. 飯高地区	11. 野田地区
	4. 匝瑳地区	8. 共興地区	12. 栄地区
(5) あなたの居住歴は	1. 生まれてからずっと市内に住んでいる	3. 県内の他の市町村出身である	
	2. 匝瑳市の出身だが、市外での居住経験がある	4. 県外の出身である	

2

健康・福祉・医療・介護について

問2

あなたは、現在、健康的な生活を送れていると感じていますか。

(1つに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. とても感じている | 3. あまり感じていない |
| 2. ある程度感じている | 4. まったく感じていない |

問3

あなたが「健康」のために行っているものは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| 1. 規則正しく量やバランスの良い食事に心がけている | 4. 年に1度はがん検診や健康診査を受診している |
| 2. 適度な運動を継続している | 5. 睡眠による十分な休養を心がけている |
| 3. ストレスを解消している | 6. 特に何もしていない |
| | 7. その他（ ） |

問4

匝瑳市は、高齢者や障がいのある方にとって暮らしやすい地域だと思いますか。

(1つに○)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. とても思う | 3. あまり思わない |
| 2. ある程度思う | 4. まったく思わない |

問 11

あなたは、匝瑳市について他の市町村の人に自慢したいことはありますか。
(1つに○)

1. はい

2. いいえ

問 11-1

※問11で「1. はい」を回答された方にお聞きします。
それはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| 1. 自然の豊かさや風景の美しさについて | 4. 地元の産業（農林水産業・商店街・工業）について |
| 2. 住んでいる人の人柄や人情について | 5. 生活のしやすさや利便性について |
| 3. 祭りや風習、伝統文化について | 6. その他（ ） |

問 12

市の農林水産業振興への取組で、何が重要と考えますか。
(3つまで○)

- | | |
|---------------------------------------|---|
| 1. 生産性を向上させる（生産基盤の整備や6次産業化など） | 5. 観光や商工業など他分野と連携していく（特産品の開発、食の魅力向上、体験型観光の推進など） |
| 2. 担い手を育成していく（後継者の育成など） | 6. 地産地消を推進する（学校給食での利用や直売所の充実など） |
| 3. 新たな経営体制を構築していく（経営規模の拡大や法人化など） | 7. ブランド化に取り組む |
| 4. 販路を拡大する（大都市圏へのPRや契約販売、インターネット利用など） | 8. その他（ ） |

問 13

あなたは、主にどこで日常生活の買い物をしますか。
(1つに○)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 市内の商店 | 3. 県内の他市町 |
| 2. 市内の大規模店舗 | 4. 県外 |

問 14

市の商工業振興への取組で、何が重要と考えますか。
(3つまで○)

- | | |
|--|---|
| 1. 利便性の高い商業拠点をつくる | 5. 優良企業を積極的に誘致する |
| 2. 既存商店や既存企業に対して経営支援を行う（経営改善指導や人材育成など） | 6. 農林水産業や観光など他分野と連携していく（特産品の開発、食の魅力向上、体験型観光の推進など） |
| 3. 地域と連携した活動を積極的に行う（イベント開催など） | 7. その他（ ） |
| 4. 新規参入や起業を促進する（助成・指導など） | |

問 15

あなたは、現在の就労状況について、どのように感じていますか。
(1つに○)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 安心して働くことができている | 4. 働きたいが、働くことができない |
| 2. 将来が少し不安である | 5. 働くつもりはない |
| 3. 将来がとても不安である | |

問16

市の雇用対策として、何が重要と考えますか。

(3つまで○)

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| 1. 優良企業等の進出により地元での雇用拡大を図る | 5. 事業者に対する職場環境の改善に向けた啓発、指導を行う |
| 2. さまざまな分野での起業を支援し、雇用創出を図る | 6. 求職者と求人事業者の紹介・あっせんを支援する |
| 3. 公共事業等の拡大と地元事業者への発注を推進する | 7. その他 () |
| 4. 雇用に積極的な企業に対する経済的支援を行う | |

4

生活環境・都市建設について

問17

匝瑳市は、快適に生活できる住環境であると思いますか。

(1つに○)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. とても思う | 3. あまり思わない |
| 2. ある程度思う | 4. まったく思わない |

問18

あなたにとって住みやすい住環境とはどのような環境ですか。

(2つまで○)

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|
| 1. 緑の保全や里山の保護など、自然環境と調和した環境 | 4. 交通安全施設や防犯・防災体制がしっかりしている安全な環境 |
| 2. 公園やレクリエーション施設など、憩いの場が整備されている環境 | 5. 道路や上下水道などの都市基盤が十分に整備されている環境 |
| 3. 商業施設や公共交通機関など都市機能が充実している環境 | 6. その他 () |

問19

あなたが住んでいる地区は、災害などに対して安全だと思いますか。

(1つに○)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. とても安全だと思う | 3. あまり安全だと思わない |
| 2. ある程度安全だと思う | 4. まったく安全だと思わない |

問20

市の安全なまちづくりへの取組で、何が重要と考えますか。

(2つまで○)

- | | |
|---|------------------------------------|
| 1. 災害を未然に防ぐための防災基盤の整備(治山治水対策など) | 4. 市民に対し、防災・防犯意識を啓発する(防災訓練、防犯教室など) |
| 2. 市民活動が活発に行われるよう促進する(自主防災組織、防犯活動など) | 5. 関係機関(警察、各種団体など)との連携を強化する |
| 3. 的確な情報提供や緊急時の体制を強化する(防災行政無線、危機管理体制など) | 6. その他 () |

問21 あなたが住んでいる地区は、市内及び周辺地域への移動が便利な地域だと思いますか。 (1つに〇)

1. とても便利な地域だと思う	3. どちらかといえば不便な地域だと思う
2. どちらかといえば便利な地域だと思う	4. とても不便な地域だと思う

問21-1 ※問21で「3. どちらかといえば不便な地域だと思う」又は「4. とても不便な地域だと思う」を回答された方にお聞きします。
何が最も不便だと感じますか。 (1つに〇)

1. 自宅近くの生活道路の整備が遅れている	3. 電車やバスなどの公共交通網が少ない
2. 幹線道路へ繋がる道路の整備が遅れている	4. その他 ()

問22 あなたは、普段、外出する際に主にどのような移動手段をお使いですか。 (3つまで〇)

1. 徒歩	6. 自家用車 (他人の送迎)
2. 自転車	7. 電車
3. オートバイ	8. タクシー
4. 自家用車 (自分で運転)	9. 循環バス
5. 自家用車 (家族の送迎)	10. その他 ()

問23 あなたは、普段の生活で、環境に配慮した行動を行っていますか。 (1つに〇)

1. いつも行っている	3. あまり行っていない
2. ある程度行っている	4. まったく行っていない

問24 市の自然環境保全への取組で、何が重要と考えますか。 (2つまで〇)

1. 豊かな自然環境を壊さない土地利用を行う	4. 不法投棄をなくす (監視強化など)
2. 市民による環境美化活動を活性化させる	5. 排水処理施設を計画的に整備する (集落排水、浄化槽設置など)
3. ごみ対策に力を入れる (ごみの分別・減少・再利用など)	6. 脱炭素社会※に向けた取組を行う
	7. その他 ()

※脱炭素社会…社会で地球温暖化の原因となる温室効果ガス(二酸化炭素)排出の“実質ゼロ”を目指していくこと。

5 教育・交流・移住・定住について

問25 あなたは、子どもの教育について、学校と家庭、地域との連携がとれていると思いますか。 (1つに〇)

1. 十分連携していると思う	3. あまり連携していないと思う
2. ある程度連携していると思う	4. まったく連携していないと思う

問26

学校が子どもたちにとって、安心して学ぶことができる場となっていると思いますか。 (1つに○)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. とても思う | 3. あまり思わない |
| 2. ある程度思う | 4. まったく思わない |

問27

小・中学校運営において、何が重要な取組と考えますか。 (3つまで○)

- | | |
|------------------------------------|--------------------------|
| 1. 地域と協力しながら子どもたちの健全育成を図る | 5. 教育指導体制を強化し、基礎学力の向上を図る |
| 2. 地域の人や保護者の意見を学校運営に反映させる | 6. 本市ならではの特色ある教育展開を図る |
| 3. 学校が持つ資源を地域づくりに活用する (学校施設・教職員など) | 7. 子どもたちの安全を守る体制を強化する |
| 4. 地域の人が持つ技能や経験を学校教育に活用する | 8. その他 () |

問28

あなたは、次の余暇活動に参加していますか。また、今後参加したい活動は何ですか。 (1～4の(1)、(2)について、それぞれ1つずつに○)

活動内容	(1) ここ数年の間に参加していますか		(2) 今後参加したいですか	
	はい	いいえ	はい	いいえ
1. 市や地域のスポーツ・文化活動	1	2	1	2
2. 地域の伝統や文化を継承する活動	1	2	1	2
3. 他市町村や外国の方たちとの交流活動	1	2	1	2
4. 生涯学習としての習い事や趣味の活動	1	2	1	2

問29

市の生涯学習・スポーツ、文化活動への取組で、何が重要と考えますか。 (3つまで○)

- | | |
|-------------------------------------|--|
| 1. 生涯学習のプログラムを充実させる (地域の歴史・自然・文化など) | 5. 他地域との交流を深める (自治体間交流、海外派遣研修など) |
| 2. 芸術に触れる機会を充実させる (音楽・絵画・演劇など) | 6. 文化・スポーツの組織や活動を支援する (指導者の育成、活動費用の助成など) |
| 3. 活動拠点を整備・拡充させる (公民館の充実、学校施設の開放など) | 7. その他 () |
| 4. 文化財や民俗資料などを収集・保存・活用する (資料館の整備など) | |

問30

あなたは、地域の伝統や文化に愛着を感じていますか。 (1つに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. とても感じている | 3. あまり感じていない |
| 2. ある程度感じている | 4. まったく感じていない |

問31 あなたの身近なところで、虐待や暴力、差別など人権を侵害する行為があると思いますか。 (1つに○)

1. かなりあると思う	3. あまりないと思う
2. ある程度あると思う	4. まったくないと思う

問32 市の人権問題への取組で、何が重要と考えますか。 (2つまで○)

1. 早期発見・早期対応できる体制を強化する (関係機関の連携など)	4. 人権に深く関わる人材 (教員、医師、公務員、福祉関連など) の意識を向上させる
2. 学校や地域において人権侵害に対する意識の啓発をする (講演会など)	5. 人権侵害に対する救済に向けた施策を強化する (補償、条例整備など)
3. 気軽に相談できる体制を充実させる (相談窓口、相談員の充実など)	6. その他 ()

問33 男女共同参画に関する意識について、普段の生活や社会全体の中でどのよう
に思いますか。 (1つに○)

1. 平等になっている	4. 女性のほうが優遇されている
2. 男性のほうが優遇されている	5. どちらかといえば女性のほうが優遇されている
3. どちらかといえば男性のほうが優遇されている	6. わからない

問34 あなたは、これからも匝瑳市に住み続けたいと思いますか。 (1つに○)

1. 住み続けたい
2. どちらかといえば住み続けたい

3. どちらかといえば住み続けたくない
4. 住み続けたくない

5. どちらともいえない

次頁 問34-2 へ

問34-1 ※問34で「1」又は「2」に回答された方にお聞きします。その理由は何ですか。 (3つまで○)

1. 自然環境がよいから	8. 地域の間人間関係がよいから
2. 住環境がよいから	9. 通勤や通学に便利だから
3. まちに愛着があるから	10. 働きがいのある仕事があるから
4. 医療・福祉サービスが充実しているから	11. 買い物や余暇活動に便利だから
5. 子どもを育てていくための環境がよいから	12. 家賃や物価が安いから
6. 治安がよいから	13. 特に理由はない
7. 両親や親戚が住んでいるから	14. その他 ()

問34-2

※問34で「3」又は「4」に回答された方にお聞きします。

その理由は何ですか。

(3つまで○)

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1. 自然環境がよくないから | 8. 地域の間関係がよくないから |
| 2. 住環境がよくないから | 9. 通勤や通学に不便だから |
| 3. まちに愛着がないから | 10. 働きがいのある仕事がないから |
| 4. 医療・福祉サービスが充実していないから | 11. 買い物や余暇活動に不便だから |
| 5. 子どもを育てていくための環境がよくないから | 12. 家賃や物価が高いから |
| 6. 治安がよくないから | 13. 特に理由はない |
| 7. 両親や親戚が遠くに住んでいるから | 14. その他 () |

問35

平成18年に本市が誕生して以降、人口減少が進行しています。人口減少に歯止めをかけるため、特に力を入れて取り組むべき施策は何だと思いませんか。

(3つまで○)

- | | |
|------------------------------|-------------------|
| 1. 若者の働く場の確保と雇用の創出 | 5. 結婚や出産に対する支援の充実 |
| 2. 利便性が高く、安全で快適な生活環境の整備 | 6. 子育て家庭に対する支援の充実 |
| 3. 移住・定住に対する各種支援の充実や積極的な働きかけ | 7. まちに対する愛着や誇りの醸成 |
| 4. 若者のUターン・Iターン促進に向けた取組の充実 | 8. その他 () |
| | 9. 特にない、わからない |

6

市民協働・行財政について

問36

あなたは、市の広報紙（広報そうさ）を見たことがありますか。

(1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. いつも見ている | 3. あまり見ていない |
| 2. ときどき見ている | 4. まったく見ていない |

問37

あなたは、市のホームページを見たことがありますか。

(1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. いつも見ている | 3. あまり見ていない |
| 2. ときどき見ている | 4. まったく見ていない |

問38

あなたは、まちづくりや地域づくりに参加していますか、また、今後参加したいと思いませんか。(1～8の(1)、(2)について、それぞれ1つずつに○)

活動内容	(1) ここ数年の間に参加していますか		(2) 今後参加したいですか	
	はい	いいえ	はい	いいえ
1. 行政運営への参加	1	2	1	2
2. 地域づくり活動への参加	1	2	1	2
3. 福祉活動への参加	1	2	1	2
4. 自然環境保全活動への参加	1	2	1	2

活動内容	(1) ここ数年の間に参加していますか		(2) 今後参加したいですか	
	はい	いいえ	はい	いいえ
5. 教育活動への参加	1	2	1	2
6. 文化・スポーツ活動への参加	1	2	1	2
7. 地域振興活動への参加	1	2	1	2
8. 地域安全活動※への参加	1	2	1	2

※地域安全活動…安全で安心して暮らせるまちを実現するため、それぞれの地域において、地域ぐるみで、犯罪等の防止に取り組む活動をいう（防犯活動、消防団活動など）。

問39 市では現在、市民と行政との協働によるまちづくりに取り組んでいます。あなたは、協働によるまちづくりが推進されていると思いますか。（1つに○）

1. とても推進されていると思う	4. まったく推進されていないと思う
2. ある程度推進されていると思う	5. わからない
3. あまり推進されていないと思う	

問40 市の手続きや問合せ等で不都合を感じたことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. どこで手続きをしたら（どこに問い合わせをしたら）いいか、わからなかった	3. 問い合わせ等をたらい回しにされた
2. 1つのことで何箇所も手続きをするために移動しなければならなかった	4. その他（ ）
	5. 特に不都合を感じたことはない

問41 市では現在、行財政改革に取り組んでいます。あなたは、市の行財政改革の取組で、何が重要と考えますか。（3つまで○）

1. 事務事業を合理化する（事業や施設の統廃合、民間委託など）	6. 職員の能力を向上させる（政策立案能力、職務遂行能力など）
2. 事務手続きを簡略化・スピード化する（窓口の総合化、電子化など）	7. 市民との情報共有を推進する（積極的な情報開示など）
3. 行政手続のオンライン化（各行政手続きが、インターネットによる申請などで完結されること）	8. 自主財源を確保する（税収増加策の実施など）
4. 施策・事業の評価・点検を行う（事務事業評価など）	9. 商工業、観光分野でのICT※活用により地元産業が活性化すること
5. 職員給与・定員の適正な管理を行う	10. ICTを活用した教育により、子どもたちの学びが深まること
	11. その他（ ）

※ICT…情報通信技術を指す「Information and Communication Technology」の略称であり、インターネットなどの情報通信基盤を通じて、情報を伝達、共有できる環境や技術のこと。

問42 持続可能な開発目標（SDGs）※の取組への関心はありますか。（1つに○）

1. とても関心がある	4. まったく関心がない
2. 少し関心がある	5. 「SDGs」という言葉を聞いたことがない
3. あまり関心がない	

※持続可能な開発目標（SDGs）…平成27年9月の国連サミットで採択された国際指標で、基本理念として、「地球上の誰一人として取り残さない」社会の実現を目指すもの。

問43

以下の項目は、第2次匝瑳市総合計画前期基本計画で掲げている基本施策です。それぞれの施策について、あなたの満足度及び重要度をお聞かせください。

(①～⑭の (1)満足度 及び (2)重要度、それぞれ1つずつに○)

基本施策	(1) 満足度(○は1つ)					(2) 重要度(○は1つ)				
	満 足	い ど え ち ば ら か と	い ど え ち ば ら か と	不 満	わ か ら な い	重 要	い ど え ち ば ら か と	ど ち ら か と い え ば 重 要 で は な い	重 要 で は な い	わ か ら な い
(記入例) 基本施策の項目名 (その内容の例)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
① 健康づくりの推進 (健康意識の啓発と健康づくり活動の促進、相談支援体制の充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 高齢者支援の充実 (認知症対策の推進、介護保険サービスの充実、介護予防の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 障がい者支援の充実 (生活支援サービスの充実、療育・教育体制の充実、就労支援・社会参加の促進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 子育て支援の充実 (子育て家庭への支援の充実、地域全体で子育てを支える環境づくりなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤ 医療体制の充実 (市民病院の機能強化と情報発信、身近な医療体制の充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑥ 地域福祉の推進 (福祉意識の醸成、低所得者等に対する支援の充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑦ 農林水産業の活性化 (生産基盤の整備と経営体制の強化、販路の拡大と消費者ニーズへの対応など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑧ 商工業の活性化 (特色ある商店街の形成、経営基盤の強化及び起業等に向けた支援の充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑨ 観光の活性化 (観光資源の整備と掘り起こし、効果的な観光情報の発信など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑩ 雇用・就労・消費者対策の充実 (雇用・就労支援の充実、安心・安全な消費生活支援)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑪ 自然環境の保護と循環型社会の形成 (循環型社会に向けた取組の推進、環境汚染及び不法投棄の防止など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑫ 市街地の活性化と交通網の整備 (地域特性に応じた拠点の育成・整備、公共交通機関の利便性の向上)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑬ 住環境の整備 (快適で安全な都市環境の整備、子育てしやすい住環境の整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑭ 安心・安全な地域づくりの推進 (防災対策の充実、防犯体制の強化など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

基本施策	(1) 満足度(○は1つ)					(2) 重要度(○は1つ)				
	満 足	い ど え ば 満 足	い ど え ば 不 満	不 満	わ か ら な い	重 要	い ど え ば 重 要	ど ち ら か と い え ば 重 要 で は な い	重 要 で は な い	わ か ら な い
⑮ 学校教育の充実 (生きる力をはぐくむ豊かな学校生活の充実、家庭・地域との連携強化など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑯ 生涯学習・生涯スポーツの推進と青少年の健全育成 (生涯学習の推進、生涯スポーツの振興、機会の充実、青少年の健全育成)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑰ 地域文化の振興 (芸術文化とふれあう機会の充実、歴史的建造物・文化財の保全とPRなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑱ コミュニティの育成と交流活動の促進 (地域づくり活動の活性化支援、国際交流・地域間交流の促進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑲ 男女共同参画の促進 (男女共同参画意識の醸成と推進体制の充実、誰もが能力を発揮できる地域社会づくりの推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑳ 移住・定住及び多様な交流の促進 (移住・定住に対する支援の充実、多様な交流の促進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
㉑ コミュニティの育成と市民の協働によるまちづくりの推進 (地域づくり活動の活性化支援、市民と行政との連携によるまちづくりの推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
㉒ 市民にわかりやすいまちづくりの推進 (市民に役立つ情報提供の推進、議会の活性化)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
㉓ 持続可能な行財政運営の推進 (歳入確保対策の推進、事務事業の合理化・効率化と経費削減、電子自治体の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
㉔ 広域行政の推進 (近隣自治体、国・県との連携強化)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

8

最後に

問 44

匝瑳市の今後のまちづくりについてのご意見・ご提案がありましたら、お聞かせください。

(自由記入)

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

第2次匝瑳市総合計画中期基本計画策定のための市民意識調査
結果報告書
令和5年3月発行

編集・発行 匝瑳市企画課
〒289-2198
匝瑳市八日市場ハ 793 番地 2
電話 0479-73-0081